



沖縄県薬剤師会報

No.266. 2013(平成25年) 9・10月号



沖縄県薬剤師会

薬 剤 師 倫 理 規 定

平成9年10月 日本薬剤師会改訂

前 文

薬剤師は、国民の信託により、日本国憲法及び法令に基づき、医療の担い手の一員として、人権の中でもっとも基本的な個人の生命・健康の保持促進に寄与する責務を担っている。

この責務の根底には生命への畏敬に発する倫理が存在するが、さらに、調剤をはじめ、医薬品の創製から供給、適正な使用に至るまで、確固たる薬の倫理が求められる。

薬剤師が人々の信頼に応え、医療の向上及び公共の福祉の増進に貢献し、薬剤師職能を全うするため、ここに薬剤師倫理規定を制定する。

第1条（任務）

薬剤師は、個人の尊厳の保持と生命の尊重を旨とし、調剤をはじめ、医薬品の供給、その他の薬事衛生をつかさどることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって人々の健康な生活の確保に努める。

第2条（良心と自律）

薬剤師は、常に自らを律し、良心と愛情をもって職能の発揮に努める。

第3条（法令等の遵守）

薬剤師は、薬剤師法、薬事法、医療法、健康保険法、その他関連法規に精通し、これら法令等を遵守する。

第4条（生涯研鑽）

薬剤師は、生涯にわたり高い知識と技能の水準を維持するよう積極的に研鑽するとともに、先人の業績を顕彰し、後進の育成に努める。

第5条（最善尽力義務）

薬剤師は、医療の担い手として、常に同僚及び他の医療関係者等と協力し、医療及び保健、福祉の向上に努め、患者の利益のため職能の最善を尽くす。

第6条（医薬品の安全性等の確保）

薬剤師は、常に医薬品の品質、有効性及び安全性の確保に努める。また、医薬品が適正に使用されるよう、調剤及び医薬品の供給に当たり患者等に十分な説明を行う。

第7条（地域医療への貢献）

薬剤師は、地域医療向上のための施策について、常に率先してその推進に努める。

第8条（職能間の協調）

薬剤師は、広範にわたる薬剤師職能間の相互協調に努めるとともに、他の関係職能をもつ人々と協力して社会に貢献する。

第9条（秘密の保持）

薬剤師は、職務上知り得た患者等の秘密を、正当な理由なく漏らさない。

第10条（品位・信用等の維持）

薬剤師は、その職務遂行にあたって、品位と信用を損なう行為、信義にもとる行為及び医薬品の誤用を招き濫用を助長する行為をしない。

目次

薬剤師倫理規定	
巻 頭 言	今後の薬剤師の在り方や心構え …… 石川 恵市…(2)
表 彰	九州山口薬学大会表彰受賞(被表彰者:山城志津先生) ……(3)
会務ハイライト	平成25年度「調剤報酬請求業務」および 「個別指導・共同指導における指摘事項」講習会報告 …… 照屋林一郎…(4)
	なごみ会主催第3回県民健康フェア2013開催 …… 笠原 大吾…(6)
	第3回県民健康フェア2013に参加して …… 上原 卓朗…(9)
	平成25年度医薬分業対策会議報告 …… 西川 裕…(10)
	医薬分業対策会議用アンケート&アンケート結果報告(病院・薬局向け) ……(13)
	第6回熟年の集い開催 …… 宮城 敦子…(18)
研 修 会	第7回スキルアップ研修会報告 …… 松本 圭五…(21)
日薬学術大会	第46回日本薬剤師会学術大会参加報告 …… 森下 彰久…(22)
九山薬学大会	第75回九州山口薬学大会〜くすりが紡ぐ「命の絆」「人の絆」〜 …… 川上雄一朗…(24)
委員会だより	臓器移植と薬剤師 …… 笠原 大吾…(28)
研修レポート	第45回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 九州・福岡に参加して …………… 橋本裕行・平良奈緒子・中尾滋久・山城巨佳…(31)
会議レポート	平成25年度沖縄県禁煙協議会総会に参加して …… 山里美恵子…(36)
部会だより	第12回九州地区健康教育研究大会報告 …… 前濱 朋子…(37)
	未来の学校薬剤師〜学校薬剤師と実務実習生〜 …… 前濱 朋子…(38)
月例相談会	第109回健康とおくすり相談会報告(那覇地区薬剤師会) …… 國吉 直子…(39)
寄 稿	薬物乱用防止教室〜アルコールの害〜講演会報告 …… 大城 直美…(40)
新 入 会 員	平成25年度沖縄県薬剤師会新入会員(平成25年4月〜平成25年9月末日入会分) ……(42)
D I	薬事情報おきなわNo.224 …… 薬事情報センター…(43)
県民の皆様へ	あまくま薬立つ情報……………(55)
薬学の歴史	第21回 最も偉大な化学者薬剤師、シェーレ ……(56)
	第22回 アメリカの最初の薬剤師長、クレイギー ……(57)
薬 草 学	身近な薬草を知ろう 第10回 パパイヤ …… 狩俣 イソ…(58)
医療機関・施設訪問	おきなわクリニカルシュミレーションセンター …… 伊差川サヤカ・砂川智子…(60)
リレー随筆	第36回沖縄県小児糖尿病サマーキャンプに参加して …… 喜久山有沙…(64)
青 年 部	燃えろ! 青年団 伊敷松太郎さん …… 伊差川サヤカ…(66)
卒 煙 物 語	その42 愛煙家の方々へ …… え ん こ…(67)
薬連だより	国会レポート〜平成26年度政府予算の概算要求〜 …… 藤井もとゆき…(68)
社保だより	資格関係誤りレセプトの未然防止について(お願い) …… 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部…(69)
告知用チラシ	第3回県民健康フェア2013……………(70)
転 載 記 事	第3回県民健康フェア2013(新聞広告) ……(72)
	「いきいき健康あいらんど」に神村会長インタビュー記事掲載 ……(73)
	自分流の健康法 発見 県民フェアに1000人 ……(74)
	健康 楽しみながら意識 18日に県民フェア ……(74)
	学んで長寿取り戻す 県民健康フェア……………(75)
	気軽に健康診断を 18日に宜野湾でフェア……………(75)
	週刊レキオの「なんくるお悩み相談」に会員の備瀬紀子先生が回答……………(76)
	会員の大城朝徳先生が東京国体の剣道で活躍……………(77)
	薬ネット販売で相談対応義務化 厚労省が素案 ……(77)
理 事 会	平成25年度第5回定例理事会議事概要……………(78)
会 務 報 告	平成25年8月〜9月末日分……………(84)
一 包 一 話	猫と台風 …… 橋 の 下…(88)
会 員 作 品	誌上ギャラリー(裏表紙)について……………(89)
計 報	宮城光吉先生 謹んでご冥福をお祈り申し上げます……………(90)
	故 宮城光吉先生の葬儀における神村会長の弔辞 ……(90)
編 集 後 記	……………(93)
お し ら せ	県薬が会員に販売している印刷物等……………(17)
	会報原稿募集のご案内……………(35)
	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について……………(90)
	第27回沖縄県薬剤師会学術大会の開催について(ご案内) …… 学術大会実行委員会…(91)
	第2回日本くすりと糖尿病学会学術集会のご案内……………(92)

巻 頭 言



今後の薬剤師の在り方や心構え

理事・青年部会長 石川 恵市



現在、我が沖縄県ではご承知の通り、薬剤師不足が深刻化している。その中で、患者からのニーズも多様化し、それに伴い薬剤師自身のスキルアップが求められる時代に突入している。

さて、皆さんは薬剤師という職種をどのようにお考えであろうか？

私がまだ経験の浅かった頃、医療の担い手として患者の為になる事と言えば、「薬学的知識、いわゆる薬の調剤や服薬指導、薬歴管理及び処方意図の解析、リスクマネジメントを通して情報を提供する」という概念であった。その概念の元で日々の業務をこなしている中、それだけでは患者が求めているニーズ、すなわち満足させるには足りない事があると考えさせられた出来事に遭遇した。

きっかけは知人のある一言だったのだが、薬局で薬を受け取る際、「毎回マニュアル通りに投薬される事に不快感を覚えた」と言うのだ。その投薬方法の何が不快感を与える事になったのか、何が不快感を与える言動になったのか、知人の言葉を聞くまでは知り得なかった。

「もっと患者の立場にたって投薬方法を変えてほしい。現状では親身になって対応されているとは感じられない」という内容だった。

その言葉で、今までの私の服薬指導に疑問を抱くようになった。

ある日、常連の理髪店を訪れた時の事だ。いつものようにオーナーの仕事ぶりを見てい

ると、お客様毎に接し方や会話の内容が異なっている事にふと気付いた。私が当たり前と思って受けていた接遇は、オーナーのきめ細かな心遣いの表れだった。オーナー曰く、「お客様は十人十色で、話好きな方、それに反し無口な方や様々なタイプの方がいる。上手に髪を切るのは当たり前のサービスであり、その中でお客様の生活環境等を把握しコミュニケーションをとる事で、より顧客満足度の向上に繋がる」というものだった。その時、私の脳裏に知人のあの一言が蘇った。職種は違えど、このシチュエーションこそが患者に接する状況と同じだと。

患者の中にも、投薬だけを求める方や世間話を聞いて欲しい方、中には憂さ晴らしをしたい方など様々だ。専門知識を生かし、服薬指導をするのは当たり前の事。しかしここで重要なのは、患者がどれだけ我々を身近に感じ、信頼感を与えられるかという事ではないだろうか。もちろん、的確な情報提供も不可欠ではあるが、患者等のメンタルケアこそが今後の重要課題になり得るであろう。

患者が医療機関を自由に選択する今、薬剤師といえど競争社会のサービス業とも言える。だからこそ患者と常に向き合い、しっかりとコミュニケーションをとり、信頼関係を築く事が、私の求める薬剤師の理想像である。優れた専門知識を持ち、かつ柔軟な接遇が行える薬剤師が一人でも多く輩出されること、個々や全体のスキルアップに繋がり、何よりも患者の為になるであると信じている。

青年部会では、講師を招いての勉強会や交流会等、様々な行事に取り組んでいます。今後は幅広い交流の場を設け、より多くの情報交換をすることによって個々のスキルを高めると同時に、自分なりのネットワークを築い

てほしいと願っています。

「幅広い交流」が目的なので、年齢問わず多くの先生方には気軽に参加して頂きたく、心よりお待ちしております。

表彰

平成25年度 九州山口薬学大会 表彰



山城 志津先生 おめでとうございます

＜第75回九州山口薬学大会（佐賀大会）薬学大会本会議 表彰顕彰式＞

期日：平成25年9月15日（日） 会場：佐賀市文化会館 大ホール



会務ハイライト

平成25年度「調剤報酬請求業務」および 「個別指導・共同指導における指摘事項」講習会報告

日時：平成25年 8月11日(日)〔1部 13:00～15:30・2部 16:30～19:00〕

会場：浦添てだこホール



神村会長
あいさつ



医療保険委員会
照屋 林一郎

平成25年度「調剤報酬請求業務」および「個別指導・共同指導における指摘事項」講習会が8月11日に浦添てだこホールにて開催されました。沖尚の甲子園1回戦が行われた日でしたが、1000名以上の方々に御参加いただき、一度に会場への入場ができないため2部に分けての開催となりました。

初めに、神村武之会長の挨拶があり、医薬品のインターネット販売の問題や調剤関連医療費の増加に伴う調剤薬局のあり方に対してメディア等からのバッシングの問題がとりあげられ、薬局・薬剤師として患者さん等から評価される仕事をしていく重要性を強く感じさせられました。

調剤報酬請求や指導の指摘事項を守りつつ、患者さんへの丁寧な対応をしていくことは当然のことなので、この日の講習内容についてはしっかりと理解することが大事なことだと思います。

調剤報酬請求業務については、宮城幸枝先生からご講演いただきました。

調剤料では同一銘柄にもかかわらず力価が異なる・剤形が異なることで別請求している例があります。後発品を使用することでレセコンが別薬剤として判断することもあるようで注意が必要です。同一剤で服用時点が変わる場合の判断が難しいかもしれません。漸減法やリウマトレックスの特殊用法などもそうです。毎月数件の要チェックレセがあるので再確認してみてください。

加算算定では、1包化加算・自家製剤加算・嚥下困難加算の誤りが多いようです。薬価収載されている薬剤をしっかりと把握することが大事です。特殊用法や計量混合調剤加算にも言えることですが、摘要欄へ算定の理由や用法の詳しい内容などのコメントも大切だと思います。

レセプト請求は、現在ほとんどの薬局がレセコンによるもので、事務職の方々に入力していただいていることが多いと思います。入力ミスで請求してしまうこともあるかもしれません。今回の内容で再確認できたのではと思います。

<プログラム>

1. あいさつ

2. 調剤報酬請求業務について（調剤報酬点数表の解釈について）

3. ①「個別指導・共同指導」における指摘事項

②「突合点検」における査定・返戻事例

4. 「臓器移植啓発グッズ設置お願い」（公財）沖縄県保健医療福祉事業団 主幹

5. 閉会の辞

司会：医療保険委員会 成川 賢一

沖縄県薬剤師会 会長 神村 武之

医療保険委員会 宮城 幸枝

医療保険委員会 委員長 仲真 良重

（1部）沖縄県薬剤師会 副会長 吉田 洋史

（2部）医療保険委員会 池間 記世

< 講師陣 >



宮城 幸枝氏



仲真 良重氏



伊野波 盛一氏



閉会の辞
吉田 洋史氏



閉会の辞
池間 記世氏



司 会
成川 賢一氏

次に、「個別指導・共同指導」における注意事項、「突合点検」における査定・返戻事例について仲真良重先生からご講演をいただきました。

指導は、どの薬局が当たってもおかしくないため、ちょっとした恐怖でもあり、薬剤師が適正な業務を継続していかなければいけない神経を使うところだと思います。もちろん、適正な業務をしているはずですが、少し見落としてしまったりする事があるため大変なのだと思います。

届出や提示事項など事務事項については再確認ということで問題ないと思いますが、調剤については毎日のことなので普段からきちんと対応しないと後で大変なことになります。処方内容で不備があれば疑義照会しなければなりません。禁忌例への使用の疑いあるものや相互作用、用法・用量の承認内容の異なるものに対して行うものです。「こんなことで電話してくるな!!」と病院から怒られてしまうことも多々あると思いますが、指導で注意されないた

めにも上手にやりたいものです。

他にも調剤技術料算定要件の記載や薬歴簿の記載、お薬手帳記載など注意事項は多いですが、見直してみたほうが良いと感じました。

調剤レセプトの突合点検で薬局に痛手なのが、日数上限を超えてしまった時です。すべて、薬局からの査定になるため日数制限のあるものや新薬には注意したいものです。また、後発品への変更で病院が査定を受けてしまうこともあるので迷惑をかけないように注意することも大切です。

2年後にはまた沖縄県が共同指導の対象になります。大きな指摘を受けないためにも、今から薬歴簿の整理や業務改善を図らないと間に合いません。忙しい業務に追われているかもしれませんが見落としがないようこれからも頑張りましょう。



会務ハイライト

なごみ会主催 第3回県民健康フェア2013開催

日時：平成25年8月18日(日) 12:00～16:00
会場：沖縄コンベンションセンター 展示棟



保健福祉委員会
本フェア実行委員 笠原 大吾

今回で3回目となった標記イベントが、去る8月18日に沖縄コンベンションセンターで開催されました。当日は、全体の入場者数1,000名(主催者発表)、県薬剤師会もステージ正面の大きなブースに場所を移し、相談員等参加者31名と、旧盆の前にもかかわらず、多くの会員に参加していただきました。今回は、ステージイベントに、在宅医療のコント(上原幸代先生の演技が秀逸でした!)も入り、短時間でしたが大いに盛り上がったように思いました。他団体とのコラボレーションの企画としては、県薬剤師会のメインのイベントといっても過言ではないものに成長してまいりました。自分は、第1回より実行委員として関わらせていただいておりますので、報告かたがた、振り返ってみたいと思います。

県内医療17団体の協働の取り組みとして生まれた本イベントは、第1回開催当日に台風で延期になり、年末の12月26日(日)に、朝から冷たい雨混じりの天気の中で開催されるといった前途多難な状況でのスタートでした。しかし、2回目以降は順調に、今回も多く県民の参加する夏の時期のイベントとなったと思います。特に、昨年第2回から公益財団法人沖縄県保健医療福祉財団の資金援助を受けるようになって、各団体のイベントへの関心が一挙に高まったように思います。

最近では、県薬剤師会としてこのような対外的なイベントに参加する際には、高齢者・成人・児童生徒などいかなる対象に対しても実施する内容の大筋が決まってきたように思います。すなわち、まずは、薬の専門家として

プ ロ グ ラ ム ステージイベント

時 間	内 容
12:00～	開会セレモニー ○こどもエイサー(社会福祉法人 琉和の里福祉会 うらら保育園) ○主 催 者 挨拶: 宮城 信雄(沖縄県医療保健連合会長) ○共催団体挨拶: 新垣 郁男(沖縄県保健医療福祉事業団 副理事長) ○来 賓 祝 辞: 崎山 八郎(沖縄県福祉保健部長)
12:30～12:50	大爆笑!? コント お笑いコンビ ゆうりきや～

ブースイベント

団 体 名	内 容
沖縄県薬剤師会	相談: 健康チェックとお薬相談会 展示: 薬剤師の仕事について
沖縄県医師会	生活習慣病相談コーナー、禁煙指導、心肺蘇生体験コーナー、パネル展示、頸動脈流工コー検査
沖縄県歯科医師会	相談: 口腔ケア、在宅歯科、予防歯科、障害者歯科
沖縄県歯科衛生士会	体験: 咬合力測定、フッ素洗口、簡易歯周病検査、歯磨剤作り
沖縄県歯科技工士会	展示: パネル、歯科用グッズ
沖縄県看護協会	妊婦体験、沐浴指導、・ベビーマッサージ、正しい手洗いとチェック 健康相談、訪問看護の紹介
沖縄県臨床検査技師会	展示: 各種臨床検査のパネル展示、顕微鏡観察、DVD上映 相談: 臨床検査



こどもエイサー



なごみ会17団体の会長がステージに並んだ

のアピールで、“健康とおくすり相談会”を
発展させたような、予防医学的関わりです。
これは、自分の健康について身体チェックな
どで関心を高めてもらい、その後の服薬に関
する相談につなげる。服薬していない方には
どうやったら薬をのまないで（健康で）いら
れるかの指導です。これって、なんだか介護
予防にも似ていると思いませんか？

次に、薬剤師とはどんな仕事をしているか、
または薬剤師になるにはどうしたらよいかな
どの職業や職能の紹介に関する事です。世
代によっても違うと思いますが、薬剤師は昔
からいろいろな方面で活躍できる職種という
印象がありますが、いかがでしょうか？

反面、“顔の见えない薬剤師”ともいわれ

て久しいですが、このようなコラボレーシ
ョンは今後、ますます進みます。在宅医療など
では間違いなく“多職種連携”ですので、日
頃からいろいろな職種の方と協働で実行する
ことの意義ややり方を、ぜひ体験され、体得
していただきたいと思います。

今回の明るい話題としては、多くの若い薬
剤師の皆さんの参加です。10年後に中心と
なるこれらの方々に、我々はバトンを上手に
渡せるように常に考えていますので、これか
ら一緒にやってまいりましょう。

最後に、県薬剤師会の実行委員長として田
場専務理事、また事務局として稲福係長には
多くの点で関わっていただいたことに対して
御礼申し上げます。

プ ロ グ ラ ム

ブースイベント

団 体 名	内 容
日本健康運動指導士会 沖縄県支部	体力測定→結果に基づいた運動相談 体験：運動体験（チェアーエクササイズ、タオル体操、ストレッチ体操、ボール体操、沖縄Let'sブチ体操）
沖縄県精神保健福祉士協会 沖縄県医療ソーシャル ワーカー協会	精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカーの職能紹介、 精神保健及び医療に関する相談、医療福祉相談、がん相談、患者会等紹介 幻覚のバーチャル体験
沖縄県鍼灸師会	展示：鍼灸に関する情報 体験：鍼灸施術
沖縄県理学療法士協会	パネル展示、生活習慣病予防体操、介護予防体操、ストレッチ等 相談：痛みを予防する生活について、学生の進路相談
沖縄県作業療法士会	何でも相談コーナー、自助具の展示および体験コーナー、パネル展示
沖縄県言語聴覚士会	相談：飲み込み、ことば、子どもの発達等に関して 展示：言語聴覚士の仕事内容のパネル
沖縄県栄養士会	展示：パネル、食品の展示 相談：栄養相談、他 フードモデルによる食事チェック、パソコンを使った食事チェック
沖縄県放射線技師会	放射線被ばくに関して、医療における各種検査に関しての相談 骨密度測定健診（無料）
沖縄県柔道整復部会	展示：パネル（ボランティア活動） 体験：テーピング実技（メディカルテーピング・スポーツテーピング） 相談：整（接）骨のかかり方
ドクターヘリ展示ブース	写真展、DVD視聴、資料配布

屋 外 イ ベ ン ト

●マンモグラフィー検診車

●屋台コーナー

●ふわぁふわぁ遊具

＜なごみ会主催 第3回県民健康フェア＞



長蛇の列ができるほど終始にぎやかだった薬剤師会ブース



ステージイベントの
司会を務めた我喜屋理事



上原幸代先生とお笑いコンビゆうりきや〜の
大爆笑！？コント



ファミリーから大人気の
“ダメ。ゼッタイ。君”



相談風景



記念撮影

第3回県民健康フェア2013に参加して



宮里病院
上原 卓朗

「第3回県民健康フェア」にスタッフとして参加しました。当日の様子や私なりに感じた事などを報告したいと思います。

今年で3回目の県民健康フェアですが、県民の健康増進と健康長寿の拡大を目的に、県医療保健連合が主催するイベントです。会場では、各医療関係団体が健康増進に関する様々なブースを設けていました。今回、薬剤師会のブースは舞台正面にあり、他の団体に比べて大きいスペースが設けられていました。毎回、薬剤師会のブースは人気があると聞かされていましたが、納得する配置でした。

会場に着くと、まずはパネル設置や測定機器の準備を行い、開会式までお弁当を食べて、しばし休憩。会場は多くの家族連れでにぎわっており、老若男女、様々な人たちが会場を訪れていました。そして、開会のセレモニーと共に、薬剤師会のブースには早くも測定を希望する人たちが次々と訪れました。初めての参加の私は、何をしたいかわからず、最初はただ様子を見るだけ。アンケートを記入してもらおう場所に配置するも、人手が足りている状態で棒立ち状態。仕事がないので、何かできないことがないか探していると、そこには薬物乱用防止でおなじみの「ダメ。ゼッタイ君」の着ぐるみが。さっそくそれを着て、子供達にアピール。しかし、着ぐるみの中が暑くて、30分ぐらいで断念。その後は、測定待ちの人に資料配布してまわるなどの雑務を行い、最後の方は、健康相談をしている先生

のそばで話を聞いてお勉強をしていました。(今振り返ると、スタッフとしてお役に立てたかどうか疑問が残ります…)

最後まで、測定待ちの列が続いた為、閉会を待たずに受付を終了しました。人気があることは良いですが、血圧脈波検査(動脈硬化度測定)などは時間が掛かる上に、機器の数も限られているため、どうしても待ち時間が生じてしまいます。皆さん、順番に並んで待っていましたが、この時間を利用してパネル説明に誘導できたら、より薬剤師の事を知ってもらえる機会になるのではないかと思います。また、「ゆうりきや〜」が会場内を回って各ブースを紹介していましたが、音量が大きく相談しているのに声が聞こえにくいとの意見もありました。健康を目的としたフェアなので、大事な点を見失わない様にしたいと思います。

今回、初めての参加で、足手まといにならないか不安でしたが、健康相談をそばで聞かせて頂いたり、何をしたいかわからない所をフォローしてくれたり、いろんな先生方のサポートを頂きました。この場を借りて、お礼申し上げます。来年に開催されるフェアにも是非参加したいと思います。その時までには、しっかりとお役に立てるような薬剤師として、成長しておきたいと思います。

＜薬剤師会ブース参加者＞

○神村 武之	○田場 英治	○笠原 大吾	○山里美恵子	○前濱 朋子	○我喜屋美香
○江夏 京子	○上原 幸代	○伊敷松太郎	○大城 恭子	○照屋 秀子	○新川 重一
○松本 圭五	○佐川 和徳	○玉城 武範	○上原 卓朗	○堀場 弘明	○村田美智子
○与儀 和子	○狩俣 イソ	○草壁 瑞恵	○外間 安次	○平良 栄子	○宮城 幸枝
○渡具知一枝	○田仲 周子	○小渡 静男	○仲地 剛	○備瀬 愛実	○久手堅奈央
○上運天奈帆	○西澤 香織				

(敬称略・順不同)

会務ハイライト

平成25年度医薬分業対策会議報告

日時：平成25年8月25日(日) 14:00～16:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



医薬分業対策委員会
西川 裕

去る8月25日、県内広域病院薬局長と地区薬剤師会役員をお招きして、医薬分業対策会議が開催された。今年度のテーマは昨年度に引き続き『お薬手帳』。平成24年4月の調剤報酬改定にて、薬剤服用歴管理指導料(41点)の算定要件が大幅に変更され、1年半が経過した事をうけ、お薬手帳の活用状況を改めて見直し、今後の医薬分業のあり方について話し合った。

開会の挨拶で神村武之会長は、「最近TV・新聞などの報道において医薬分業へのバッシングが出てきている。薬剤師会も新聞社に抗議文を出すなどして対応しているが、各々薬剤師は、医薬分業を『ただ処方箋を見て薬を渡すだけ』にならないようにし、お薬手帳も『ただシールを渡すだけ』ではなく薬薬連携のツールとして活用し医薬分業の必要性や対面販売の重要性を世間や患者にアピールしていくように」とお話頂いた。

また、田場英治県病院薬剤師会会長からは、「お薬手帳を活用した薬薬連携の中で、岐阜市が行っている薬薬連携は面白く参考になる。今日の会議が、患者の安心・安全な薬物治療のため、病院と調剤薬局が連携を高め、情報伝達ツールとしてお薬手帳が活用されていくための会議になるように」と激励のお言葉を頂いた。

最初に、全国で初めて活用されている「大阪e-お薬手帳」について、吉田洋史副会長にお話いただいた。大阪府薬剤師会では、大阪府地域医療再生基金を活用した補助事業で、携帯電話などを活用し、お薬手帳の記載内容の一部である調剤日、投薬に係る薬剤の名称、用法、用量などの服薬情報の電子化を図ることで、府民の健康増進を図るとともに、災害時等への対応力の向上を目的として行っている。アンドロイドやiPhoneなどの携帯電話を利用し、おサイフケータイ機能や二次元バーコード機能により服薬情報を取り込み保存しておけば、災害時にお薬手帳を持ち出せなかった時でも、服用中のお薬の情報を素早く正確に知ることができる。また、時間が経つほど増えていくお薬の情報も「大阪e-お薬手帳」なら長期の履歴をためておくことが簡単となり、薬の履歴をすべてまとめることも可能になるとのこと。2013年2月から試験運用で、現在は普及啓発をメインに活動しているが、このシステムはそのまま全国でも展開が可能であり、紙のお薬手帳と使い分けることで、お薬手帳の活用の可能性が広がる、大変興味深い内容であった。

次に、在宅医療担当の笠原大吾理事より、『在宅医療における薬薬連携について考える』を浦添市における事例を題材として「自治体」

<式次第>

1. 沖縄県薬剤師会会長あいさつ
2. 沖縄県病院薬剤師会会長あいさつ
3. 「大阪eーお薬手帳」について
4. 「在宅医療における薬薬連携について考える」
ー浦添市における事例を題材としてー
5. アンケート結果について
6. ディスカッション テーマ「薬薬連携とお薬手帳」
7. 「薬薬連携とお薬手帳」(まとめ)

司会：医薬分業対策委員会 川上雄一郎
神村 武之
田場 英治
副会長 吉田 洋史
在宅医療担当理事 笠原 大吾
医薬分業対策委員会 西川 裕
進行：医薬分業対策委員会委員長 池間 記世
常務理事 江夏 京子

「地区医師会」「在宅医療連携拠点」がプロデュースする、他職種の職能団体との協議会の開催を通して在宅医療を推進してきた経緯などお話し頂いた。県内では36薬局が訪問服薬支援を行っているが、全国平均からすると半分以下で那覇市などは特に在宅療養支援が進んでいないのが現状である。県薬剤師会としては、フィジカルアセスメントについて、おきなわクリニカルシュミレーションセンターにて、2年間のプログラムを受講してリーダーを養成する計画が進行中である。今後は、このリーダーを中心に各職場で、手技や知識の習得を広めていくなど展望や提案も頂いた。

また、先日薬剤師会事務局を通じて行った、お薬手帳のアンケート結果について報告が行われた。アンケートには広域病院をはじめ、183件の調剤薬局から合計26,540名分のアンケート結果を集計することできた。この場をお借りして、ご協力頂いた各病院・調剤薬局関係者にお礼申し上げたい。簡単に結果を報告させて頂くと、沖縄県はお薬手帳の持参率が全国に比べると高く、持参する人と新規で作成した人合わせると過半数を上回った。また、病院向けアンケートではほとんどの病院が、「入院時持参薬の確認にお薬手帳の情報は役に立っている」と回答している。理由として、持参薬確認の時間の短縮に非常に有効とのこと。これも偏に薬剤師が地道に患者にお薬手帳を持参するように声をかけてきたおかげだろう。

その後、1時間半ほど、『薬薬連携とお薬

手帳について』アンケート結果などを踏まえて、ディスカッションを行った。ディスカッションでは色々な意見が出て、全てをご報告することはできないが個人的に心に響いた意見があった。それは、「患者が持参する手帳や薬袋にある用法と実際の患者の飲み方が異なることがある。調剤薬局からも患者にしっかりと用法などの説明も行ってもらいたい」「実際は服用しているのに、残薬調整のため処方されていない薬の情報が漏れている」等の御意見を頂いた。また、「お薬手帳についての勉強会は、地区で行ったことがなかったが、今日の話を整理して地区でも話合いたい」とのうれしい意見も頂いた。ディスカッションは他にも活発な意見が沢山出て、話足りないままで閉会の時間となったが、広域病院薬局長や地区薬剤師会役員との良い交流の場となった。

最後に、沖縄県薬剤師会の江夏京子常務理事から、「お薬手帳をテーマにした会議は今回で2回目になるが、前回は診療報酬の改訂後、間もないため、実情の報告にとどまっていた。本日はお薬手帳の活用率などを通して浮き彫りになってきた問題点について話し合えた。お薬手帳の必要性を再認識し、薬薬連携のツールとして質の高い情報を共有できるよう、今後は在宅の現場でもお薬手帳をシームレスな情報共有ツールとして業務に役立ててもらいたい」と期待を込めてまとめの言葉を頂いた。

最後になりましたが、お忙しい中、出席して頂きました皆様に改めてお御礼申し上げます。委員会の皆様大変お疲れ様でした。



吉田 洋史 副会長

笠原 大吾 理事

＜医薬分業対策会議出席者＞

- 神村 武之（沖縄県薬剤師会会長）
- 吉田 洋史（沖縄県薬剤師会副会長）
- 田場 英治（沖縄県病院薬剤師会会長、沖縄県薬剤師会専務理事）
- 江夏 京子（沖縄県薬剤師会常務理事、医薬分業対策委員）
- 亀谷 浩昌（沖縄県薬剤師会常務理事、那覇地区薬剤師会会長）
- 山里 勇（沖縄県薬剤師会常務理事）
- 笠原 大吾（沖縄県薬剤師会理事、在宅医療担当）
- 浅沼 健一（北部地区薬剤師会医薬分業担当）
- 仲座 方利（中部地区薬剤師会副会長、沖縄県薬剤師会医薬分業対策委員）
- 川満 直紀（那覇地区薬剤師会副会長、医薬分業担当）
- 川上 善久（南部地区薬剤師会副会長、沖縄県薬剤師会医薬分業対策委員）
- 川満 正啓（宮古地区薬剤師会会長）
- 下地 仁（宮古地区薬剤師会医薬分業担当者、沖縄県薬剤師会医薬分業対策委員）
- 宮良 長博（八重山地区薬剤師会医薬分業担当、沖縄県薬剤師会医薬分業対策委員）
- 池間 記世（沖縄県薬剤師会医薬分業対策委員長）
- 仲真 良重（沖縄県薬剤師会医薬分業対策委員、会営薬局うえはら薬局長）
- 川上雄一朗（沖縄県薬剤師会医薬分業対策委員）
- 城間 盛光（会営薬局医療センター前薬局長）
- 外間 惟夫（琉球大学医学部附属病院薬剤副部長）
- 長田 茂（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局長）
- 八木 秀明（独立行政法人国立病院機構沖縄病院薬剤科長）
- 金城 清二（那覇市立病院薬剤師長）
- 比嘉 保（浦添総合病院薬剤部長）
- 松山 朝雄（沖縄県薬剤師会副会長）
- 前濱 朋子（沖縄県薬剤師会常務理事）
- 成川 賢一（北部地区薬剤師会会長）
- 西川 裕（沖縄県薬剤師会医薬分業対策委員）
- 石川 恵市（沖縄県薬剤師会医薬分業対策委員）
- 島袋 陽子（会営薬局とよみ主任）
- 川平 浩子（沖縄県立中部病院薬局長）
- 伊藤 昌徳（ハートライフ病院薬局長）
- 平良 清次（赤十字病院薬剤科長）

病院向けアンケート

施 設 名 ()

回答者氏名 () 電話 ()

1. 貴院ではD P C (診断群分類別包括制度) を導入していますか

() はい () いいえ

2. 3日間で持参薬を確認した患者数

() 人

3. 持参薬の確認に用いた情報源について

(1) お薬手帳や薬剤情報提供文書等を参考にした

() 人

(2) 持参薬の確認に(1)以外の情報を参考にした

() 人

(3) 参考にする情報がなかったので一つ一つ調べた

() 人

4. お薬手帳等の情報は役に立っていますか

() はい () いいえ

「はい」の方は次に進む、「いいえ」の方は、問6へ

5. お薬手帳等が役に立っている理由(該当項目に「○」して下さい)

() 正確である

() 持参薬確認の時間が短縮できる

() 薬剤情報以外の情報も記載されており参考になる

() その他 ()

6. お薬手帳が役に立たなかった理由(該当項目に「○」して下さい)

() 記載内容が不正確である

() 持参薬とお薬手帳の内容が合わない

() 1包化の内容がわからない

() その他 ()

7. 持参薬は、有効に利用していますか

() はい () いいえ

8. 持参薬は、使用せず院内処方している

() はい () いいえ

9. 退院時薬剤情報管理指導についてお伺いします

(1) 退院時薬剤管理指導の施行率は、

約 () %

(2) 退院時薬剤管理指導時にお薬手帳への記載に他に

退院時薬剤サマリー等を作成していますか

() はい () いいえ

*質問は、以上です。ご回答ありがとうございます。

薬局向けアンケート

1. 3日間の患者数（調査した日付もご記入下さい）

月	日	()	人
月	日	()	人
月	日	()	人
合	計	()	人

2. 調査対象者についてお伺いします。

- (1) お薬手帳を持参してきた人数 () 人
- (2) お薬手帳は持参してこなかったが自宅にあるというので情報シールを渡した人数 () 人
- (3) お薬手帳は持ってないというので新しく作った人数 () 人
- (4) お薬手帳はいらないと断った人数 () 人
- 理由 ()

3. お薬手帳の内容について

- (1) 1か所の医療機関からの処方内容のみが記載 () 人
- (2) 複数の医療機関からの処方内容が記載 () 人
- (3) 処方内容以外に情報が記載されていた () 人
- それはどんな情報ですか ()

4. 患者から近く入院するという情報を得たときどうしますか

（該当項目に「○」して下さい）

- () 何もしない
- () 患者に必ずお薬手帳を持参するように念をおす
- () お薬手帳の記載に間違いはないか、もう一度見て確認する。
- () 1包化の情報はわかりやすいか、確認する
- () 特別に注意する薬剤があれば、情報を付け加える
- () 現在服用している薬のみを持参するように伝える
- () 薬歴から薬剤情報以外の情報を書き加える

5. お薬手帳を保険手帳と一緒に携帯していただくためにはどうしたらよいと思いますか。

3つまでお答え下さい。

- (1) ()
- (2) ()
- (3) ()

*質問は、以上です。ご回答ありがとうございました。

	琉球大学医学部附属病院	県立北部病院	県立中部病院	県立南部医療センター・こども医療センター	県立宮古病院	県立八重山病院	国立病院機構沖縄病院	那覇市立病院	北部医師会病院	中頭病院	ハートライフ病院	浦添総合病院	赤十字病院	大浜第一病院	豊見城中央病院	友愛会南部病院
	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	28人	13人	7人	10人	18人	0人	8人	31人	37人	73人	31人	56人	29人	33人	100人	18人
	12人	13人	5人	6人	16人		5人	21人	30人	25人	15人	43人	19人	20人	50人	6人
	15人	1人	2人	2人			3人	7人	2人	44人	13人	9人	7人	13人		12人
	1人	0人	1人	2人	2人	2人		3人	6人	4人	5人	4人	3人	0人	30人	0人
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○		○			○	○	○	○		○	○				○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	
									○							
5. お薬手帳等 が役に立っている理由	一部にアレ ルギー、副 作用情報が あった							過去の歴やアレ ルギー情報 など確認でき る			飲み忘れるタイプの 人か、分かる					
	(1) 記載内容が不正確								○			○				
	(2) 持参薬とお薬手帳の内容が合わない								○	○		○	○			○
	(3) 1 包化の内容がわからない			○						○		○				
6. お薬手帳が 役に立たなかった理由	薬を持参し ない場合、 現在どの薬 を服用して いるかわか りにくい										毎回、必ず内容が記載さ れていない。処方変更理 由等の記載がなく、参考 にしかない。残薬によ る未処方薬に対する記 載がない。最近の情報 が記載されていない。					
	(4) その他															
	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7. 持参薬は、有効に利用している	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8. 持参薬は、使用せず院内処方している			○													
9. 退院時薬剤 情報管理指導	0%		10%	30%		10%	0%	30%	65%	20%	5%未満	95%	80%	85%	40%	15%
	(1) 施行率															
(2) 退院時薬剤サマリー等を作成している								○	○							

薬局向けアンケート結果

回答薬局数（183件） （参考 県内保険薬局数 505件）

*以下の各回答は、総数で表示している

1. 総患者数：26,540人

単位：人

		7/24(水)	7/25(木)	7/26(金)	7/27(土)	7/28(日)
		251	287	319	20	0
7/29(月)	7/30(火)	7/31(水)	8/1(木)	8/2(金)	8/3(土)	8/4(日)
3,196	3,702	3,599	1,844	2,060	1,541	107
8/5(月)	8/6(火)	8/7(水)	8/8(木)	8/9(金)	8/10(土)	
2,498	2,747	2,175	1,061	776	357	

2. 調査対象者についてお伺いします。

(1) お薬手帳を持参してきた人数 (11,517人) (43%)

(2) お薬手帳は持参してこなかったが自宅にあるというので情報シールを渡した人数
(9,765人) (37%)

(3) お薬手帳は持ってないというので新しく作った人数 (1,249人) (5%)

(4) お薬手帳はいらないと断った人数 (1,830人) (7%)

理由

① 薬が変わらないから・病院にかからないから等

② 医療関係者

③ 必要ない・面倒等

(5) その他 (2,179人) (8%)

3. お薬手帳の内容について

(1) 1か所の医療機関からの処方内容のみが記載 (4,681人) (39%)

(2) 複数の医療機関からの処方内容が記載 (7,199人) (61%)

(3) 処方内容以外に情報が記載されていた (906人)

それはどんな情報ですか

① 個人情報

アレルギー歴・血圧・副作用歴・体重・既往歴・検査結果・患者の状況・予防注射等の記載・体調・OTC薬・ペースメーカーあり等

② 残薬情報・お薬中止情報・薬の変更情報・後発品変更情報・入院日・疑義照会の内容等

4. 患者から近く入院するという情報を得たときどうしますか

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1 患者に必ずお薬手帳を持参するように念をおす | (1 6 5 件) |
| 2 お薬手帳の記載に間違いはないか、もう一度見て確認する | (7 2 件) |
| 3 特別に注意する薬剤があれば、情報を付け加える | (6 8 件) |
| 4 1包化の情報はわかりやすいか、確認する | (3 7 件) |
| 5 現在服用している薬のみを持参するように伝える | (3 4 件) |
| 6 薬歴から薬剤情報以外の情報を書き加える | (2 5 件) |
| 7 何もしない | (3 件) |

5. お薬手帳を保険手帳と一緒に携帯していただくためにはどうしたらよいと思いますか。

3つまでお答え下さい。

(1) お薬手帳を保険手帳と一緒に携帯して頂くための工夫

回答数 (3 2 2 件)

- ① お薬手帳カバー（保険証も一緒に入れられるカバーを県薬で販売中）やお薬手帳ケース（お薬手帳カバーよりもう少し大きいケース）を利用する（患者に配布する）
- ② お薬手帳の小型化・電子化
- ③ 毎回声かけして患者とコミュニケーションをとり、お薬手帳の有用性について説明する
- ④ お薬手帳についてもっと宣伝する

お知らせ

<県薬が会員に販売している印刷物等>

○国保総括票	25枚	1冊	100円	○お薬手帳カバー	1枚	22円
○市町村別請求書（その1）	50枚	1冊	160円	○薬歴カード	各1枚	5円
○市町村別請求書（その2）	1枚		10円			
○調剤報酬明細書	50枚	1冊	160円			
○管理薬剤師業務日報	1年分	1冊	600円			
○処方せん	100枚	1冊	160円			

（ 国保（本人・家族） 青色
 社保（本人） 白色
 社保（家族） 桃色 ）

【改訂版薄手お薬手帳】表紙色（薄青色）14ページ 価格 税抜き12円

【現行リニューアル版】表紙色（薄黄色）34ページ 価格 税抜き22円

会務ハイライト

第6回 熟年の集い開催

～広報委員長のうらかた日記～

日時：平成25年9月1日(日) 12:00～15:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



広報委員会

委員長 宮城 敦子

「熟年の集い」では、県薬常務理事と広報委員が熟年の大先輩方をもてなす大役を担っている。今回、6回目を迎えたのだが、70歳以上の会員、いわゆる熟年の先輩方の参加は19名だった。70歳以上の会員は124名（平成25年10月現在）に膨れ上がっているが、参加者が横ばいになっているのが気になる。内容の見直しや呼びかけの強化が必要か。

県薬剤師会への長年の貢献に感謝しつつ、ささやかながら楽しんでいただきたいと、今回は我々広報委員も余興に乱入(?)することになった。

さて、広報委員会のマドンナ、池間記世先生の進行で「第6回熟年の集い」が幕を開けた。神村武之会長、金城保景元会長のあいさつと続き、新垣正次元会長のカーリー音頭で盛り上がる。毎回恒例の「薬剤師会と熟年の集いのあゆみ」がスライドで紹介されると、懐古の眼差しと笑顔で場が和んできた。引き続き、恒例の大城勲氏による琉歌のご披露。年齢を感じさせない声量で堂々としたものだった。

特別余興として、ものまねタレント仲村哲也氏による笑いの演出。美空ひばり、志村けん、谷村新司などのものまねで会場は笑いの渦。喜納昌吉のものまねに至っては、本当に喜納昌吉が仲村氏に降りてきたかのような徹底ぶり。久しぶりに大笑いした。

具志堅博一氏が率いるウクレレサークルとフラダンスサークルのコラボが織りなすエンターテイメントは秀逸だった。筆者はフラダンスにチャレンジしようとテンションが上がったほどだ。近いうちに、県薬でフラダンスチー

ムが結成されているかもしれない。

盛り上がったところでクールダウンが必要、とばかりに我々広報委員の余興。広報委員は田場専務理事率いるオカリナチームと化した。筆者はオカリナではなくキーボード伴奏だったので、オカリナについてはよくわからないがかなり練習を重ねたようだ。

事務局大城氏によると、昼休みには田場専務の熱血指導を仰ぎ、オカリナの音色が会館に響きわたっていたとか。また、新メンバー石川恵市氏の三線も感動ものだった。練習期間はわずか2週間だったというから驚きだ。石川氏、おぬし、やるではないか。

オカリナ&三線&キーボードによる演奏は唱歌「ふるさと」。オカリナチームの演奏で最後は大合唱となる。そして長嶺義仁氏、崎山信子氏両氏にご挨拶をいただく。太田節子氏の閉会のことばをもって来年の再会を約束し熟年の集いはお開きとなった。

「フィナーレはカチャーシーで飾りたい」「熟年会員同士がもっと懇談する時間が欲しい」など、熟年の先輩方からご意見をいただいた。前回の反省をもとに今回は進行を早めたのだが、相対的な時間の感覚にギャップがあったのか、もっと時間をかけたほうが良いようだ。

「笑うことでNK細胞が活性化し免疫力がアップする」とよく聞く。我々広報委員は、「笑顔いっぱいの熟年の集いは、もっと参加者を増やし、県薬剤師会行事の目玉にしたい」と鼻息を荒くしている。

先輩方の健康を祈願して、うらかた日記のペンを置くとしよう。

<プログラム>

○物故会員 宮城光吉氏と山城幸久氏へ黙祷

○開会のことば

○熟年の集い 代表あいさつ

○カーリー音頭

司会 広報委員会 池間 記世

沖縄県薬剤師会 会長 神村 武之

金城 保景

新垣 正次

懇 談 ランチタイム ～ ゆんたくタイム ～

○出席者紹介

○「薬剤師会」と「熟年の集い」のあゆみ（放映）

○会員余興

琉歌披露 大城 勲

◇◇◇ 特別余興 ◇◇◇

○ ものまねタレント 仲村 哲也

○ ウクレレサークル「アロハウクレレ」（具志堅博一所属）と
フラダンスサークル「プアマナ」によるエンターテイメント

○合唱「故郷（ふるさと）」文部省唱歌

広報委員会演奏

○熟年の集いの思い

長嶺 義仁 ・ 崎山 信子

○閉会のことば

太田 節子



第6回熟年の集い 記念撮影

◆ 出席熟年会員（敬称略・五十音順）

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| ○新垣 正次 | ○上原 正徳 | ○大城 勲 | ○太田 節子 | ○神山 朝喜 |
| ○金城 清次 | ○金城 保景 | ○具志堅博一 | ○崎山 信子 | ○城間 盛光 |
| ○新城 右祥 | ○渡嘉敷 見 | ○渡久山京子 | ○長田 紀昭 | ○長嶺 義仁 |
| ○西 登貴世 | ○浜元 朝孝 | ○山田 貞子 | ○吉田 久子 | |

薬剤師会では、昔の懐かしい写真や資料のご提供をお待ちしております。ご協力お願い致します。
（連絡先：沖縄県薬剤師会事務局 大城）



金城 保景 代表あいさつ



カリー音頭 新垣 正次氏



再会に乾杯！



地元ものまねタレント仲村哲也氏の喜納昌吉のものまねに大爆笑



具志堅博一氏所属の「アロハウクレレ」とフラダンスサークル「ブアマナ」によるエンターテインメント



毎年、自作琉歌を披露している 大城 勲氏



広報委員会演奏による文部省唱歌「ふるさと」で大合唱



閉会のことば 太田 節子氏



研修会

開局委員会主催 第7回スキルアップ研修会報告

日時：平成25年 8 月 1 日(木) 20:00～22:00
会場：沖縄県薬剤師会館 研修室



開局委員会 松本 圭五

去る8月1日に、第7回のスキルアップ研修会が開催されました。平日の木曜日にもかかわらず、多くの会員が参加されました。

今回も講師は石川元信先生、司会は島袋さゆり委員が務め、『骨代謝と骨粗鬆症』というテーマで開催されました。

石川先生の講義は学生時代に学んだ薬理学、生理学を踏まえながら、現在使われている骨粗鬆症の治療薬がどこで作用しているのかということを知りやすく説明していただき、かなり勉強になりました。

その内容は、骨粗鬆症、骨強度自体は加齢からだけではなく、エストロゲン欠乏、生活習慣病による酸化ストレス、運動習慣、日光浴によって大きく影響することがわかりました。また、骨はカルシウムを摂取することが一番大事だと思っていましたが、カルシウムだけではなく骨基質のコラーゲン生成にはビタミンC、鉄分が必要であること、オステオカルシンといったタンパク質がカルシウムと結合するときにビタミンKが必要であること、骨の質を改善するための酸化ストレスを下げるためにはビタミンB6、ビタミンB12、葉酸接種が必要であること、ビタミン類、ミネラルも骨粗鬆症予防には必要であることがわかりました。

骨粗鬆症の医薬品としては、

○骨の破壊を抑える薬：ビスホスホネート、SERM（エビスタ、ビビアント）、エストロゲン

○骨の代謝バランスを整える薬：カルシウム、ビタミンD3、ビタミンK

○骨の形成を促進する薬：PTH（1－34）副甲状腺ホルモン

などを作用機序、構造式を踏まえてわかりやすく説明していただきました。

また、骨の形成や健康維持に役立つトクホとして2種類

○MBP（乳塩基性タンパク）牛乳に含まれる蛋白の集合体は骨吸収抑制作用と骨形成促進作用があり、骨密度を高める効果がある。

○大豆イソフラボンは女性ホルモン作用があるとされ、破骨細胞を抑制し、骨粗鬆症を予防するなどの働きがあることがわかりました。

この研修会で、骨粗鬆症には医薬品だけではなくビタミン類、カルシウム等のミネラルなどをバランスよく摂ることの大切さがわかりました。

これを骨粗鬆症の患者さんの服薬指導にも生かしていきたいです。

石川先生ご講義ありがとうございました。



講師：石川 元信氏



司会
島袋 さゆり氏

日薬学術大会

第46回日本薬剤師会学術大会参加報告



株式会社琉薬 森下 彰久

2013年9月22日（日）・23日（月・祝）の2日間にかけて開催されました第46回＜日薬120周年記念大阪大会＞日本薬剤師会学術大会に参加しましたので、その報告をさせていただきます。

今回の学術大会は、大阪府の中之島近隣にある4会場（大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル、リーガロイヤルNCB、堂島リバーフォーラム）を使用し、“「薬剤師の新たな使命」～120年の歴史を踏まえて～”というメインテーマで行われました。

はじめに、開会式が大阪国際会議場のメインホールで執り行われました。超満員で立ち見が出るほど多数の薬剤師が参加する中、大阪府薬剤師会 尾島副会長の開会宣言を皮切りに、日本薬剤師会の児玉会長による大会長挨拶、田村厚生労働大臣の祝辞等が続きました。式典の最後には、2014年の次回開催地である山形県薬剤師会 服部会長からの挨拶もありました。

開会式の終了後から、各種分科会、口頭発表、特別講演等が開始になりました。今回、私が聴講した中からいくつか内容のご紹介をさせていただきます。

【スポンサードセミナー8】

「骨粗鬆症に対する薬物治療に関する最新の知見」

近畿大学医学部奈良病院
整形外科・リウマチ科
教授 宗圓 聡 先生

- ・FRAX（WHO骨折リスク評価ツール）の紹介・使用方法
- ・閉経直後や50歳以上の男性で椎体骨折が増えるので、一度骨密度を測定した方がいい
- ・来年の3月までに新しいガイドラインが作成される

- ・大腿骨近位部骨折の約95%は手術が行われている
- ・70歳以上は大腿骨近位部骨折のリスクが高いので予防をする必要がある
- ・経口ビスホスホネート製剤による顎骨壊死の頻度は、1万人あたり2.8人

【ランチョンセミナー14】

「薬剤師のためのサイエンス漢方処方」

医療法人静仁会 静仁会静内病院
院長 井齋 偉矢 先生

- ・漢方薬が実は強力な抗炎症効果を持っていて、炎症を包括的にコントロールすることが可能である。また、漢方薬には速効性もある。

例1）〔ノロウイルスによる急性胃腸炎の場合〕体温37.2℃／激しい水様下痢／臍周囲の腹痛／嘔気・嘔吐／軽度の頭痛→ノロウイルス迅速検査を実施し、ノロウイルス陽性反応→ツムラ82番桂枝人参湯2.5gを初回は5g服用、以後2時間毎に症状がなくなる迄飲み続ける→翌朝には食事ができる

例2）〔急性肺炎の場合〕CT検査で肺炎の存在が判明→ツムラ9番小柴胡湯2.5gを4時間毎に1週間服用及びセフトリアキソン（CTR-X）を1週間投与→その後、ツムラ9番小柴胡湯2.5gを8時間毎に1週間服用→小柴胡湯を2週間服用するとCT画像上、肺炎の炎症が消えていた

- ・動脈系の障害は抗凝固薬や血小板凝集抑制薬のような現代医学にお任せであるが、微小循環や静脈系の障害は超多成分薬剤システムの得意分野である。

例）〔西洋医学では治りにくいと言われている尋常性乾癬の場合〕ツムラ125番

桂枝茯苓丸加薏苡仁7.5g 1回2.5g
1日3回を7週間及びツムラ86番当帰
飲子7.5g 1回2.5g 1日3回を3週
間服用、その後、ツムラ93番滋陰降火
湯7.5g 1回2.5g 1日3回に切りか
えて4週間服用→初回漢方薬投与開始7
週間後、尋常性乾癬の症状がかなり改善
された。

【一般演題 口頭発表】

「大きく変化する薬事情報センター業務 ー県民に対する有害事象発生防止に向けてー」

福岡県薬剤師会薬事情報センター

松永 ゆかり 氏

- ・専任薬剤師は、3名。相談可能時間は、平日9時～17時30分、土曜日9時～12時。
- ・平成24年1月～12月の質問総件数は3,755件、調査総件数は5,591件であった。
- ・相談者別の内訳は、薬局・薬店が1,918件(51.1%)、県民が1,307件(34.8%)、医師・歯科医師が295件(7.9%)、その他235件(6.2%)であった。
- ・県民からの相談内容別の内訳は、副作用・相互作用が42.9%、薬品一般(効能・効果、用法・用量、治療法等)が40.5%、行政・保険が6.6%であった。
- ・薬事情報センターは薬局や病院と異なる薬歴がなく、患者背景や病状の経過、副作用歴等の情報は不十分であるが、県民へ情報提供を行うことにより有害事象を未然に回避できていると考えられる。

【一般演題 口頭発表】

「医薬品卸の「情報収集機能」と「収集した有害事象情報」の有用性についての検討」

株式会社メディセオ 学術情報部

ビジランスグループ 北野 隆志 氏

- ・メディパルグループでは、1995年から有害事象の収集を行っていて、2013年までに5万症例(イベント総数:86,651件)が集まっている。報告者の割合として

は、医師32%、薬剤師68%と薬剤師からの有害事象報告が多い。医薬品医療機器総合機構(PMDA)の副作用報告者では、医師が最も多い。

- ・市販直後調査を委託した製品で、市販直後調査期間内の有害事象報告:651件、市販後6ヵ月～1年未満:252件、市販後1年～2年未満:262件というように、市販直後調査期間内だけでなく、市販直後調査終了後もしっかりとメーカーに対して有害事象報告を実施することで、新薬の安全性の確保に努めている。

その他、400題をこえるポスター発表も行われました。今回のポスター発表では、「服薬指導・薬歴管理」や「在宅医療・介護」に関する内容が多くみられ、在宅医療にかかわっている調剤薬局が増加していることが伺えました。

最後の口頭発表に関連するのですが、医薬品卸では、各薬剤の有効性に関する情報提供のみではなく、副作用等に関する情報提供及び有害事象の収集も大切な業務として捉えています。有害事象報告が発生した場合には製造販売メーカー、MRあるいはMSにお声をかけて頂ければと思います。製造販売メーカーに多くの有害事象報告が集積することで、添付文書の改訂や副作用への対策等がより反映されやすくなると思われます。

今回約1万5千人もの薬剤師が参加した学術大会では、病院に勤務する薬剤師、調剤薬局に勤務する薬剤師、行政に勤務する薬剤師、医薬品卸に勤務する薬剤師等、様々な職種の薬剤師による発表を聴講することができ、今後の業務に大いに役立つものになりました。このような機会を与えて頂きまして誠にありがとうございました。



九山薬学大会

第75回九州山口薬学大会

くすりが紡ぐ「命の絆」「人の絆」
～地域医療・チーム医療に携わる薬剤師として～



(株)アトル 川上 雄一郎

去る9月15日、16日に葉隠れの里といわれる佐賀県にて本大会が開催されました。日本最大級の規模をもつ弥生時代の環壕集落跡である吉野ヶ里遺跡のある歴史公園を尻目に到着した佐賀駅はのどかで平坦な町並がありました。ちなみに九州は薬局開設数が多く、佐賀は特に多いそうです。県知事からは、薬剤師は、社会的に見ても多くの女性が活躍しているという紹介があり、今回配布されたコンGRESバックも女性薬剤師会の発案だそうです。

今回のテーマは「絆」です。我々薬剤師は、この言葉を再認識し、チーム医療へ参画し、在宅へ一歩踏み込んでいかなければなりません。来年度の診療報酬に向けて、今一度薬剤師の質が問われています。「健康寿命」という言葉がありますが、薬剤師はどう貢献することができるのでしょうか。病院薬剤師会土屋副会長からは「薬剤師は内弁慶かもしれない。専門性を発揮し、外へ出て行き、チーム医療の中で力を発揮していかなければならない。」と叱咤激励する場面が本会議ではありました。

この度、卸勤務薬剤師会より本大会に参加できる機会をいただきましたので、いくつかの内容を以下にご報告いたします。



九州山口薬学大会

【特別講演Ⅰ】

演題：先進G7中唯一の「医師の調剤」容認
国からの脱却 ―薬剤師E t h i c s
の高揚と開かれた医療に向けて―

講師：永井 恒司

刺激的な演題に惹きつけられて席に着いた。永井先生も際どい題名を認識しており、そしてずばり日本の分業を完全分業への考えを我々に説明してくれた。

自分自身も分業という言葉に誤って認識していた。最近聞かれる分業批判は「分業関連バッシング」である。つまり院外処方箋が増加しても「医師による調剤」が許されている以上、分業は存在しないのだ。1240年にフレデリックⅡ世により法制化された歴史からわかるように分業は「調剤の絶対主義は処方箋監査であり医師にはゆるされない」と位置づけられている。以来世界では医療の根幹をなし、先進国の必須条件としているが、日本では「医師の調剤」が容認されている。隣の韓国は2000年に医薬完全分業が実施されている。この状況は日本国民に周知させる必要がある。医師による調剤は医師・薬剤師の両者にとって国際的な恥辱である。この脱却のためには医師法第22条、歯科医師法第21条及び薬剤師法第19条それぞれの例外規定を削除する必要がある。これにより、国際基準の医薬完全分業を達成して、薬剤師に調剤を固有の職能として再帰属することができる。

もう一度、人類の英知の結晶である医薬分業を認識する必要がある。何故薬剤師が調剤

するのか？処方箋監査のため、薬剤師は見張り役なのだ。先進国では薬剤師による実質的な処方決定がされており、医師の多くは薬剤師に相談して処方箋を作成している。

医師と薬剤師は対等であり、ヨーロッパの薬学教授は「自分たちが薬剤師を創っているという誇りを持っているそうだ。日本の我々薬剤師も、医師従属化から脱し、相互に独立した医薬完全分業を確立し公正な処方箋監査を行い、「市民から信頼される職業No. 1へ」向かっていきたいものだ。

【特別講演Ⅱ】

演題：超長寿社会における医療の役割

講師：亀田 省吾

高齢者が住み慣れた環境で生活しながら十分な医療を受けられること、地域の医療・看護・介護・福祉が一体となったコミュニティを構築していくことこそが、重要であると考えています。さらに、壮大な医療ビジネスについて、東京オリンピックに向けての構想を話してくれました。

自身の所属する亀田グループは、総合病院・クリニック・介護施設等々をもつ複合医療法人である。その取り組みはとてもユニークで、診療連携を図った電子カルテの導入、WEBを利用した診療連携、医療・介護・福祉サービスをシームレスに提供できる総合ヘルスケアネットワークの構築、完全にクラウド化した医療情報システムなど地域規模での大きな考えがある。このような取り組みを先生は「The KAMEDA difference」と紹介し、差別化を行っている。グループの理念や方針には納得することが多くあり、その中の1つを紹介すると、

○病院造りは街創り

- －地域住民が共感してくれるための安全・安心の提供
- －貧困への対応
- －独居高齢者、高齢者世帯への対応
- －若者が安定し働きやすく家庭を作り、子

供を安心して育てられる環境作り

－安価で質の高い保育

－質の高い子弟教育

と、地域を根ざし、その核となる考えに感心した。

次に、医療サービスの特徴には、①協同によってつくられる、②偏在性が大きい、③満足度の向上が期待できる、④ターゲットが絞れない、⑤コミュニケーションとフレキシビリティが大切である。これらが挙げられ、医療の過程そのものが商品であると先生は言う。何度か聞く内容だが、できているのかと考えると難しいものだ。

そして、日本はいま世界で最も早いスピードで高齢化が進んでいるが、それは世界の先進国も同じである。つまり、在の日本が直面している課題の多くは、同様に高齢化が進行する世界各国がいずれ直面する課題でもある。もし、日本が克服することができれば世界のリーダーシップを取れ、海外へ売り込むことができるのだ。国家成長戦略として、亀田グループの取り組みと、大学や病院の人的資源を活用することで、産学官が一体となり、医療を丸ごと輸出することも可能だそうだ。幸せな超長寿社会に向けた社会システムの抜本的な再構築は、国民の幸せに繋がると同時に、世界に対して日本の価値を示す事となると先生は述べた。

さらに、このような高齢化の加速に伴う医療、介護サービス不足の懸念がある中で、国際比較においても、日本は最も高齢化が進んでいる国にも係らず、人口当たりの医師数はOECD34カ国中29位、看護師数も11位である。唯一薬剤師が2位とのこと。薬剤師の教育内容の見直しと臨床現場における裁量権の大幅な拡大が求められると先生は言う。

先生は来る東京オリンピックを見据えてトレーニングセンター誘致や体調管理サポート体制を提供し、地域貢献と地域活性をすでに目指していると語り、最後に、

「長寿社会における sustainable

societyを目指してAlways say Yes!」と締めた。

【シンポジウム4】

「学校薬剤師としての社会的貢献～地域社会に求められる薬剤師としての関わり～」

○子供たちの今日と明日のために～学校薬剤師への期待と課題～

北垣 邦彦

学校薬剤師は地域に信頼されるべきである。そのためにはステータスの向上が必要である。学校保健は次の2つに大別される。保健管理：こどもの命を守る、今を見守る 保健教育：こどものより良い明日を育む、子ども自身が健康を適切に管理し、改善する。学校薬剤師の法的根拠も確認をした上で、よくある質問と課題にも触れた。

学校薬剤師活動は必ずしも広く認知されておらず、着実な実施による「顔の見える学校薬剤師」を目指すべき。全国学校保健統計調査の精度も上げていきたい。大学以外の学校には学校薬剤師を置くものとし、1人当たりの担当校数、年間の出校数、環境衛生調査実務の有無などを調査していく。報酬を得る以上任せてよかったと思わせること、こどもを守ること、学校保健委員会への参画、定期検査の実施、日常点検の実施を通して、頼られる学校薬剤師を期待している。

○自家製新聞「学校薬剤師便り」を配布して

鶴田 総宏

このシンポジウムの中で印象的で感動すらした発表が鹿児島県薬剤師会の鶴田先生の自家製新聞「学校薬剤師便り」だった。平成16年5月から続けている活動月3回も発行しており、なんと、今年で10年目である。中学生や保護者、教職員、教育委員らを対象に作成、配布しており、飽きさせない工夫で写真やイラストを多用し、カラーで印刷して見栄えが良い。何を伝えたいのか、わかりやすく、見やすく、を意識しており、薬剤師会活動、時事、地域の紹介も絡めて単一になら

ないようにしている。大事にしていることは「客観性の中に主観性を持たせる」とのこと。活躍するイメージが湧いてくる、先生の人間性が伺える内容で、理想的な学校薬剤師に思えた。また、ポスター発表で実際に「学校薬剤師便り」を手にとったが、大変素晴らしい仕上がりで改めて驚いた。

【シンポジウム7】

「手帳がつなぐ医療連携」

○お薬手帳の電子化が導く患者参加型の地域包括ケアシステムの構築

岡崎 光洋

「どこでもMY病院」構想にも触れ、それに基づいて岡崎准教授は上田薬剤師会と共同でスマートフォンアプリの実証実験をおこなっている。

お薬手帳と聞いて何を思い浮かべるか？持参率向上や飲み忘れ防止などがでてくる。

しかし、こんなことは電子化しないとできないのか？立ち返って、意義は何か？と、そもそもの話をから利便性の寄与を話してもらい、わかりやすく説明してくれた。答えは、個別最適化である。受渡しの際の記入や転記、携帯率、保管性について、主体性を持って、内容に気づくことができる、グラフで客観的に見られる、メッセージを残せてコミュニケーションにつながる。

先生が運営するサイト「DeSP」からはお薬手帳アプリをダウンロードすることが可能である。私も早速ダウンロードしてみたが、視覚的にわかりやすく応用しがいがありそうな内容であった。なので是非HPを覗いてみてほしい。

これまでお薬手帳のアナログさも、大分良さを感じているが、先生の話の聞いているとアプリで行った方が、業務が簡単になるのではと考えてしまう。確かに、高齢者の方々には使うことが難しいのでは？と聞こえてくるが、ふと周りを見ると、ネットで買い物をしている方、空港でスマホを上手に扱っている高齢者を見ると、意外と少数なのでは？と私は思う。完全にアプリ化とはいかないが、普

及に臨機応変に対応することが大事かと思う。安全面、個人情報はもちろん、責任が重くなるのだが。

○防災型お薬手帳が紡ぐ地域連携

加藤 剛

お薬手帳の認知度・普及率もあがり、その有用性についての理解も広がっている。静岡県で作成された防災型手帳の特徴を紹介すると、

- ・防水性で丈夫
- ・停電時でも蛍光部分ではっきり→安心感
- ・防災時での活用方法や備えと知識を記載

メディアでも多く取り上げられ、YouTubeにUPされている。興味ある方はご覧いただきたい。静岡県薬剤師会HPも参考にすると特徴がわかりやすい。電子化の話が盛り上がる中、アナログの良さが光る一場面だった。

○当院におけるがん化学療法レジメン管理と薬薬連携

岩田 和弥 他

調剤薬局に来院したがん患者さん、実は外来化学療法を受けていたということはないだろうか？このような情報はぜひ知っておきたいものだが、実際は患者からは聞きにくい。

先生の唐津赤十字病院ではレジメン情報の共有を図っている。その提供方法と内容について触れた。院内の取り組みは省略するが、地域薬局の薬剤師も注射剤についての知識を深め、処方された経口抗がん剤含めて監査することが望まれる。これらを活用することで副作用に対する指導や、公開されていることで処方意図も把握することができる。薬薬連携の形ができています。病院と地域薬局に薬剤師会も入り、HP上の公開とリーフレット作成をしている。薬剤師からはがん患者さんに聞きにくいこともあるから、内服だけではスケジュールや病名までわからないから良いという意見や、不安や抵抗感からこういった取り組みは必要ないといった消極的な意見もでた。

○専門医がお薬手帳にける期待～肝炎連携手帳による医療連携を推進するために～

江口 有一郎

佐賀県が肝がん粗死亡率全国ワースト13年連続である。その中で、A6版で肝炎連携手帳を作成している取り組みを紹介。しかし、患者さんの携帯率の低さや、糖尿病手帳や血圧手帳、喘息日誌など他の手帳もあり負担がある。苦慮されている部分があり、理想はA4の形を目指している。医師や医院の窓口での声かけがあるのは大変すばらしいことであり、普及を加速させ、患者の意識向上につながるだろう。

おわりに、本大会では会場内の一室でフィジカルアセスメントシミュレータ展示が設置されており、シミュレータを用いて、バイタルサインの確認を行う体験ができました。薬剤師会でトレーニングのために採用しており、会員は日々トレーナーと練習を行っているらしいです。採血・静注シミュレータや心臓病診察シミュレータ、呼吸音聴診シミュレータではドキドキしながら普段できない体験ができました。モデルのためか、意外とはっきり異常音が聞けたりするので難しくなく感じました。血圧測定も、器具の微調整に慣れれば行えそうな気がします。早速、家族などを利用して試してみたいと感じました。ほか、レセコンや電子薬歴、調剤支援システムや在宅支援システムなど時代のニーズをキャッチした様々な機器関連の展示では業者の方と楽しく話ができ、工夫や機能性に感心する部分が多分にありました。

最後に、このような価値ある機会をいただき、沖縄県薬剤師会・卸勤務薬剤師会へ略儀ながら書面をもって御礼申し上げます。

委員会だより

臓器移植と薬剤師



保健福祉委員会
委員長 笠原 大吾

皆さんは臓器移植についてはどの程度ご存知でしょうか？臓器の提供意思表示カードについては知っているよ。あるいは、新聞等で子どもの臓器移植手術が海外で実施されるにあたり、その費用が募金で集められたなどの記事は見聞きされたことはあるかもしれません。しかし、実際はお身内にそのような対象者がいらっしゃるかなければ、正直関心が薄いという方も多いかと思います。

去る5月1日、県薬剤師会に公益財団法人沖縄県医療福祉事業団の沖縄県腎臓バンクの伊野波さん、野原さんがお見えになって話は始まりました。臓器移植の周知活動を進める中で、他県では薬局が窓口になっている例がある。ぜひ、沖縄県でもその点で協力をお願いできないかという依頼でした。早速、保健福祉委員会で、“臓器提供の意思表示に関する意識調査”を実施させていただき、その上で関心のある薬局等には周知のお願いをするといった計画でアンケート実施させていただきました。結果は、31薬局から回答がありました（結果もご覧ください）。回答してくださった薬局はもちろん意識が高いからだと思いますが、全国のデータと比較しても決して

臓器移植に関して意識が薄い、あるいは協力しないという結果ではありませんでした。この結果を踏まえて、さらに多くの会員に周知をはかるため、8月11日に開催された診療報酬請求業務講習会（浦添てだこホール）で、腎臓バンクから周知活動（ブースならびに直接のよびかけ）を行ってもらい、会員の全薬局に資材提供を行うという運びになりました。実際の協力方法としては、薬局内に、臓器移植の周知の資材を配置していただき、問い合わせがあった場合には、沖縄県腎臓バンクにつながるといったものです。そろそろ資材が薬局に届く頃かと思います。

さて、薬局は地域の“健康ステーション”として広く住民に健康情報を提供する場所があります。その情報にはさまざまなものがあります。その意味では薬局薬剤師は常にアンテナを高くし、自らがこれらの情報を得ることも必要でしょうし、またこのようなコラボレーションの企画には積極的に協力できるようにしていただきたいと思います。ご協力、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

最後に、アンケートにご協力いただきました薬局の先生方に感謝申し上げます。

<沖縄県保健医療福祉事業団発行の「いきいき健康あいらんどVol.29」に紹介されていました。同記事を73頁に掲載しています。>

臓器提供の意思表示に関する意識調査

2013.07.16 沖縄県薬剤師会
保健福祉委員会 笠原 大吾

実施機関：（全国）（社）日本臓器移植ネットワーク

（沖縄）（社）沖縄県薬剤師会

調査機関：（全国）オリコン・モニターリサーチ（インターネット）

（方法）（沖縄）（社）沖縄県薬剤師会（ファックス）

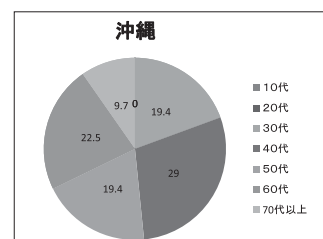
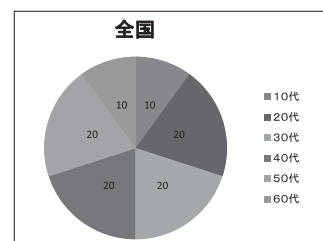
調査期間：（全国）2012年3月22日～28日

（沖縄）2013年6月21日～28日

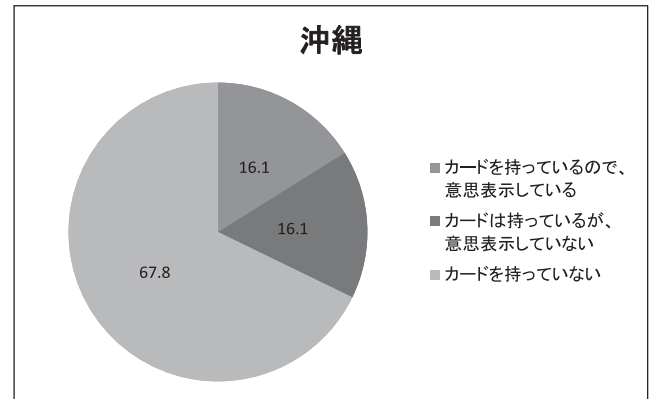
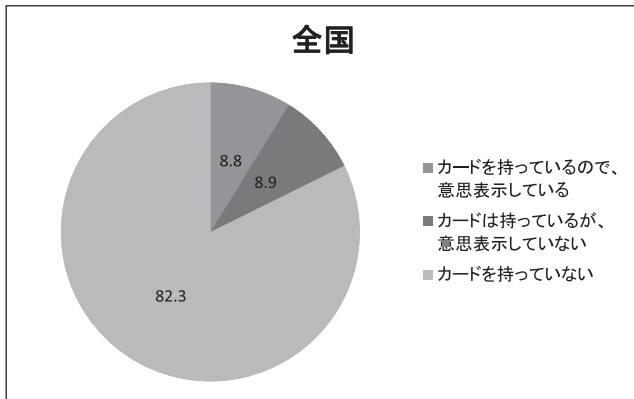
有効回答：（全国）1000人（男性50%、女性50%）

（属性）（沖縄）31薬局の薬剤師（男性45.2%、女性54.8%）

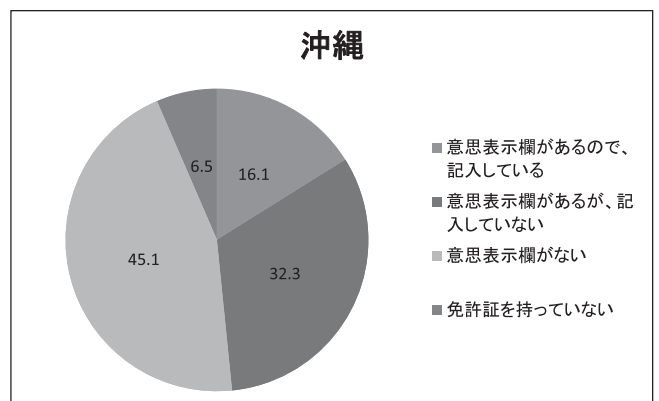
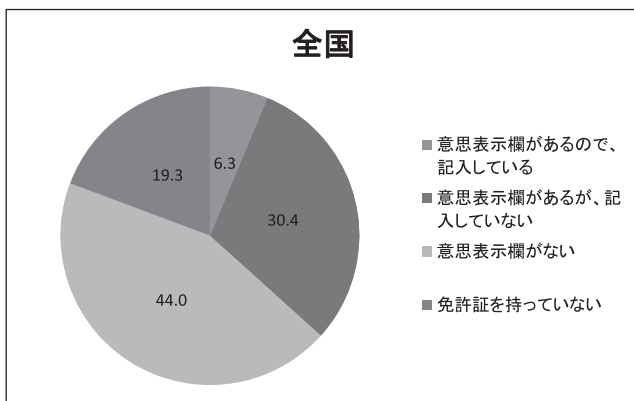
回答者の属性（年齢）



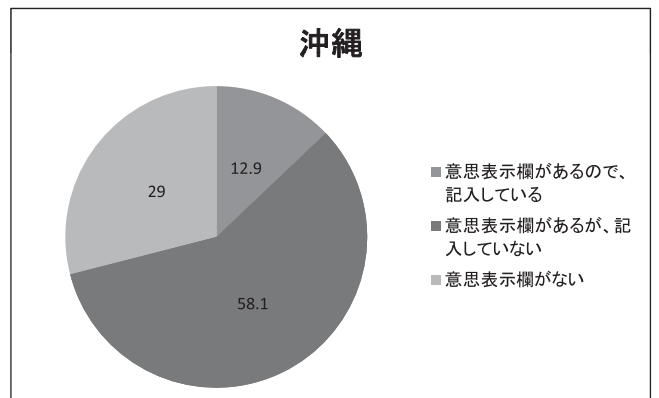
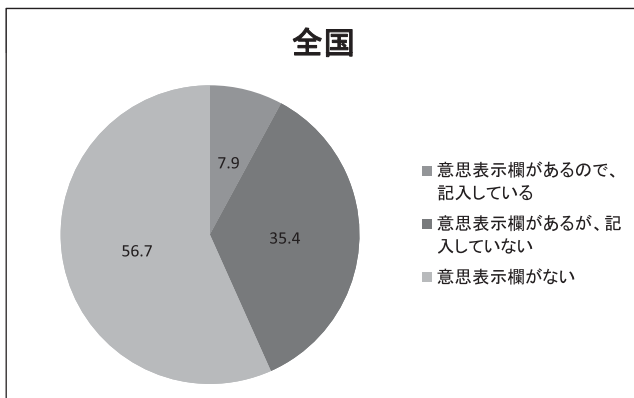
Q1. 「臓器提供意思表示カード」で意思表示しているか。



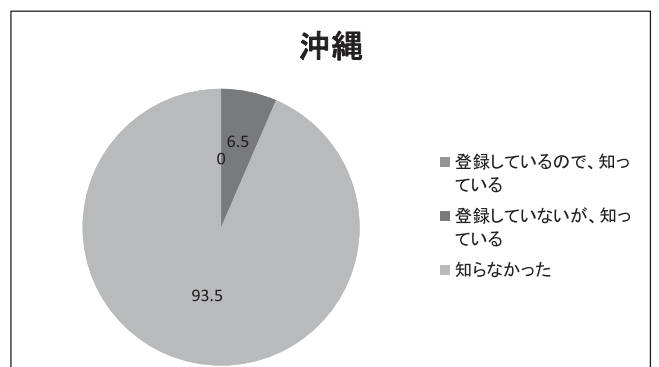
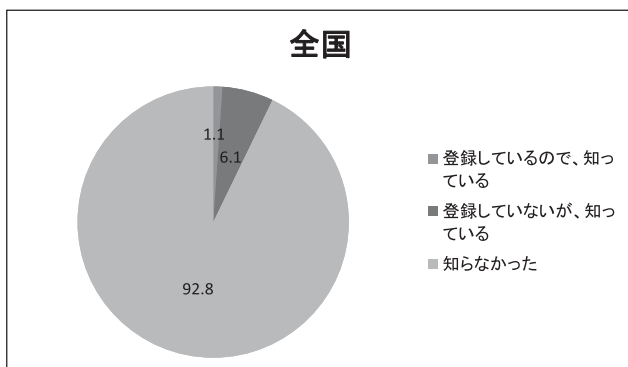
Q2. 意思表示の方法【運転免許証の裏面への記入】



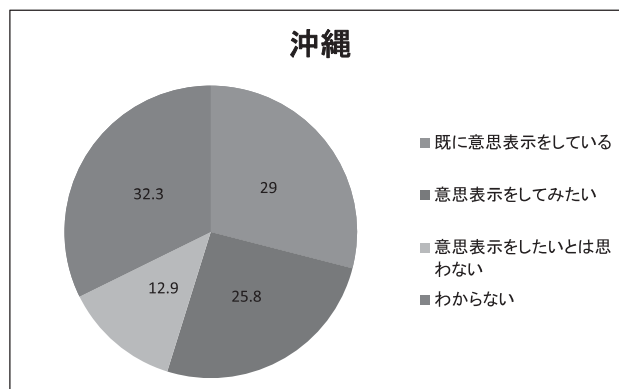
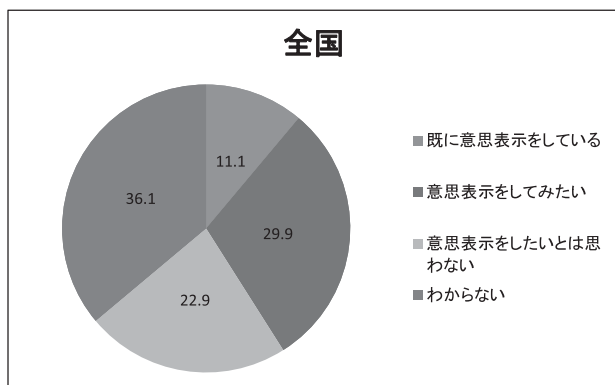
Q3. 意思表示の方法【保険証の裏面への記入】



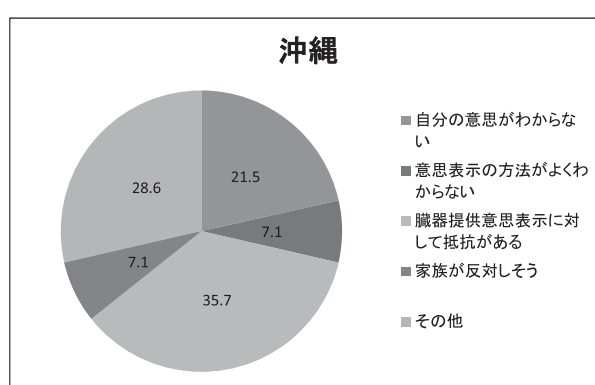
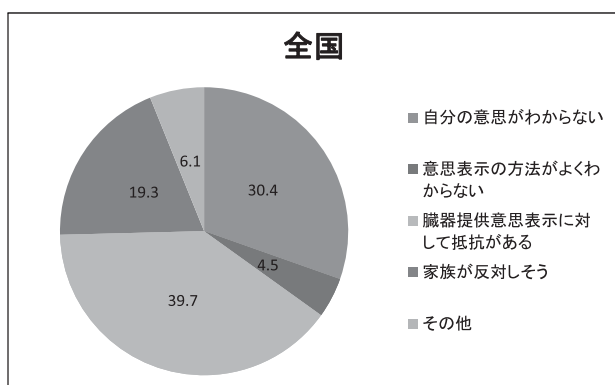
Q4. 意思表示の方法【インターネットによる意思の登録】



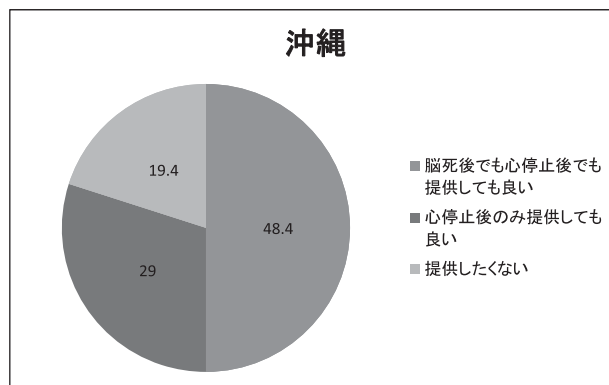
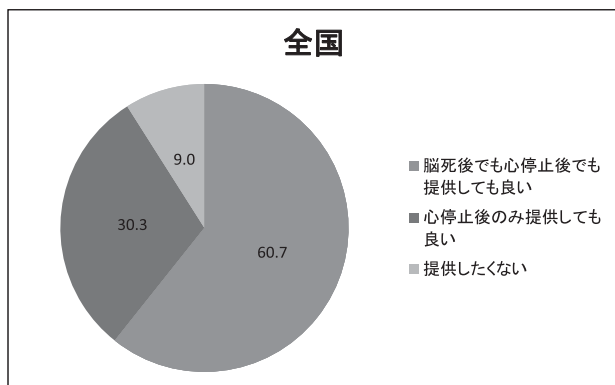
Q5. 「臓器提供意思表示」に対する考え方



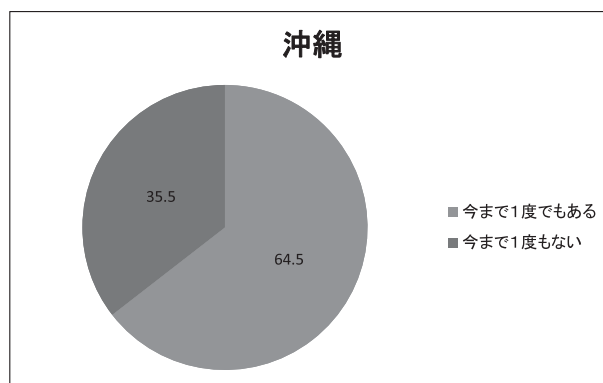
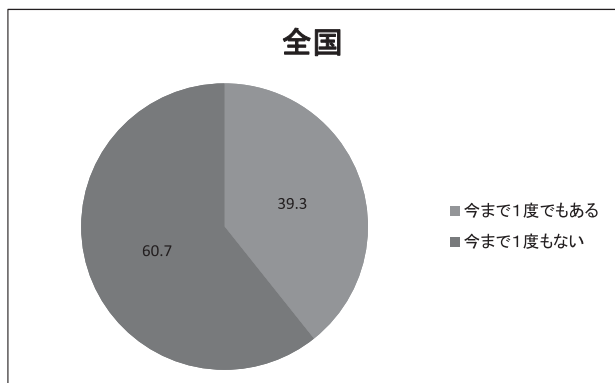
Q6. 意思表示をしたいとは思わない、または、わからない理由



Q7. 臓器提供についてどのように考えているか。



Q8. 臓器提供について、家族と話しをしたことがあるか。



研修レポート

第45回認定実務実習指導薬剤師 養成ワークショップ in 九州・福岡に参加して

ドラッグイレブン薬局新都心おもろまち店
橋本 裕行



去る7月13日、那覇空港から台風7号に1時間遅れの出発というオマケ付きで見送られ、九州随一の都市福岡にある福岡大学で14日、15日に行われた第45回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 九州・福岡に参加させていただきました。

「福岡と言えば中州、夜には屋台で一杯、昼はエアコンの効いた教室で2日間ゆっくりさせてもらおうかな」くらいの気持ちで参加させてもらったワークショップ、私のこの目論みも初日のオリエンテーションの時点で、もろくも崩れさってしまったのです。

オリエンテーションでは、自己紹介の後グループ分け（9～10人）が行われたが、ワークショップはこのグループでの討論、発表（SGD）を中心に各セッションが行われました。このSGD（グループ討議）においては、進行司会、書記、と全体討議での発表者のパートを、各セッション毎に参加者が違うパートを担当し、全員が2日の内にすべてのパートを担当しなければならないいうえに、進行スケジュール11分きざいみで決められており、もちろん時間厳守は言うまでもありません。

勉強会、研修と言えば、時間の経過が遅く感じられ、睡魔との闘いが常ですが、このワークショップでは、朝8時50分のスタートから「薬学教育の問題点」等々のセクションをこなし、最後の情報交換会まで、気がつけば夜の8時で、睡魔に気づく間もなく、グループの人達ともこの研修（苦難、苦痛）を通じて早くも仲間意識が芽生えており、あっという間に初日のワークショップが終わっていた感じでした。

ホテルに帰り、翌日朝に提出のレポートを

作成、ここからが睡魔との闘いとなりましたが、なんとかやり終えて、本当の意味での初日が終わり、やっと床につくことが出来ました。

翌日、目を覚ますと、街は博多祇園祭りの太鼓の音と、活気で満ち溢れ、自然と高揚感でワクワクしてしまいましたが、楽しんでいる時間もなく、急いで支度をし、浴衣姿で祭りを楽しむ人達の流れに逆らって、電車に乗りこみ、会場に向かいました。

2日目は、気心がしれたグループの仲間達と言う事もあり、SGD（グループ討議）で活発な意見交換が行われ、時に激しすぎて、何度となく時間が足りなくなっていました。が、なんとか各セッションを終える事が出来、2日間に渡るすべてのスケジュールが終了しました。

修了式では、全員が2日間の感想を述べた時、有意義な内容にお礼を陳べる人、機会があればまた参加したいと言う人、感極まって涙ぐむ人等々でいっぱいでした。

私は今回、ワークショップに参加させていただき、教育の難しさ、楽しさを改めて実感すると同時に、薬剤師の先輩として、後輩の薬剤師に伝えなければならない事、伝えたい事は何なのかを、改めて考える機会となりました。そして、薬剤師として、社会人の先輩として、自らの行動と教育と言う形で、しっかり責任を果たさなければならないと自覚し、覚悟を決めた時、なぜか開放感と高揚感でいっぱいになっていたのを覚えています。

最後に、今回、ワークショップに参加する機会を与えて下さった皆様方に、感謝、感謝の気持ちを、この場を借りて伝えさせていただきます。本当に、ありがとうございました。

研修レポート

第45回認定実務実習指導薬剤師 養成ワークショップ in 九州・福岡に参加して



なでしこ薬局 平良 奈緒子

平成25年7月14日(日)・15日(月)に福岡大学にて開催された「第45回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 九州・福岡」に参加して参りました。

今回のワークショップには病院薬剤師、保険薬局薬剤師、大学関係者など総勢84名の薬剤師が参加していました。参加者は大きくA～Cの3つのチームにわけられ、さらに9～10名で構成される3つのスモールグループにわけられます。このスモールグループで2日間にわたり与えられたテーマ・課題について取り組みました。

今回のワークショップで与えられたテーマは、「カリキュラム・プランニング」。学習者(実習生)の到達すべき目標を設定し、目標に到達するための教育方法、評価法を具体的に作り、その教育方法が適切であるかを評価して、よい良いカリキュラムを立案する手法を身につける事が今回のワークショップの目的です。

ワークショップでは定められた目標を達成する為、与えられたテーマについてスモールグループでディスカッションを行います(SGD)。ディスカッションがスムーズに進むよう毎回テーマ毎に「司会者・書記・発表者」を決め、ディスカッションでまとめた結果はチーム全員の前で発表し、討論します。まず簡単なゲームでSGDの進め方を学び、その後2日間かけて、以下の5つのテーマでSGDと発表を行いました。

○薬学教育の問題点

(KJ法を用いた問題点の抽出と整理)

○カリキュラムとは・学習目標とは

(学習目標の作成)

○方略とは(学習方略の作成)

○評価とは(教育評価法の作成)

○問題点への対応(問題点への対応作成)

とてもタイトなスケジュールではありませんでしたが、参加者全員が積極的に意見を出し合い、とても良いチームワークの中カリキュラムを立案する事ができました。テーマの1つであった「薬学教育の問題点」のSGDでは、学生の受け入れにあたって、受け入れ側の状況やカリキュラムの問題、学生のモチベーションについて経験や意見を聞くことができ、参加型実習の指導の難しさを感じましたが、最後の「医療人教育の改革」と題した講演で「教える事は学ぶ事」という言葉を聞き、自分自身も成長する機会を与えられている、と言う事にも気付かされました。

ワークショップが始まるまでは不安や緊張でいっぱいでしたが、本当に多くの事を学ぶ事ができ、充実した2日間を過ごす事ができました。

ワークショップでお世話頂いたタスクフォース、事務局の皆さま、そして今回このような機会を与えて下さった沖縄県薬剤師会の皆さまに感謝申し上げます。



研修レポート

第45回認定実務実習指導薬剤師 養成ワークショップ in 九州・福岡に参加して



ぴいぷる薬局経塚店 中尾 滋久

私は、平成25年7月14～15日、福岡大学で開催されたこのワークショップに参加させて頂きました。今回のワークショップに、私以外で沖縄から参加された先生もいらっしゃいましたが、九州山口地区から約90名の参加者が集まりました。参加者は、①薬局薬剤師、②病院薬剤師、③薬学部の教員の3職種から集まり、教員は薬剤師ではなく臨床を行っている医師も参加していました。

この2日間で学ばせて頂いたのは、「教育とは学習者に価値ある変化をもたらすこと」で、その学習者（学生や新人薬剤師）を導くために必要な指導者（指導薬剤師）の知識・技能・態度を学ばせて頂きました。

今回のワークショップは、3職種が1グループ（約10名程度）になり、3グループで1チームとし、計3チームに分かれて作業を行いました。グループ毎に課題内容が異なりますが、3チームとも同じ課題を行いました（表1）。グループには「タスクフォース」という司会進行を行いながらチームのサポートをするスタッフと一緒に課題を行います。作業中

に迷いや進め方に行き詰まると「タスクフォース」がより良い方向に導く役割をしていました。

課題は、学生を指導するために使用する「カリキュラム」を実際に作成するというものでした。作業を行う事で目標・方略・評価というカリキュラムの要素について学び、各要素の意味を深く理解できた指導者はより良い教育、指導が行えるようになるという事がわかりました。

また、この課題を行いながらワークショップの手法について学びました。目標を達成するために必要なプロセスとして、①グループでディスカッションや作業を行う、②発表し、他グループと討議する、③その討議内容に対して再度グループでディスカッションを行うという流れを繰り返し行くと、個人レベルでの問題解決や学習とは比較にならないほど有効な成果が得られるという事を実際に経験し理解できました。その中で、「少数意見に対して耳を傾ける」の重要性を改めて感じました。例えば、学生や新人薬剤師に対して指導薬剤師は自分たちが当たり前と思っている業

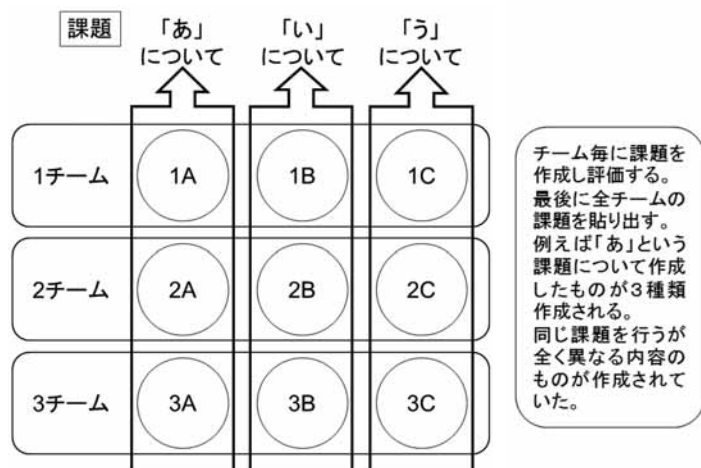
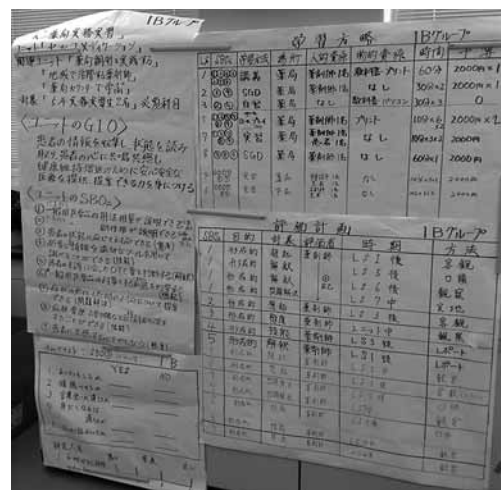


表1 チーム分けについて



私のグループが行った課題

務内容に関して説明します。しかし、初めて経験した者がその業務内容に疑問を感じたらその業務は改善できる可能性がある事を示唆します。「自分たちにとって当たり前の内容が、もしかしたら当たり前ではないのかも？」と同様で、少数意見の意味や考えを聞く事は、考えなかった事に気づくきっかけとなり、それが考え方に広がりを与えるのではないかと思います。

参加者にとって、この2日間のスケジュールはあっという間で滞りなく進行していました。それはたくさんのスタッフの方が膨大な時間をかけて準備、打ち合わせを行って下さっ

た結果だと思います。参加者よりもタスクフォースをはじめスタッフの方が大変だったのではないかと感じました。

今回参加させて頂き、沖縄県薬剤師会の皆様や薬局スタッフにとっても感謝しております。とても実りある2日間で、今後の薬剤師教育に必要な知識や技術を習得させて頂いただけではなく、志高い仲間と知り合う事もできました。このような貴重な経験を県内すべての薬剤師が受講する機会のあることを希望します。受講できない薬剤師の方々に少しでもワークショップで学んだ内容をフィードバックできるように日々精進したいと思います。

第45回認定実務実習指導薬剤師 養成ワークショップ in 九州・福岡に参加して



ゆい西崎薬局 山城 巨佳

去る7月14日・15日の連休に「第45回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 九州・福岡」が福岡大学で開催されました。90名あまりの薬剤師・医療関係者が参加し、2日間という限られた時間の中で実務実習について様々な意見が熱く討議されました。

ワークショップではあらかじめ目標が設定され、その目標を達成するために参加者全員が討議や作業を行い、一定時間に成果を生み出すという流れで、それぞれの課題についてグループで考えていきました。すべての課題が分刻みのハードなスケジュールで頭が飽和状態になったのが今でも忘れられません。

第1日目午前中は、ワークショップの意義について学び、コンセンサスゲームを行い、K-J法を用いて薬学教育の問題点について討議しました。ここでは「薬学教育の問題点」に対して直感的に思いついたことを書き出し、短時間の中で作業を行い、グループでは積極的な意見交換が行われました。討議によって

グループ化されたカードを大きな紙の上に配置して図解を作成し、線によって全体の関係を示しました。この作業を通して私たちグループで考えた「薬学教育の問題点」が明確化されました。午後は「カリキュラムとは・学習目標とは」「学習方略とは」の2つのテーマについて討議しました。学習の成果は何であるか（一般目標：GIO）、学生がそのGIOを達成したことを示すために何ができるか（行動目標：SBOs）を明確に示せてはじめてカリキュラムを組むことができ、SBOsに達成するために学生が積む経験および必要な資源が学習方略（LS）となります。今回はこの一連の作業を、与えられた課題について討議し、それらを作成しました。ビデオ学習ではなんとなく理解して当たり前のように感じたカリキュラムでしたが、この作業を通してカリキュラムを作成した先生方が学生の立場に立ち、彼らがいかに興味を持って学べるか、学生の学習意欲を刺激しながらどのようにすれば学習効果を最大限に発揮できるかを考え

て作成されたものなのだと感じ、改めて実務実習のスケールの大きさ、重大さ、そして責任を痛感しました。

第2日目の午前中は、「教育評価とは」、午後からは第1日目の「薬学教育問題点への対応」「問題解決のプロセス」についてグループ討議を行い、森田先生による「医療人教育の改革」についての講義を聴きました。教育は学習者の行動（知識・技能・態度）に価値ある変化をもたらすプロセスであり、そのプロセスでは目標、方略、評価が重要であることをお話しされました。そして、このことが2日間のワークショップの趣旨であることを再確認しました。

今日、医療の質の向上が求められる中で、医療人としての質の高い薬剤師養成が必要とされています。私たち薬剤師は薬学の基礎的な能力と臨床に関わる知識を身につけ、幅広い教養やコミュニケーション能力、問題の発見・解決の能力等を養うことも大切だと感じました。

ここでの時間はとてもハードでしたが、ワー

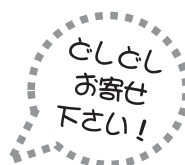
クショップ形式での内容の濃い討論が繰り返され、充実した時間を過ごすことができました。また様々な職種の考え方や意見を聞くことができたことも貴重な経験でした。実務実習は思っていた以上に奥が深く、とても勉強嫌い（笑）な私自身の知識不足・経験不足も多々あり、今回ワークショップに参加して10年分にも値するような多くの刺激を得てヘトヘトになって帰ってきました（苦）。

今回学んだことを糧に、学生が様々な事を経験できる機会を作り、より多くの目標を達成し、充実感が得られるような実務実習を行える環境を作りたいと思いました。そしてめまぐるしく変わっていく医療に対応できる薬剤師を育てていけるよう、学生と真摯に向き合い、信頼関係を大切に、学生と共に学び成長し続けることのできる指導者であるよう努めていきたいと思いました。

最後に、今回このような機会を与えていただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。

会報原稿募集のご案内

広報委員会



おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。

広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいますようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です）。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

・誌上匿名は可能です。

・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します）。

☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）

〒901-1105 島尻郡南風原町字新川218-10 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932
e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

会議レポート

平成25年度沖縄県禁煙協議会総会に参加して

日時：平成25年 8 月 9 日(金) 14:00～16:00

会場：沖縄都ホテル 綾羽の間



保健福祉委員会 山里 美恵子

沖縄県禁煙協議会は、肺がんをはじめとする各種がん、心臓病、呼吸器疾患等の危険因子となっている喫煙に伴う健康障害を減らすために、少年期における喫煙開始の予防（防煙）と、非喫煙者の受動喫煙防止（分煙）を図るとともに、喫煙者の禁煙支援を推進することにより県民の健康増進を図ることを目的に設置されました。現沖縄県禁煙協議会会長である親泊一郎氏の開会の挨拶にはじまり、今年は協議会創立10年にあたることから、当協議会特別顧問である奈良女子大大学院教授の高橋裕子先生へ感謝状が贈呈されました。

次に、事務局による平成24年度の協議会の活動報告、各団体・機関における喫煙防止ならびに禁煙活動の取り組み状況が報告されました。以下に簡単に報告します。

(1) 沖縄県医師会 宮城信雄 会長

禁煙対策について医師会館敷地内完全禁煙を実施しており、利用する会員、その他各種団体・企業への喫煙防止を図ることで、効果的な禁煙対策を推進している状況である。また、平成16年度に続いて「医療従事者に関する喫煙状況調査」を再度実施し、結果を前回と比較することで、今後の医療従事者に対する禁煙推進活動はもとより県民への健康教育ならびに啓蒙活動等に役立てていきたい。

(2) 沖縄県教育庁保健体育課

安次富理恵子 指導主事

沖縄県における小・中・高等学校における薬物乱用防止教室の実施状況について、沖縄県では、小学校74%、中学校86%（全国では62%）であった。喫煙開始年齢が若年化している状況下で初めの1本を吸わせない教育が必要であるが、小学校のみならず家庭や社会へもこのことを広げて

いく必要がある。

(3) 国立病院機構沖縄病院 川畑勉 副院長

「肺がんと喫煙にまつわるよもやま話」というタイトルで、昨今、タバコが身体に及ぼす様々な害が報告されている中で、新たに骨折、関節リウマチ、椎間板ヘルニアとの因果関係も報告されているという状況について講演された。

(4) 沖縄県看護協会 平尾静江 理事

「2012年看護職とたばこの実態調査」によると、沖縄県の看護職の喫煙率は15%と上昇がみられた。

(5) 沖縄県薬剤師会

笠原大吾 保健福祉（禁煙）担当理事

平成24年度の活動報告として、豊見城市ならびに西原町の禁煙事業に参加し、禁煙相談ならびに禁煙指導介入を行った。また、学校薬剤師を中心とした教育現場における防煙（初めの1本を吸わせない）活動が、小学校から高等学校の児童・生徒に対して継続的に実施されている状況を報告した。

(6) 沖縄県総合保健協会健康増進部

砂川大樹 企画情報室長

「無煙化社会推進プロジェクト」として、八重瀬町立白川小学校区における取組の報告があった。2012年7月小学校区の全校児童ならびに保護者を対象としてアンケートを実施した。児童の受動喫煙に関する保護者への質問で、117人（26.8%）が受動喫煙を受けていると回答があった。児童への質問でも、5人に3人以上が、他人のタバコの煙や匂いを日常的に経験していると回答している。タバコの健康被害から子供を守るため、幼いうちからの禁煙教育、受動喫煙を防ぐことの重要性が改めて確認された。一方、一度でも吸ってしまっ

た児童に対する治療の難しさも示され、小学校入学前に初めて喫煙したことがあると答えた児童2人、小学校1年生4人、2～3年生各2人であったことから早期の禁煙教育の重要性も改めて感じた。

(7) 那覇市なはまちなか振興課

那覇市における路上喫煙防止条例の制定ならびにタクシーの全面禁煙化に続き、沖縄市や浦添市でも那覇市と同様の条例の制定を禁煙協議会として要請した。また那覇市の路上喫煙防止条例に首里城周辺道路も追加指定するように要請した件に関し、改めて回答する旨報告があった。

(8) 沖縄県福祉保健部

糸数 公 健康増進課課長

平成25年度禁煙週間における実践的な取り組み「タバコの健康に及ぼす影響について」として、未成年者の喫煙防止対策への取り組み、公共の場・職場等における受動喫煙防止の取り組み、禁煙支援・禁煙相談・禁煙指導窓口などの強化について報告があった。

最後に、高橋先生の講話で幕を閉じました。初めて参加してみて大変有意義な会であったと思います。



笠原 大吾 理事

部会だより

第12回九州地区健康教育研究大会報告

会期：平成25年8月5日(月)～6日(火)

会場：浦添市てだこホール

学校薬剤師部会 部会長 前濱 朋子



去る8月5日(月)6日(火)の両日、浦添市てだこホールを主会場に、「生涯にわたって、心豊かにたくましく、生きる力をはぐくむ健康教育の推進」を主題に、第12回九州地区健康教育研究大会が開催された。

沖縄県での開催ではあったが、平日ということもあり、学校薬剤師部会からの参加は12名であった。

特別講演の他、9つの分科会で学校保健に関するテーマの報告があった。

第2分科会「保健学習・保健指導」では、沖縄県立高校養護教諭により、薬物乱防止講演が学校薬剤師によってどのように行われているか、学校薬剤師へのアンケートを基に発表があった。





未来の学校薬剤師 ～学校薬剤師と実務実習生～



学校薬剤師部会
部会長 前濱 朋子

これまで、『学薬だより』を通して、調剤とは違う学校での様々な仕事を紹介してきました。1年余にわたる『学薬だより』の成果か、若い学校薬剤師の希望者が増えてきたように思います。

さて、実務実習生と学校薬剤師。接点があるの？と思われるかもしれませんが、彼らの薬局実習のカリキュラムの中には、しっかり学校薬剤師が組み込まれています。そこで、学校薬剤師部会では、実務実習生への学校薬剤師についての集合研修を行い、その後、学校での学校環境衛生検査の実施、薬の正しい使い方教室への参加をしてもらっています。

私の担当する特別支援校の高等部でも、実務実習生に手伝ってもらい、くすりの正しい使い方教室を行っています。いつもと違ったのは、まず生徒達の反応。年齢も彼らに近い実習生に皆興味深々。より親近感を持って接してきます。そんな雰囲気が出来上がれば、薬のもしっかり聞いてくれ、質問にも積極的に答えようとしてくれます。

実習生にとっても、新しい発見がある学薬の研修。大学ではそんな仕事があると聞く程

度らしく、実際に学校で水質検査や“くすり教室”のお手伝いをしてもらう事で、学校薬剤師に大いに興味を持ってくれます。病院や薬局では味わえない、何かを感じてくれるのか、はたまた社交辞令か、学校での実習を終えた実習生は「薬剤師になったら、学校薬剤師もします」と言ってくれます。さしずめ、“学薬の青田買い”といったところでしょうか。実際に、今年4月に大学を卒業して沖縄で勤務を初めた新人薬剤師が、「来年から学校薬剤師をやりたいです」と言ってきてくれました。

学校薬剤師部会では、学薬希望者のwaiting listを作成しております。これに基づき、学校と学校薬剤師の配置を12月頃から調整していきます。

『学薬だより』を読んで、「学校は楽しいよ」という学校薬剤師の声を聞いて、やってみたいと思っている先生方、話を聞いてみたいというだけでも大歓迎です。ぜひ下記までご一報ください。学薬の先生方からの担当校についての相談等も下記で受けております。

学校薬剤師&学校薬剤師を希望の会員の皆様へ

学校薬剤師部会では、学校薬剤師の配置等の再確認を行っています。新たに学校薬剤師を希望する会員の方、現在の担当校について（変更等の）、ご相談を考慮しておられる学校薬剤師の先生は、学校薬剤師部会まで連絡下さい。

（連絡先） 学校薬剤師部会 前濱 朋子 TEL 098-963-8930

月例相談会

第109回健康とおくすり相談会報告

日時：平成25年8月25日(日) 13:00～16:00

場所：サンエー那覇メインプレイス

担当：那覇地区薬剤師会



アイアイ薬局
國吉 直子

平成25年8月25日、サンエー那覇メインプレイスにて「健康とおくすり相談会」が開催されました。当日は、音楽イベントなども開催されており、4階という場所でした。人が集まるのか不安な点もありましたが、開始前から待っている方もいらっしやって、うまくスタートできると思っていたら、機械のトラブルがあり少しお待たせしてしまいました。その後は順調で何事もなく終了しました。

体脂肪の気になる方の相談の多い中、「バイアスピリンの服用と副作用について」「便秘薬について」の相談もありました。薬についてアドバイスできたことは薬剤師としてとても嬉しいことでした。

また、血圧が180以上もあって（降圧剤の服用歴なし）頭痛が4～5日続いているという方もいらっしやって「どうしたらいい？」という相談もありました。「今日は帰られたらゆっくり休んで、明日は必ず内科を受診するように」と受診勧告しました。相談者の皆様には、健康についての心配ごと、薬につい

ての心配ごとなど、相談してよかったと安心して帰っていただきました。

日常生活の中で、病院を受診する程でもないが、健康について聞いてみたいこととか、以前調剤薬局でもらったこの薬、以前購入した常備薬、また健康食品やサプリメントなどについて確認したいことなど、気軽に相談できる場、ちょっと薬剤師さんに聞いてみようと思えるような場を提供することは大切なことだと改めて思いました。相談者のほとんどの方が、まだ通院はされていないが、普段の健康を心配されている方が多く、お薬についてだけでなく、薬剤師として医療人として、食生活や運動習慣についてのアドバイスができてよかったと感じました。

「健康とおくすり相談会」は、薬剤師を身近に感じ、薬剤師の職能を地域の皆様に理解していただけるととてもいい機会だと思います。これからも、地域の皆様に貢献できることがあれば参加したいです。

健康とおくすり相談員

○伊是名 秀平

○國吉 直子

○渡具知 一枝

○外間 安次

寄稿

薬物乱用防止教室～アルコールの害～講演会報告

名護市立小中一貫教育校
緑風学園（久志小・久志中）
養護教諭 大城 直美

本校では、去る9月13日（金）に沖縄県薬剤師会の笠原大吾先生を講師に迎え講演をして頂きました。当日は、2時間目：小1年～3年生、3時間目：4年～6年生、4時間目に7年（中学1年）～9年生（中学3年生）と発達段階に応じて、児童生徒はアルコールが人体に与える害について学びました。

学校では、薬物乱用防止教育の必要性が叫ばれて久しいですが、外部から専門家を招いて講話をいただくことで、子ども達は、より深く学ぶことができます。また、薬物乱用防止教育と一言でいっても、喫煙、飲酒、薬物（シンナー等も含む）など取り扱う内容は多岐にわたることから、本校では、焦点をしばり、昨年から喫煙、今年度は飲酒について知識を深めていきました。次年度は薬物（脱法ドラッグなど）についても学べたらと思います。

事前にとったアンケート（抜粋）では、「将来お酒を飲みたいと思いますか」の問いに35.7%が飲むかも…と回答。当日の質問でも、学年が上がるにつれて「飲むと思う。」の回答が多くなりました。

○「飲酒については、タバコより抵抗がなく、タバコの害については、今までも勉強しているが、アルコールについては、寛容であることが伺われ、身体への影響についてはあまり理解できていない。」ことがわかりました。アンケートの結果をふまえ、

1年生～3年生は、アルコールの種類（メチル、エチル）、体に入ったアルコールは、どうなるのか？どうして子どもは飲んじゃいけないのか？脳への影響やタバコとアルコールの違い、依存症、ノンアルコール等について学習しました。

4年生～9年生は、上記の内容＋人体への影響とお酒のメリット、デメリットについて学びました。未成年でお酒を勧められたらどうする？断り方のロールプレイを行う等、将来にわたって自分の体を大切に意識できるよ



う飲酒運転防止についても触れていただきました。

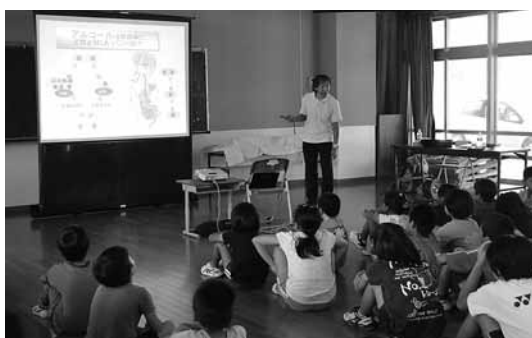
写真やグラフなど視覚教材を用いながらの説明と実際のアルコール飲料を取り出し、クイズを行う等子ども達も興味を持って先生の話を聞き入っていました。また講話終了後には、教職員でアルコールチェックを行い、アルコールについて理解を深めました。

以下は、児童生徒の感想です。

- 今日、授業を聞いていたらお酒がのうに悪いといっていたので、こわいなと思いました。（1年）
- 今日わかったことは、アルコールが体に悪いこととアルコールは子どもが飲んだらダメなことです。（1年）
- 今日、初めて分かったことは、1つあります。それは、おなかに赤ちゃんがいるお母さんがお酒を飲むと赤ちゃんの脳が縮まることです。それと笠原大吾先生の教えてくれる言葉づかいがきれいだったので、聞きやすかったです。私の家ぞくは誰もお酒をのみませんが、笠原先生の言ったように気をつけたいです。（3年）
- すすめられたらどうする？
大人にお酒を飲むと聞かれたら、ぼくならことわります。おいしいと言われても、飲まないようにしたいです。（4年）
- アルコールは使い方によって良い効果が出たり、害をあたえたりすることが分かりました。私は、正月やおぼんの時にお酒をすすめられても断るようになります。（6年）



1年生～3年生



4年生～6年生（どれがノンアルコール？ アルコール飲料？）



7年生～9年生

- ノンアルコールでも子どもが飲めない理由がわかりました。また、お酒を飲んだら「かん臓」や「脳」などに大きく影響することも画像やグラフでよくわかりました。（6年）
- 今日、ぼくがわかったことは、タバコよりも酒の方がやめにくいことがわかりました。またノンアルコールも飲んだら、ダメということがわかりました。（6年）
- アルコールについて話を聞いて最初はアルコールには害はあまりないと思っていたけど、体に害を与えるし、飲み過ぎると依存症になるとわかりました。ぼくは将来あまり酒を飲まないようにしたいです。（9年）
- 今日、薬物乱用防止教室でいろいろ教えてもらって、赤ちゃんができた時、その赤ちゃん

- んまで影響することにびっくりしました。20歳になって飲むかもしれないので、飲み方に注意したいです。（9年）
- 薬物乱用防止教室の授業を受けて、あまり酒を飲みすぎると、脳が縮んだり、肝臓などのガンなどの病気になってしまうことがわかりました。僕は将来、酒を飲むと思いますが、飲み過ぎにならないよう注意したいです。（9年）
- 一番驚いたことは、酒を何年も飲みすぎると脳が縮むということです。あと妊娠中に飲むとお腹の中の赤ちゃんに影響があるということです。未成年のうちは酒を飲むのを我慢して大人になったら量を考えて飲みたい。（9年）

平成25年度沖縄県薬剤師会新入会員

(平成25年4月～9月末日入会分)

氏 名	勤 務 先	出 身 校
安次富 唯	すこやか薬局 みどり町店	徳島文理大学
阿 部 義 則	沖縄県福祉保健部 医務課	昭和薬科大学
生 沢 梢 愛	すこやか薬局 西原店	城西大学
上江洲 花 苗	アイン薬局 知花店	昭和大学
上 地 美 歩	ハーブ薬局	星薬科大学
上 原 卓 朗	宮里病院	名城大学
大 貝 佳都子	大北健康堂薬局	徳島大学
大 屋 三 登	薬志堂薬局 首里店	九州大学
門 川 美 幸	北部地区薬剤師会会営薬局	神戸学院大学
金 山 央 剛	りんご調剤薬局 糸満店	第一薬科大学
上川畑 剛	オリーブ薬局 病院前店	熊本大学
神 山 康 馬	名護中央薬局 大中店	第一薬科大学
川 原 美 生	ハート薬局 ずけらん店	東京薬科大学
川 満 裕次郎	がじまる薬局	武蔵野大学
神 田 寛 之	そうごう薬局 新赤十字前店	福岡大学
菊 地 真理子	オリーブ薬局 西里店	金沢大学
金 城 一 美	サンアイ薬局 とみしろ	共立薬科大学
具志堅 司	あいらんど薬局 古波蔵店	東邦大学
黒 澤 光 明	北部地区薬剤師会会営薬局	東邦大学
古 見 宗 也	さわやか薬局 西原店	新潟薬科大学
阪 本 まゆ子	あにも調剤薬局	北海道医療大学
崎 山 裕 央	ドラッグイレブン薬局 佐敷店	昭和薬科大学
島 袋 枝 里	ぐすく薬局	昭和薬科大学
新 垣 智恵美	とくりん薬局 赤嶺駅前店	徳島文理大学
新 城 えり子		第一薬科大学
鈴 木 克 利	ぴいぶる薬局 与儀店	東邦大学
鈴 木 毅	琉球大学医学部附属病院薬剤部	第一薬科大学
砂 川 眞 美	(有)東医堂薬局	第一薬科大学
平 良 淑 乃	とくりん薬局	北海道医療大学
立 岡 博 之	ていだ薬局	神戸学院大学
建 本 満 枝	薬志堂薬局 首里店	明治薬科大学
棚 田 雅 貴	あい薬局 経塚店	広島国際大学
玉 城 和 子	すこやか薬局 かけぼく店	東日本学園大学
照 屋 勇 人	ハーブ薬局	徳島文理大学
名 嘉 紀 勝	西崎病院	第一薬科大学
永 井 壱 宗	ゆい薬局	共立薬科大学
中 村 仁奈子	うるま薬局	徳島文理大学
西 村 浩 彦	つみきの薬局	第一薬科大学
長 谷 健 治	あかみち薬局 江洲店	富山医科薬科大学
長谷川 幸 司	豊見城薬局	昭和薬科大学
比 嘉 祥 子	ワタキュー薬局 内間店	昭和薬科大学
備 瀬 愛 実	こくら虹薬局	愛知学院大学
普久原 理 江	薬志堂薬局 東町店	東京薬科大学
古 堅 文 香	古謝薬局	昭和薬科大学
古 堅 優 子	薬志堂薬局 小禄店	第一薬科大学
堀 米 真一朗	ふく薬局 具志川店	城西大学
増 野 淑 子	はんたがわ薬局	神戸学院大学
本 野 実千枝	すこやか薬局 西里店	東日本学園大学
山 里 尚 子	くがに薬局 おもろまち店	昭和薬科大学
山 道 峻 也	ひまわり薬局 天久店	京都大学
吉 田 英 樹	つばさ薬局	帝京大学
吉 本 賢 司	ふく薬局 もとぶ店	第一薬科大学

(五十音順、敬称略)

薬事情報おきなわ No.224

2011年 9・10月号 : Vol.26 No.5

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

薬価基準追補収載品目

●新医薬品 平成25年8月27日付

区分	販売名 ()内は識別コード	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内 用 薬	イーケプラドライシロップ50%	50%1g	253.90	ユーシービー ジャパン	レベチラセタム:抗てんかん剤《他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する抗てんかん薬との併用療法》(新用量)
	イルトラ配合錠LD (@141:100/1)	1錠	130.50	塩野義製薬	イルベサルタン/トリクロルメチアジド:長時間作用型ARB/利尿薬合剤《高血圧症》(新医療用配合剤)
	イルトラ配合錠HD (@142:200/1)	1錠	195.80		
	ルナベル配合錠ULD (NPC32)	1錠	327.90	ノーベルファーマ	ノルエチステロン/エチニルエストラジオール:月経困難症治療剤《月経困難症》(新効能、新用量)
	トピロリック錠20mg (FY311:20)	20mg1錠	20.60	富士薬品	トピロキソスタット:非プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害剤、高尿酸血症治療剤《痛風、高尿酸血症》(新有効成分)
	トピロリック錠40mg (FY312:40)	40mg1錠	38.90		
	トピロリック錠60mg (FY313:60)	60mg1錠	56.40		
	ウリアデック錠20mg (Sc341:20)	20mg1錠	20.60	三和化学	
	ウリアデック錠40mg (Sc342:40)	40mg1錠	38.90		
	ウリアデック錠60mg (Sc343:60)	60mg1錠	56.40		
	アラベル内用剤1.5g	1.5g1瓶	87,867.3	ノーベルファーマ	アミノレプリン酸塩酸塩:光線力学診断用剤《悪性神経腫瘍の腫瘍摘出術中における腫瘍組織の可視化》(新有効成分)
	アラグリオ内用剤1.5g	1.5g1瓶	87,867.3	SBIファーマ	
	イーフェンバツカル錠50μg (@:0.5)	50μg1錠	507.50	帝國製薬	フェンタニルクエン酸塩:口腔粘膜吸収癌性疼痛治療剤《強オピオイド鎮痛剤を定時投与中の癌患者における突出痛の鎮痛》(新剤形、新用量)
	イーフェンバツカル錠100μg (@:1)	100μg1錠	708.10		
	イーフェンバツカル錠200μg (@:2)	200μg1錠	988.00		
	イーフェンバツカル錠400μg (@:4)	400μg1錠	1,378.60		
	イーフェンバツカル錠600μg (@:6)	600μg1錠	1,675.20		
	イーフェンバツカル錠800μg (@:8)	800μg1錠	1,923.60		
注 射 薬	アセリオ静注液1000mg	1,000mg100mL1瓶	332	テルモ	アセトアミノフェン:解熱鎮痛薬。アセトアミノフェン静注製剤《経口製剤及び坐剤の投与が困難な場合における疼痛及び発熱》(新投与経路)
	リキシミア皮下注300μg	300μg3mL1キット	6,972	サノフィ	リキシセナチド:GLP-1受容体作動薬《2型糖尿病。ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。①食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤(ビッグアナイド系薬剤との併用を含む)を使用②食事療法、運動療法に加えて持効型溶解インスリンまたは中間型インスリン製剤(スルホニルウレア剤との併用を含む)を使用》(新有効成分)
	オレンシア皮下注125mgシリンジ1mL	125mg1mL1筒	27,171	ブリストル・マイヤーズ	アバタセプト(遺伝子組換え):T細胞選択的共刺激調節剤《関節リウマチ(既存治療で効果不十分な場合に限る)》(新投与経路)

区分	販売名 ()内は識別コード	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
注射薬	ボンビバ静注1mgシリンジ	1mg/1mL1筒	4,918	中外製薬	イバンドロン酸ナトリウム水和物:骨粗鬆症治療剤《骨粗鬆症》(新有効成分)
	パージェタ点滴静注 420mg/14mL	420mg/14mL1瓶	231,866	中外製薬	ペルツズマブ(遺伝子組換え):抗悪性腫瘍剤《HER2陽性の手術不能又は再発乳癌》(新有効成分)
外用薬	ピソノテープ4mg	4mg1枚	89.30	トーアエイヨー	ピソプロロール:経皮吸収型・β ₁ 遮断剤《本態性高血圧症(軽症～中等症)》(新有効成分)
	ピソノテープ8mg	8mg1枚	123.00		

*識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。

お役立ちサイト紹介(2)

[**Lact Med** : <http://toxnet.nlm.nih.gov/cgi-bin/sis/htmlgen?LACT>]

米国国立衛生研究所と国立医学図書館が提供する TOXNET 中のデータベース

授乳中の母親が曝露する恐れのある薬剤、化学物質のデータベースで、薬物濃度、安全性情報、代用可能な治療薬等に関する臨床情報を提供。すべてのデータには科学的根拠のある文献が明記されています。無料でアクセス可能。

◎レボフロキサシン(Levofloxacin)を検索・・・



iPhone/Android 用
アプリもあります！

TOXNET
Toxicology Data Network

Drugs and Lactation Database (LactMed) - A peer-reviewed and fully referenced database of drugs to which breastfeeding mothers may be exposed. Among the data included are maternal and infant levels of drugs, possible effects on breastfed infants and on lactation, and alternate drugs to consider.

Select Database

- ChemIDplus
- HSDB
- TOXLINE
- CCRS
- DART
- GENETOX
- IRIS
- ITER
- LactMed**
- Multi-Database
- TRI
- Haz-Map
- Household Products
- TOXMAP
- TOXNET Home

Additional Resources

- CFDB
- CTD

Search LactMed

Levofloxacin

Search Clear

For chemicals, add synonyms and CAS numbers to search: Yes No

Limits Browse the Index

Env. Health & Toxicology

Portal to environmental health and toxicology resources

Support Pages

- LactMed App **NEW!**
- LactMed Record Format
- Database Creation & Peer Review Process
- Help
- Fact Sheet
- Sample Record
- TOXNET FAQ
- Glossary
- About Dietary Supplements
- Breastfeeding Links
- Get LactMed Widget **NEW!**

TOXNET
Toxicology Data Network

LactMed Search Results

Levofloxacin

Search Clear Limits

For chemicals, add synonyms and CAS numbers to search: Yes No

Items 1 through 12 of 12
Substance names are sorted in relevancy-ranked order.

Select Record

Substance Name

The following is the primary record for the chemical. All of the query terms were found.

☒ 1 Levofloxacin
100966-85-4

The following 11 records contain one or more of the requested chemical name(s) and all of the query terms anywhere in the record.

2 Ofloxacin
82419-36-1

3 Gatifloxacin
112011-69-3

4 Sparfloxacin
110871-96-9

5 Ciprofloxacin
85721-33-1

6 Lomefloxacin
98078-51-7

7 Nitrofurantoin
67-20-9

8 Norfloxacin
70456-99-7

9 Moxifloxacin
151096-09-2

10 Cinoxacin
74011-50-8

11 Trovafloxacin
147059-72-1

12 Mefloquine
157182-32-6

Items 1 through 12 of 12

Levofloxacin
CASRN: 100966-85-4

For other data, click on the Table of Contents

Drug Levels and Effects:

Summary of Use during Lactation:

Levofloxacin is the S-enantiomer of the fluoroquinolone, ofloxacin. Fluoroquinolones such as levofloxacin have traditionally not been used in infants because of concern about adverse effects on the infants' developing joints. However, recent studies indicate little risk.^{[1][2]} The calcium in milk might prevent absorption of the small amounts of fluoroquinolones in milk,^[3] but insufficient data exist to prove or disprove this assertion. Short-term use of levofloxacin is acceptable in nursing mothers. Avoiding breastfeeding between 4 to 6 hours after a dose should decrease the exposure of the infant to levofloxacin in breastmilk. Maternal use of an eye drop that contains levofloxacin presents negligible risk for the nursing infant.

Drug Levels:

Levofloxacin is the levo isomer of the racemic drug mixture, ofloxacin.

○Lact Med:授乳婦への投与は、短期間の使用が望まれ、服用後4～6時間授乳を避ける事で、乳児への薬剤による影響は少なくできる。

[参考]

○添付文書:授乳中の婦人には本剤投与中は授乳を避けること。[オフロキサシンでヒト母乳中へ移行することが報告されている。]

○妊娠と薬情報センター(国立成育医療研究センター):安全に使用できると思われる薬。

※日本産科婦人科学会の作成した「ガイドライン産科編 2011」では、授乳中に服用している薬物の乳児への影響について、「例外を除き、授乳婦が服用している薬物が乳児に大きな悪影響を及ぼす事を示したエビデンスはない」としている。最近では、母乳栄養の重要性が再認識されており、添付文書通りに「薬を服用中は授乳中止」と安易に判断するのではなく、多くの情報を収集し、適切に評価することが求められている。



Medical News

●知っている人2割だけ…薬の副作用被害救済制度（読売新聞 8月12日）

国の「医薬品副作用被害救済制度」を知っている人は2割にとどまることが、医薬品医療機器総合機構の調査で分かった。知名度不足が原因になっており、同機構は「万が一、副作用被害にあった時に思い出せるよう、名前を知ってほしい」とPRしている。同機構は今年3月、20歳以上を対象にインターネットで質問し、3,114人が答えた。その結果、制度を「知っている」は5.3%、「聞いたことがある」は15%で、79%は「知らない」と回答した。過去1年間に医療機関に行っていない615人では、87%が「知らない」と答えた。

●平成24年度「一般用医薬品販売制度定着状況調査結果」を公表（薬局新聞 8月21日）

調査は全国の薬局・店舗販売業6,538件、郵便等販売201件、配置販売50件を調査員が店舗やウェブサイト、配置販売者を調べたもの。4回目の覆面調査だが、対面販売では予め懸念されていた文書を用いた説明に改善が見られなかった他、依然として名札が確認できなかったり、第1類を薬剤師以外が説明するといった状態が散見されている。郵便等販売においては、メールでの問い合わせに返信がない事例が全体の約4割等、全体的に芳しくなく、ルールが遵守されているとはいえない大甘な販売実態が浮き彫りとなっている。

●マラソン吉田香織、資格停止2年間に…仲裁判断（読売新聞 8月21日）

日本スポーツ仲裁機構は20日、ドーピング違反が発覚した女子マラソンの吉田香織について、2年間の資格停止とする仲裁判断を下した。吉田は昨年11月、貧血の治療のため、持久力向上効果のある禁止薬物エリスロポエチンを医師から投与され、昨年12月のホノルルマラソン後、ドーピング検査で陽性反応が出た。

●女性死者数が10年で5倍に 米、鎮痛剤の過剰摂取で（共同通信 9月2日）

米疾病対策センターによると、処方された鎮痛剤の過剰摂取で2010年に死亡した女性は6,600人で、1999年から5倍と過去にない速度で増加している。犠牲者は依然、男性が多いが、女性が追いつきつつある。女性は慢性的な痛みを抱えることが多く、男性よりも大量かつ長期的に鎮痛剤を服用する傾向にあるとの調査結果が既に報告されている。

●薬局ヒヤリ・ハット、人的要因が全体の8割

（薬局新聞 9月12日）

平成24年7月1日から12月31日までに報告された薬局ヒヤリ・ハットは3,259事例で、このうち「規格・剤形間違い」、「薬剤取違え」など1,492事例などを中心に調査した。事例分析によると「ヒューマンエラーやヒューマンファクターに起因すると考えられた事例」980（80.7%）が最も多く、次いで「情報不足等のため製造販売業者による対策が困難と考えられた事例」235（19.3%）となっている。また疑義照会に関する430事例では、多い傾向が示されたのは「薬歴等」172（35.8%）で以下、「薬の特性等」148（30.8%）、「お薬手帳」60（12.5%）。

●睡眠剤、10倍を誤投与 鹿児島県立病院で患者死亡（共同通信 9月17日）

鹿児島県の「報告書」によると、鹿児島県立大島病院で2008年6月、神経内科に入院していた患者が不眠を訴えたため、主治医は睡眠剤0.5mgを処方するよう指示したが、病院の薬剤部は誤って5mgを処方した。患者は呼吸器を付けていたため、鼻から注入。約3時間後、心肺停止状態になっていると看護師が気づき、蘇生措置を施したが死亡が確認された。患者の遺族は病院側に損害賠償を求める訴訟を起し、昨年3月に和解している。

●健康食品4割、薬効低下 ダイエット関連で顕著 厚労省研究班（共同通信 9月24日）

市販されている健康食品の約4割に、「薬物代謝酵素」の働きを促す作用があり、医薬品の効き目を低下させるとの結果を厚労省研究班がまとめた。特にハーブやウコンの成分を含んだダイエット関連の商品は薬効低下が顕著だった。研究班は2010～2011年度、各地の薬局約100店舗を対象に健康食品の販売状況を調査。取り扱いがあった243品目のうち約200品目について、12年度に結果を集計。実験では「CYP3A4」「CYP1A1」の2種類の酵素のいずれか、または両方を活発に働かせる健康食品（総合ビタミン剤も含む）が約80品目に上り、医薬品成分が効力を十分発揮する前に分解される傾向があることが分かった。原材料の産地や製造方法等で違いが出ている可能性がある。

●注射針回収作業で保健文化賞受賞 東京都薬（薬局新聞 9月25日）

東京都薬剤師会が展開しているインスリン製剤等の自己注射の回収作業が第65回「保健文化賞」に選出された。日本薬剤師会を含む薬剤師組織としては初めての受賞。都薬が受賞の対象となった事業は「インスリン製剤等の自己注射に用いられた注射針を薬局が回収し、適正に廃棄処理する仕組みを構築したこと」で、在宅患者の注射針を正しく廃棄するだけでなく、区市町村のゴミ回収員の針刺し事故を防ぐことも評価の対象となった。

●院外処方箋へ検査値表示-医療の安全性向上に期待（薬事日報 9月27日）

京都大学病院は10月3日から、院外処方箋への検査値の表示を開始する。院外処方箋を発行する全ての外来患者を対象に、腎機能や副作用などの指標になる13項目の検査値を院外処方箋の下部に表示している。院外処方箋を応需する薬局薬剤師に、必要最低限の検査値が確実に伝わる仕組みを構築。腎機能に応じた投与量の適正化や副作用の早期発見など、薬局薬剤師にその役割を十分に発揮してもらい、医療の安全性を高めたい考えだ。

●コンビニでメタボ健診…尼崎市がローソンと提携（読売新聞 10月9日）

兵庫県尼崎市は8日、コンビニエンスストア大手のローソンと提携し、生活習慣病予防を目的とする特定健診（メタボ健診）を今月20日から市内6店舗で実施すると発表。健診は国民健康保険に加入している40～74歳が対象で、無料で受けられる。希望者は専用の申込書で予約。12月15日までに1店舗につき2日、医師と看護師が市の健診車で出向き、血液検査や血圧測定、尿検査などを行う。市外在住者なども有料で受けられる。

医療事故情報収集等事業

医療
安全情報

No.82 2013年9月

「PTPシートの誤飲(第2報)」

事例1

病棟では、看護師が与薬する際、PTPシートから薬剤を取り出して患者に渡すことになっていた。夕食後、看護師は患者にワーファリンのPTPシートを1錠に切り離し、1回分をそのまま渡した。30分後にナースコールがあり、患者から「PTPシートごと飲み込んだかもしれない。」と言われた。内視鏡にて胃内にPTPシートを確認し、摘出した。

事例2

患者は内服薬を自己管理しており、PTPシートを1錠ごとに切り離していた。朝食後の薬を服用する際、散剤の袋の中に3種類の薬剤をPTPシートのまま入れて内服した。2種類は自力で吐き出したが、1種類は吐き出せずに喉に引っかかっているような症状があった。その後、内視鏡を行ったが胃内の食物残渣で視界が悪く除去できず、消化器症状に注意し、排出を待つことにした。翌日、排便の際にPTPシートを排泄した。

公益財団法人 日本看護協会は、「PTPシートの誤飲防止対策について」
(2013年2月20日)を公表しています。

<http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/anzen/anzenjoho.html>

事例が発生した医療機関の取り組み

- ・患者に1回分の薬剤を渡す際は、PTPシートから薬剤を取り出して渡す。
- ・患者に、内服の際はPTPシートを切り離さず、シートから薬剤を取り出して内服することを説明する。

総合評価部会の意見

- ・一錠ずつ切り離したPTPシートは、誤飲の危険があることを患者さんに伝えてください。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。

<http://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<http://www.jcqhc.or.jp/>

薬事情報センターに寄せられた質問から

はい、薬事情報センターです。

薬事情報センターでは、会員の方々を対象に、医薬品に関するお問い合わせや、文献入手サービスなどに応じております。どうぞお気軽に御利用ください。

Q：ヒヤリハットの報告はどの程度のものを報告するのか？（薬局）

A：「ヒヤリ・ハット」の定義について、日本薬剤師会では、文部科学省「国立大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針」に準じ、「患者に健康被害が発生することはなかったが、“ヒヤリ”としたり、“ハツ”とした出来事。患者への薬剤交付前か交付後か、患者が服用に至る前か後かは問わない。」としている。

日本医療機能評価機構

「薬局ヒヤリ・ハット事例」報告の例

- ・薬剤が異なる名称類似医薬品（向精神薬の報告も多い）
- ・薬効類似医薬品
- ・処方せんに後発品不可と記載されていたことの確認が不十分で、先発医薬品で調剤すべきところ後発医薬品を調剤した
- ・FAXにより事前に受け取っていた処方内容が処方せんで変更されていたのに気付かず調剤した
- *疑義照会事例
- ・併用禁忌薬
- ・前回処方と今回処方の薬剤や分量の相違
- ・他薬局が発行した薬剤情報提供文書の内容
- ・患者による誤りの指摘

参考：日本医療機能評価機構「薬局ヒヤリ・ハット分析表」

Q：ピオフェルミンRとフラジール（フラジオマイシン）が処方されるが、問題ないか。（薬局）

A：保険適用上、ピオフェルミンR等の耐性乳酸菌製剤とフラジールとは併用できない。フラジールは耐性菌の影響を受けにくいからである。

Q：処方せんの大きさについて。A5でない処方せんが来ているが、使えないのでは？（薬局）

A：処方せんの様式は、「保険医療機関及び保険医療費担当規則」（第23条、処方せんの交付）の中で「保険医は、処方せンを交付する場合には、様式第2号又はこれに準ずる処方せんの様式に必要な事項を記載しなければならない」と明記されている。処方せんの用紙は、様式第2号つまり日本工業規格A列5番（A5サイズ）を標準とするということであり、大きさはA5でなくても、規定されている項目を満たしてあれば問題はない。

Q：外来処方で、吸入薬として生理食塩液が30日分出る事があるが、製剤の使用期限はどの位なのか。（病院）

A：保存剤非含有の開封後の期限については、頻回使用による感染の報告等もあり、明確に規定されたものはない。ただ、医療機関によっては独自の規定を設けている所もある。北大病院では、「①開封時に混入する微生物の種類やその量が不

明②保管条件（主に保管温度）が不明③どの程度の汚染により使用可能であるか、明確に定められていない等の理由から明確な規定を設けるのは難しい。しかし、「取扱い条件」を遵守する事を条件に推奨される使用期限を定める」として院内指針を設けている。また、国立国際医療研究センターでは、保存剤非含有医薬品の開封後の使用期限について、室温保管であれば開封後24時間とすべきであり、できるだけ20ml入りなどの小容量製品を用いるのが望ましい。としている。実際の医療現場では、吸入液30日処方に対し、1週間分ずつ別々の容器に分ける等の方法で対応している所もある。生食であれば、20cc、50cc、100ccなどの規格もあるためそれを利用する事も可能である。参考：国立国際医療研究センターHP、北大病院感染対策マニュアル他

Q：一般用薬でフェミニーナ軟膏とフラジール錠があるか教えてほしい。（薬局）

A：フェミニーナ軟膏（一般名：リドカイン、ジフェンヒドラミン塩酸塩）はOTC薬である。フラジール錠は医療用薬のみ。カンジダ等に対するOTCの錠剤には、メンソレータムフレディCC錠（イソコナゾール硝酸塩／ロート製薬）、フェミニーナ錠カンジダ錠（オキシコナゾール硝酸塩／小林製薬）等がある。

Q：病院から20%塩化アルミニウムローションを処方したいと要望があったが、調剤できるか。（薬局）

A：病院薬局製剤の処方が来た場合には、在庫が揃えられて、調剤し、値段等薬局で決めることができれば処方を受けて調剤可能である。

Q：介護保険に関する書籍などを教えて下さい。（在宅に関し介護保険請求に関する資料）（薬局）

A：日本薬剤師会HP（会員向け頁）の「在宅医療・介護保険関連情報／在宅医療における薬剤師向け支援ツールに「在宅服薬支援マニュアル」（平成23年7月版）が用意されている。

Q：歯科で行う顎関節症治療にミオペリゾンを使ったら返戻を受けた。顎関節症に保険適応の内服剤、特に筋弛緩剤を教えてください。（薬局）

A：顎関節症に保険適応の中枢性筋弛緩剤は今のところなく、顎関節症に適応があるのは、非ステロイド性消炎鎮痛剤のインドメタシンとアンフェナクナトリウムのみ。保険適応外ではあるが、エペリゾン（ご質問のミオペリゾン）、チザニジン（テルネリン）、ロキソプロフェンナトリウム（ロキソニン）、エチゾラム（デパス）の臨床報告がある。参考：顎関節症に関するガイドライン、エーザイ資料、医薬ジャーナル 33（8）,1997、今日の治療指針 2012



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口

「おくすり相談室」の受付事例から

消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

【質問】肩こりの筋弛緩剤が効かない。(女性)

【回答】整形外科等で使用される筋弛緩剤を使用しても、劇的に痛みが改善しているという実感がない方もいるようです。薬の効き目は個人差もあり、長期使用が必要な事もありますので、処方された分は服用を続けてください。

【質問】「シガノン®CQ透明パッチ1」(1枚中ニコチン78mg)と「同2」(1枚中ニコチン36mg)では、同じ7枚入りを比較すると2800円と2500円で3000円しか価格差がない。シガノン2を使っているが、高いのでニコチン78mgの「同1」を半分にして使用してよいか。(男性)

【回答】この製品は、独自の製法で継続的にニコチンが体内に入るように作られています。そのため、パッチの損傷で薬としての有効性・安全性が保証できなくなる可能性があります。高価ではありますが、禁煙を成功させるための用法、用量どおり使用することが大切です。

●安全性情報●

【質問】胃炎、びらんで検査した所、ピロリ菌除菌のため「ランサップ400」が処方された。薬を服用中はアルコールはダメと聞くと、調べてみると1回で除菌できなかった場合、2回目の除菌時は禁酒と書いてあった。1週間服用した後、次の検査まではお酒は飲めないの？(女性)

【回答】通常、ピロリ菌の除菌には胃酸を抑える薬と抗生物質が処方されます。今回の「ランサップ」による一次除菌が成功しなかった場合には、二次除菌で少し違う薬を使います。一次除菌中のお酒は問題ないのですが、二次除菌に使用される抗生物質は、アルコールにより二日酔いの症状、つまり頭痛、腹痛、吐き気等の症状が出る事があります。そのため、二次除菌中は飲酒しないこととなっています。ただ、現在治療のため薬を服用中です。胃の症状が完全に治るまでは、お酒はなるべく控えめにされた方がよいでしょう。

【質問】妊娠8週。不妊で妊娠前(7月)からアクトスを服用している。調べたら、アクトスは妊娠中は服用しない方がよいとあるが、大丈夫か？医師に聞いたら大丈夫としか言わない。(女性)

【回答】アクトスは妊婦に対し、安全性が確立されていない等の理由から投与しないこととなっています。ただ、最近では報告例は少ないものの、多嚕胞性卵巣症候群が原因の不妊治療に使用される事があります。妊娠後のアクトスの継続使用については、メトホルミンが流産防止目的で使用されているように、同様の目的で使用されている事が推測されますが、まだ報告も少なく観察しなからの投与になっているものと思われます。(当日、受診日との事だったため、医師へ確認するよう伝えられた所、服用の理由については早期流産の予防の

為という返答だったという。その後、妊娠9週目で胎児の心臓が見えて心拍数の確認が取れたため、アクトスは中止になった。と連絡があった。)

【質問】10ヶ月の子供が小さい子供用髪ゴムを飲んだかもしれない。5日間便を見ているが、出てこない。どうしたらよいか。(男性)

【回答】殆どの場合、1日、2日で便から自然に排出されます。ヘアゴム自体は毒性もなく、体内で吸収される事ありませんが、ある程度の大きさであればレントゲン写真に写る事があります。何日も心配されているようですし、念のため病院で相談された方がよいでしょう。

【質問】家族が、リパロ、バイアスピリン、ガスポート、コバシル、スピロノラクトン、メインテート、シグマートを服用中。時々頭が痛いというが、市販のイブ、バファリンなどを一緒に飲んでも大丈夫か。自分が服用している「ノーエチW」は漢方薬で出来ているが、それは大丈夫か。(女性)

【回答】バイアスピリン、コバシル、スピロノラクトンは痛み止めと一緒に服用すると、降圧作用弱まり、また出血しやすくなる等が報告されています。「ノーエチW」との併用は問題ありません。

●ドーピング●

【質問】国体陸上競技(ハードル)に出場予定(高校生)。風邪で鼻水がひどいため、病院に行くが、鼻水の薬は大丈夫か。前にももらった「ペンブリンAQネーザル50μg」(一般名：ベクロメタゾンプロピオン酸エステル)が処方されると思う。他に持参したい薬もある。以下の薬を調べてほしい。

1. ペンブリンAQネーザル50μg
2. カロナール(カロナール)
3. パブロン鼻炎錠S(塩酸プソイドエフェドリン、マレイン酸カルビノキサミン、ペラドンナ総アルカロイド、無水カフェイン)

【回答】1. 吸入糖質コルチコイドは禁止されない

ので、問題なし。

2. 問題なし。

3. 塩酸プソイドエフェドリンは競技会禁止物質のため、競技中服用できません。ヒストミン鼻炎カプセルZ(ケチフェンフマル酸塩)等の使用可能な薬をご持参ください。(「ドーピング防止ガイドブック2013」にある使用可能薬を勧めた。)

●苦情・相談●

○調剤薬局で、十分な説明がなかった。皮膚科からの処方せんで軟膏が2種類出ていたが、塗る順番がわからず、聞いた所「医師が言っていたように塗って下さい」と言われた。こちらが聞く前に薬剤師の方から説明すべきではないか。何でも「医師の指示通り」はどうかと思う。

Medical Magazines titles

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

○医薬ジャーナル 49巻 8号

*特集1：ワクチン療法の最新事情

- ・同時接種の安全性と有効性 (p.59)
- ・ワクチンの安全性～ワクチンの有害事象と真の副作用 (p.71)
- ・予防接種教育の重要性～「妊産婦への予防接種教育による乳幼児ワクチン接種率の向上に関する研究」より～ (p.117)

特集2：関節リウマチ治療の新しい展開～JAK 阻害薬の臨床導入による進歩

- ・トファシチニブの位置づけおよび使用上の注意点 (p.159)
- ・連載：副作用・薬物相互作用トレンドチェック
注目論文を読み解く (17) (p.184)
- 1. メサドンとアジスロマイシンの併用による心停止
- 2. 酸化マグネシウム併用でガバペンチンの血漿中濃度が低下
- 3. モキシフロキサシン服用中の患者における眼科系有害事象
- 4. 抱水クロラール併用によりメトトレキサートの消失が遅延
- 5. オレンジジュース飲用によりコルヒチンの血漿中濃度が低下
- 6. ポリコナソール併用でシクロスポリンの血漿中濃度/投与量比が上昇

○医薬ジャーナル 49巻 9号

*特集：臓器移植の現況と今後の展望

- ・臓器移植と免疫抑制療法の流れ～腎移植を中心に～ (p.59)

*小特集：C型肝炎治療 update 2013～次世代・直接作用型抗ウイルス剤の可能性をさぐる～

- ・連載：副作用・薬物相互作用トレンドチェック
注目論文を読み解く (18) (p.164)
- 1. メトホルミンによる血管浮腫
- 2. トルバプタンの薬物動態は食事の影響をほとんど受けない
- 3. チロシンキナーゼ阻害薬による肝障害のリスク
- 4. オメプラゾール併用によりミコフェノール酸の血漿中濃度が低下

5. リファンピシン併用によりソデピンの効果が減弱

6. エドキサバンとジゴキシンの併用により、両薬の血漿中濃度がわずかに上昇

○エキスパートナース 29巻 11号

*特集：危ない！その看護ケア いつものケアが“キケン”に変わる！

○エキスパートナース 29巻 12号

*特集：「痛み」にきちんと対処する、[鎮痛薬]を正しく使う

*特集：ナースが知りたい！便秘禁（下痢）のトータルマネジメント

○きょうの健康 8月号

*特集：肩が痛い！こうして改善

*特集2：認知症

○きょうの健康 9月号

*特集：はじめよう！自分でできる 体づくり

*特集2：肝臓の病気 最新情報

○月刊薬事 55巻 8号

*特集：不整脈の薬物療法管理

- ・よくわかる漢方薬講座 処方意図と服薬指導のポイント (8) 産婦人科疾患 (月経困難症、更年期障害) (p.159)
- ・処方せん疑義照会トレーニング (5) 狭心症治療薬の間歇投与 (p.167)
- ・適応外使用の処方せんの読み方 (39) 血糖・HbA1c低下作用 (p.191)

○月刊薬事 55巻 9号

*特集：関節リウマチ 薬物治療の最前線

- ・シチュエーションに応じた消毒薬の選び方と使い方 (20) 消毒薬の使用期限 (p.133)
- ・処方せん疑義照会トレーニング (6) 高カリウム血症改善薬処方時の併用薬 (p.143)
- ・適応外使用の処方せんの読み方 (40) 血管腫 (p.165)

○月刊薬事 55巻 10号 (9月増刊号)

*がん緩和ケアのフィジカルアセスメント 症状・副作用のここを診る

○新薬と臨牀 62巻 7号

・アルツハイマー型認知症に対するリバスチグミン

今月の特集・論文

パッチの有用性 (p.1258)

○新薬と臨床 62巻 8号

- ・高齢2型糖尿病患者に対するシタグリプチン低用量投与の有用性の検討 (p.1430)

○正しい治療と薬の情報 28巻 4号

- ・ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチン政策とエビデンスに基づく医療－両者は相容れないのか? (p.52)
- ・HPV ワクチンによる意識消失の頻度とその発症機序についての考察 (p.67)

○調剤と情報 19巻 8号

＊特集：がん性疼痛緩和の基礎知識

- ・麻薬廃棄の手順 (p.24)
- ・新薬くろーずあっぷ：ニュープロパッチ2.25mg、4.5mg、13.5mg (p.47)
- ・処方せんから考える がん患者 服薬指導スタートアップ講座(8)：エルロチニブ塩酸塩を含む処方せん (p.94)

○調剤と情報 19巻 9号

＊特集：高血圧症治療薬－医師の処方を読み解く

- ・薬局トラブル こんなときどうする?(18)：事務員がミスをした場合の薬剤師の責任は?(p.85)
- ・処方せんから考えるがん患者 服薬指導スタートアップ講座(9)：トラマドール塩酸塩カプセルとプレガバリンカプセルの処方せん (p.98)
- ・新薬くろーずあっぷ：アミティーザカプセル24 µg (p.106)

○調剤と情報 19巻 10号(9月臨時増刊号)

＊病態生理・薬物治療・患者ケアの「知りたい」がわかる うつ病パーフェクトガイド

○治療 95巻 8号

＊特集：変わりつつある予防接種 状況に合わせてどのワクチンをすすめるか?

- ・妊婦に勧められるワクチン (p.1477)
- ・認知症介護指導の実践(2) 妄想・幻覚に対する非薬物療法 (p.1528)

○治療 95巻 9号

＊特集：それぞれの立場からみた泌尿器診療

- ・認知症介護指導の実践(3) 易怒性・不安症状に対

する非薬物療法 (p.1650)

○日経ドラッグインフォメーション 190号

＊特集：患者の高齢化で急増中！ 一包化調剤 お悩み相談室

- ・DIクイズ：尿失禁に葛根湯が処方された理由 (p.PE005)

- ・適応外処方のエビデンス：アミトリプチリンやスプラタストが間質性膀胱炎の症状を改善 (p.PE017)

○日経ドラッグインフォメーション 191号

＊特集：新薬が続々登場 糖尿病治療薬まる分かり

- ・DIクイズ：子どもへの抗菌薬による副作用(ふらつきや痙攣)の機序は?(p.PE001)
- ・医師が語る処方箋の裏側 管理不良の重症の成人喘息に高用量のテオドールを分3で処方 (p.PE016)
- ・適応外処方のエビデンス：フルバスタチンがC型肝炎ウイルスの増殖を抑制 (p.PE017)

○日経メディカル 549号

＊特集：誰もが診る心房細動

- ・論文ピックアップ：軽症脳卒中後の再発予防 アスピリン＋クロピドが有効 (p.101)

○日経メディカル 550号

＊特集：難治例にも効く新薬続々 ゴール見えた！ ウイルス肝炎

○日本医事新報 4655号

- ・質疑応答Q&A～産婦人科：妊娠糖尿病におけるSU薬・メトホルミン投与の影響 (P.65)

○日本医事新報 4659号

- ・質疑応答Q&A～内科：ペニシリンアレルギー患者でのH.pylori除菌療法 (P.60)

○薬局 64巻 8号

＊特集：Infection Control Tips! 「感染しない・させない」ヒントとコツ

○薬局 64巻 9号

＊特集：小児に求められる薬のカタチ

○JIM 23巻8号

＊特集：ロコモティブシンドローム

○The Medical Letter (日本語版) 29巻 8号

- ・サケカルシトニンの癌リスク (p.29)

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

薬剤師の疑義照会義務とは？

調剤と情報 7月号

Q:処方医が誤って常用量の5倍量の処方をしたが、薬剤師は気づかず、疑義照会することなしに患者に投薬してしまった。このような場合、薬剤師は責任に問われるのか。

A:この事例では、薬学的に問題があると気がつかない場合であっても、常用量の5倍量処方である以上、当然疑義照会義務が発生します。それにもかかわらず、疑義照会をせずに投薬しているため、薬剤師には過失が認められ、不法行為責任（民法709条）により損害賠償責任が発生します。処方をした医師にも過失が認められ、医師と薬剤師は共同不法行為（民法719条）となり、連帯責任を負う事になります。薬剤師の疑義照会義務は薬剤師の薬学的な専門的知識を活かし、処方の形式的な不備だけでなく、用法・用量や相互作用などの実質的な処方内容の確認義務を含むとしています。調剤者だけでなく、調剤監査者も同様です。また、オーダリングシステムで警告が鳴らなかった場合でも、原則、疑義照会義務は発生します。患者に健康被害があれば、薬剤師は不正行為によって損害賠償責任を負い、場合によっては、刑事責任や行政責任も負うことになります。

中外合同法律事務所
赤羽根 秀宜

PubMedを使いこなすコツ

薬局 8月号

適切な情報にいかに早くたどり着くかは、EBM実践のもっとも重要なスキルである。文献を検索する前にまず疑問をPECOで定式化する。①P(Patients):どんな患者に②E(Exposure):どんな介入をすると③C(Comparison):どんな介入と比べて④O(Outcome):どうなるのか。PubMedでは、最初にClinical Queriesをクリックする。これは疑問のカテゴリーに対してもっとも適切な検索式を自動入力してくれる便利なツールである。目当ての論文が検索できたら、最低でもPMIDを記録しておきたい。これは個別の論文IDであり検索窓に直接入力するだけでたどり着ける。Clinical Queriesでうまくいかなかった場合は、絞り込み検索をする。まず' See all ' をクリックし検索結果を表示させておくことを忘れずに。(1)AND検索:通常の検索窓から検索、結果が表示されたら' Advanced ' でAND検索を行う(2)Filtersでさらに絞り込む(3)Related articleからたどる:これでも探し出せない場合はとにかく手がかりになりそうな論文の' Related Citations ' を勧める。これでもだめなら、諦めることもスキルのひとつだ。

武蔵国分寺公園クリニック
福士 元春

グレープフルーツと薬物相互作用

正しい治療と薬の情報 27巻 12号

グレープフルーツジュースは、CYP3A4、薬物代謝に最も関連があるチトクロームP450アイソザイムを阻害する。その結果、特定の薬物の血漿濃度が上昇し、過量摂取や用量依存性有害作用のリスクを生み出している。

グレープフルーツと相互作用を示し、重大な臨床的結果をもたらす薬物としては、免疫抑制剤、一部のスタチン系薬、ベンゾジアゼピン系薬、ほとんどのCa拮抗薬、インジナビル(抗HIV薬)、カルバマゼピンが代表例である。酵素効率には、大きな個体差があり、グレープフルーツジュースとの薬物相互作用の大きさと臨床結果は予測することが困難となる。実際、多数の薬物が、グレープフルーツジュースと相互作用を示すという深刻な臨床結果報告は少数ではあるが、薬物治療中、特にその薬の治療用量域が狭かったり、重篤な用量依存性有害作用のリスクを伴う場合は、グレープフルーツジュースの摂取を控えるべきであると提言している。薬が処方されたり投薬されたりする時は常に、このリスクについて患者に知らせることが重要となる。

花粉症の舌下免疫療法の 安全性・有用性・作用機序

月刊薬事 55巻 6号

従来の抗原の皮下注射は2～3年以上の治療期間に50回以上の通院が求められるなど、患者負担が大きい。抗原の舌下投与法は、医師の指導下ではあるが、自宅での投与が可能で、重篤な副作用が減少していることから皮下注射に替わる方法として注目されている。しかしながら、舌下免疫療法と皮下注射による免疫療法の有効性を直接比較した報告はわずかしがなく、結果も一定していない。舌下投与法では200以上のランダム化臨床試験が行われているとはいえ、ほとんどの試験規模は小さく、かつ様々な抗原が用いられている。標準化されていないエキスをを用いた検討も少なくない。効果の評価には今後標準化された抗原エキスをを用いた大規模なランダム化比較試験が必要とされている。国内のスギ花粉症については、標準化スギ抗原エキスをを用いた大規模な第Ⅲ相臨床試験が昨年終了し、プラセボに比較して有効な効果が示された。近い将来、保険診療として認可されることが期待されている。

千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科
岡本 美孝

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

【日薬幹旋図書】新 一般用漢方処方の手引き

【監修】合田 幸広/袴塚 高志 【発行】じほう 【発行日】2013年9月

【版型/頁】B5判/380頁 【定価】9,450円(税込)【会員価格】8,400円(税込)

2012年8月に発出された通知で294処方がそろった「一般用漢方製剤承認基準」(新基準)では、これまでの210処方(加減方を加えて213処方)が大幅に見直され、全294処方となりました。この294処方をまとめ、解説部分を充実させた。

【日薬幹旋図書】OTC薬ガイドブック 第3版

【監修】堀 美智子/福生 吉裕 【発行】じほう 【発行日】2013年10月

【版型/頁】A5判/950頁 【定価】4,200円(税込)【会員価格】3,780円(税込)

相談者とのコミュニケーションを通じて、適切なOTC医薬品の選択および受診を勧める診断の助けとなる情報を凝縮した1冊。実際に店頭であった質問とその回答、症状に基づいた製品選択・受診勧奨チャート、OTC薬で用いられる主要成分解説のほか、充実の製品別成分一覧表、主要漢方処方解説など、あらゆる角度からOTC薬を解説。

薬剤師が知っておきたい臨床知識 改訂4版

【監修】勝見 章男/三浦 崇則 【発行】じほう 【発行日】2013年9月

【版型/頁】B5判/200頁 【定価】2,940円(税込)

病態の理解に不可欠な解剖図を追加・刷新するとともに、各種ガイドラインなどを最新情報にアップデートしたほか、感染症の項目を新たに追加。

ここが知りたかった在宅ケアのお薬事情

～薬剤師が答える111の疑問～

【編著】鉄穴口 麻里子/轡 基治 【発行】南江堂 【発行日】2013年9月

【版型/頁】A5判/282頁 【定価】2,940円(税込)

看護師や介護士から薬剤師に寄せられる“在宅ケアでの薬の疑問”を実践的にわかりやすく解説。医療従事者や患者(とその家族)から実際に寄せられた疑問を元に構成。ウラに隠れた問題点を把握し、患者に応じた最善策を講じる力が身につく。

2週間でマスターする エビデンスの読み方・使い方のキホン

【著者】能登 洋 【発行】南江堂 【発行日】2013年9月

【版型/頁】A5判/87頁 【定価】1,680円(税込)

EBMとその実践に必要な臨床統計学を“非数学的”にやさしく解説した入門書。重要な内容は具体例を通して繰り返し解説し、統計学に苦手意識をもっている方にもお勧め。

ここからはじめる! 薬剤師のための臨床推論

【著者】川口 崇/岸田 直樹 【発行】じほう 【発行日】2013年9月

【版型/頁】A5判/300頁 【定価】3,150円(税込)

新たな疾患の発症、基礎疾患の悪化、薬による副作用など、患者が抱える問題は数知れません。その原因を突き止めるための考え方、思考プロセスが臨床推論です。具体的な症例をもとに、経験豊富な医師と薬剤師が、患者の病態を正しく評価し、問題点を見極めるポイントをわかりやすく解説。

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

【日薬幹旋図書】在宅医療Q&A 平成25年版

【監修】日本薬剤師会 【発行】じほう 【発行日】2013年9月

【版型/頁】A5判/197頁 【定価】2,415円(税込)【会員価格】2,100円(税込)

『保険調剤Q&A』、『保険薬局Q&A』の姉妹書で、在宅医療に踏み出そうとしている初心者にとりあつたりのQ&A集。在宅訪問準備から訪問後の報告、患者・服薬支援、他職種連携・体調チェック・薬のチェックなどのポイントや、緩和ケアの知識などをコンパクトにまとめた。

【日薬幹旋図書】ハイリスク薬チェックシート 第2版

【監修】荒木 博陽 【発行】じほう 【発行日】2013年9月

【版型/頁】B5判/300頁 【定価】3,990円(税込)【会員価格】3,570円(税込)

薬剤・薬効ごとの①副作用モニタリングのポイント、②服薬開始時の患者指導などの解説を加えたもので、第2版では新薬など29成分を追加して掲載薬剤数が196成分となり、チェックシート項目も全体的に見直した。

スタチン! コレステロール低下薬のウソとホント

【著者】市原 和夫/佐藤 久美 【発行】薬事日報社 【発行日】2013年9月

【版型/頁】四六判/182頁 【定価】1,890円(税込)

使用する患者数500万人以上と言われるコレステロール低下薬スタチンを《水溶性》と《脂溶性》に区別して、その違いを様々な研究結果を基に解説。

今から始める中小病院薬剤師の感染管理

【編著】継田 雅美/他 【発行】南山堂 【発行日】2013年10月

【版型/頁】B5判/307頁 【定価】3,675円(税込)

臨床現場における総合的な感染対策・制御をコーディネートする薬剤師が集結し、図表を多用しわかりやすく解説した。感染対策・制御のボトムアップを目指すために、感染管理に携わるための基礎力を身に付けるために役立つ。

プロフェッショナルから学ぶ医薬品副作用の対応 50

【監修】佐藤 博 【発行】南山堂 【発行日】2013年9月

【版型/頁】B5判/219頁 【定価】2,625円(税込)

薬物治療で生じる医薬品副作用は患者にとって不利益な事象であり、薬剤師による薬学的管理が重要な役割を担う。それらが発現した場合にどのような見極めをして対応すべきかを、明確に、かつ簡潔にまとめた。

くすりと健康 -春夏秋冬-

【著者】野村 靖幸 【発行】薬事日報社 【発行日】2013年9月

【版型/頁】四六判/247頁 【定価】1,890円(税込)

〈春〉桜皮、五月病、〈夏〉くちなし、カツオ、〈秋〉イチヨウ、菊花、〈冬〉ミカン、風邪ウィルス...等々、身近な季節の植物や食物、その他話題と健康にまつわるいい話116を収めたエッセイ集。

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

(1) 医薬品情報の提供 (2) 「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3) 医薬品に関するお問い合わせ (4) 県薬ホームページの制作・管理 (5) 消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6) 医薬品 PL センター窓口業務 (7) ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室・ドーピング防止ホットラインの電話は **098-963-8935** になります。

お気軽にご利用ください。

○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL : 098-963-8931 FAX : 098-963-8937

(社) 沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

* * 海外文献から * *

●Varenicline に関連する記憶障害:ニュージーランドの医薬品集中プログラムのケースシリーズ;13 例(高齢者含む)の報告 (Eur. J. Clin. Pharmacol. 69(5)1195-(2013.5))

記憶障害が報告された13例(男6例,女7例,28歳-72歳)中,重度とされた4例のうち,1例は完全な記憶喪失の期間があり,1例は子どもを迎えに行くのを3回忘れ,1例は仕事の能力に影響する記憶喪失を訴えた。13例中9例が記憶障害のためバレニクリンを中止し,別の1例は減量した。これら10例のうち9例が明確な(definite)改善(positive dechallenge)を示し,記憶障害とバレニクリンの関連はprobableと評価された。この9例以外の別の患者について,記憶障害とバレニクリンの関連は,3例がpossibleとされ,残り1例は因果関係を評価するために十分な情報を入手できなかった。13例中8例(63%)がうつ病,集中力低下,不安,睡眠障害等の併発症状を訴えた。1例は一過性脳虚血発作の疑いと診断された。

●パキスタンの幼児における成長率および罹患率に対する微量栄養素と亜鉛および鉄の効果:クラスター無作為化試験 (Lancet (9886)29- (2013.7.6))

2008年11月1日-2011年12月31日にパキスタン,シンド州の都市部と農村部でクラスター無作為化試験を行った。256クラスターを3群に無作為に割り付けた:対照群947例(A群),亜鉛を含まない微量栄養素粉末製剤を投与するB群910例,亜鉛(10mg, グルコン酸亜鉛として)を含む微量栄養素粉末製剤を投与するC群889例。クラスター内の6ヵ月齢の乳児を試験に登録,6ヵ月齢～18ヵ月齢の間,毎日粉末製剤を投与し,2歳まで追跡した。主要評価項目は,成長,下痢,急性下気道感染,発熱,入院とした。18ヵ月で,対照群と比較して,微量栄養素粉末製剤投与群の鉄欠乏性貧血のリスク低下が認められた。6ヵ月齢～18ヵ月齢の間に対照群と比較して,B群は0.31cm,C群は0.56cm伸びていた。B群とC群は6ヵ月齢～18ヵ月齢の間の下痢($p=0.001$),血性下痢($p=0.003$),胸部引き込み ($p=0.03$)の発生率が高かった。発熱および入院(下痢,呼吸器障害,発熱による)については,3群間で差はなかった。

●光毒性を有するNSAIDsやキノロンへの暴露は皮膚黒色腫(CM)のリスク増大に関連している:ケースコントロール研究 (Eur. J. Clin. Pharmacol. 69(7)1437- (2013.7))

オランダ人集団をベースとしたケース-コントロール研究を行った。薬剤調剤データはPHARMO(オランダの薬剤調剤および入院登録)より入手,PALGA(オランダ全国規模病理学的ネットワーク)にリンクさせた。症例は1991-2004年に病理学的に原発性CMと診断された患者とし,コントロールはPHARMO集団から採取した。光毒性を有する全身性薬剤の暴露を評価した(抗菌薬,利尿薬,抗精神病薬,抗糖尿病薬,心臓病薬,抗マラリア薬,NSAIDsを対象とした)。条件付き多変量ロジスティック回帰分析を用いた。1318例の症例および6786例のコントロールを対象とした。研究期間中に症例の46%,コントロールの43%に光毒性を有する薬剤が処方された($p=0.012$)。キノロン系薬剤(オッズ比1.33,95%CI:1.01-1.76),プロピオン酸誘導体のNSAIDs(1.33,1.14-1.54)はCMと関連性があった。本試験は光毒性を有する薬剤の使用がCM発症リスク増大に関連することを示している。光毒性を有するquinolonesおよびpropionic acid誘導体NSAIDsは短期間使用でも,CMのリスクを増大させる可能性がある。光毒性を有する薬剤の即時的副作用および長期的影響を避けるために,日光保護対策を奨励する患者教育が必要である。

県民の皆様へ

薬剤師会をご利用ください！

やくたっ
薬達ちゃーより

あまくま^{やくだ}薬立つ情報

健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電 話 098-963-8930

おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電 話 098-963-8935

試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承ください。

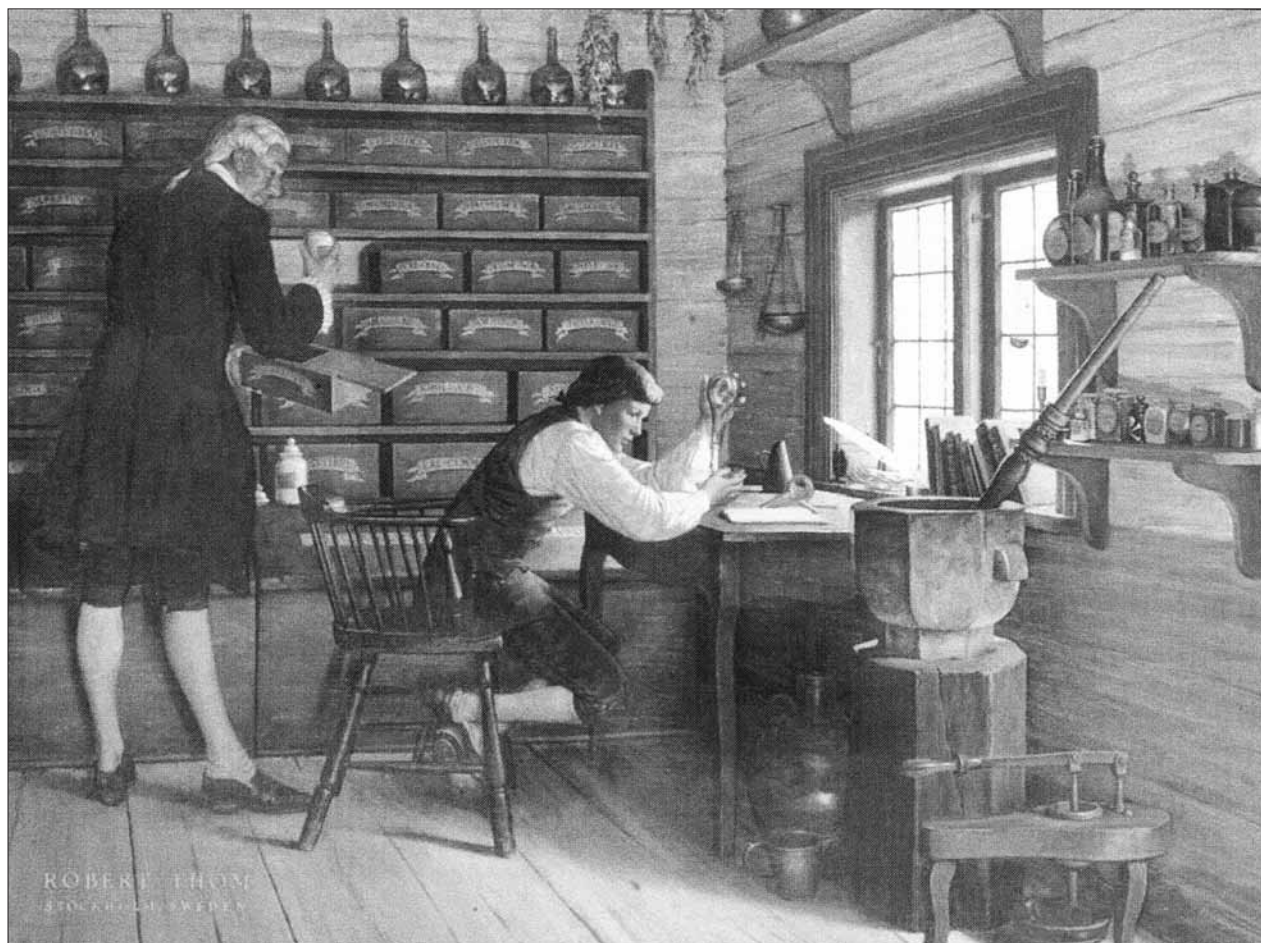
電 話 098-963-8934

e-mail siken@okiyaku.or.jp

薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの“かかりつけ薬局”をおもちになってください。（沖縄県薬剤師会ホームページからも閲覧できます。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ
＜ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>＞



GREAT MOMENTS IN PHARMACY

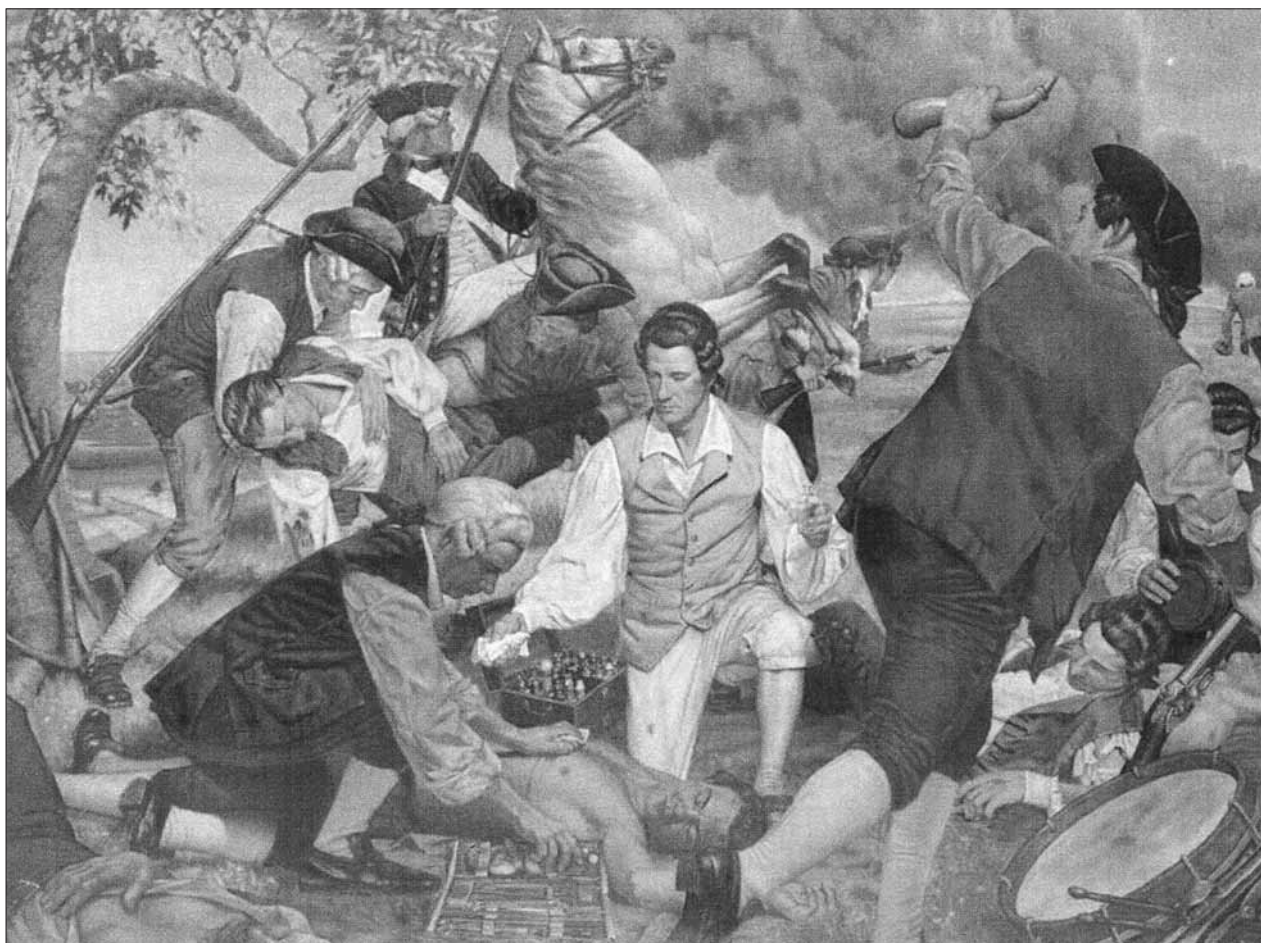
薬学の歴史

21. 最も偉大な化学者薬剤師、シェーレ

カール・ウィルヘルム・シェーレは、その短い生涯で世界中の人々に計り知れないほどの恩恵をもたらす数々の発見をしました。しかしシェーレは、何よりも薬剤師であることを忘れることはありませんでした。彼はスウェーデンのケーピンで営まれていたいくつかの薬局で、見習人、店員、そして最終的には経営者として仕事をし、そこで見識ある指導者たちに励まされて彼の全ての発見をなしました。シェーレの実験は、ヨーテボリにあったユニコーン薬局の在庫室の片隅で始まりました。希有な天才であったシェーレは何千もの実験を重ね、酸素、塩素、青酸、酒石酸、タングステン、グリセリン、ニトログリセリンに加え、現代の日常生活や産業、健康、快適性に寄与する数々の有機化合物を発見しました。

21. SCHEELE-GREATEST OF THE PHARMACISTS-CHEMISTS

During his few short years, Carl Wilhelm Scheele gave to the world discoveries that have brought its people incalculable advantages. Yet he never forgot that he was, first of all, a pharmacist. Encouraged by enlightened preceptors, all of his discoveries were made in the Swedish pharmacists in which he worked, as apprentice, as clerk, and finally as owner, in Köping. He began in a corner of the stock room of Unicorn Apothecary in Gothenburg. With rare genius, he made thousands of experiments, discovered oxygen, chlorine, prussic acid, tartaric acid, tungsten, molybdenum, glycerin, nitroglycerin, and countless other organic compounds that enter into today's daily life, industry, health, and comfort.



GREAT MOMENTS IN PHARMACY

薬学の歴史

22. アメリカの最初の薬剤師長、クレイギー

ボストン市の薬剤師だったアンドリュー・クレイギーは、アメリカの軍隊で初めて薬剤師士官の地位を得た人物です。クレイギーは、1775年4月30日にマサチューセッツの安全委員会により軍の医療品販売店での仕事を任命され、同年6月17日にバンカーヒルの戦いに参戦して後方の仮施設で病人や負傷者の世話の手伝いをしたようです。そして1777年に議会が軍の医療部を再編した際、彼は初代の薬剤師長となりました。彼の任務は、軍で使用する薬の調達、保管、製造、配給でした。また、彼は早期に卸売・製造業も創業しました。

22. CRAIGIE-AMERICA'S FIRST APOTHECARY GENERAL

First man to hold the rank of a commissioned pharmaceutical officer in an American army was the Bostonian apothecary, Andrew Craigie. First appointed commissary of medical stores by Massachusetts' Committee of Safety, April 30, 1775, he was present at the Battle of Bunker Hill, June 17, 1775, and probably assisted in taking care of the sick and wounded there in a makeshift station back of the lines. When Congress reorganized the Medical Department of the Army in 1777, Craigie became the first Apothecary General. His duties included procurement, storage, manufacture, and distribution of the Army's drug requirements. He also developed an early wholesaling and manufacturing business.

第10回 暮らしの中の薬草学

身近な薬草を知ろう



女性薬剤師部会 狩俣 イソ

パパイア

学 名 Carica papaya
科 名 パパイア科
属 名 パパイア属
使用部位 青果・熟果・葉・種子
有効成分 ビタミンA、ビタミンC、
カリウム、イソチアシアネート
パパイン、カルパイン



パパイアの特徴

メキシコ南部を原産とする常緑性、多年生の直立小高木(幹は比較的柔質、木質化していない)である。多くの熱帯の国々で栽培されており、日本では、沖縄などで人家の庭に自生している。葉は幹の先端に群がってつき、長い葉柄を持ち、葉身は掌状に深裂し径60cm内外、葉質は薄くて柔らかい。通常は雌雄異株で、雄花は細長い総状花序、雌花はごく短い柄に1個または2、3個つき、花は黄緑色で花弁は5個、披針形でよじれて咲く。樹高は10mにも達するが、近年は栽培しやすい矮性種も開発されている。国内で栽培されているパパイアは生産効率を確保するためソロ(両性花)種が多く用いられている。

野菜として

未熟で青いパパイアの皮をむき、果肉を千切りにし水にさらして、炒め物に使われる。千切りのものが袋詰めでスーパーマーケットに並んでおり、これを乾燥させたものは切り干し大根のように用いられる。タイでは、青いパパイアの皮をむき、果肉を千切りにしニンニク、唐辛子、パクチー、ナンプラー、うま味調味料などと和えたソムタムというサラダにする。タイでは乾燥させたものをかんぴょうの代用にし、日本向けの輸出食品に用いることがある。

果物として

熟すると黄色い果実ができる。粒々の黒い種(ワサビと同じ味・同一成分)が中央の中空部分にたくさんあるが、種は取り除いて、周りの果肉を食べる。甘さが強く独特の癖がある。果肉は、細く切って乾燥させ、ドライフルーツにすることがある。台湾(特に高雄)では、牛乳と果肉をミキサーにかけて混ぜた、パパイア牛乳が名物となっており、紙パック入りの商品もある。香港には黄色く熟れた実の先端をくりぬいて、壺状にし、スープを入れて蒸す料理がある。順徳料理のデザートとして、シロップ煮にしたパパイアがあり、同じくシロップ煮にした梨、白木耳(シロキクラゲ)、鶏卵などと組み合わせられる場合もある。

参考 沖縄食の大百科 薬膳・薬草と薬草料理
沖縄薬草(多和田真淳) Wikipedia

栄養成分(100g当たり) 五訂増補 日本食品標準成分表

エネルギー	蛋白質	炭水化物	脂質	食物繊維	マグネシウム	リ ン	カリウム
38 kcal	0.5 g	9.5 g	0.2 g	0.5 g	26 mg	11 mg	210 mg
葉酸	カロテン	カルシウム	ビタミンE	ビタミンB ₂	ナイアシン	パントテン酸	ビタミンC
44 μg	0.3 mg	14 mg	0.3 g	0.04 mg	0.3 mg	0.42 mg	50 mg

パパイアの栄養上の特徴・効果

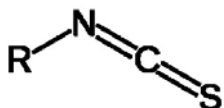
ビタミンAとCの含有量が多い。果肉はビタミンCをたっぷり含み、コラーゲンの生成を促して肌を美しくする。血圧を安定させるカリウムや、骨を丈夫にするカルシウム、ヘモグロビンの生成に働く鉄が豊富である。タンパク分解酵素プロテアーゼ、脂肪分解酵素リパーゼ、糖分解酵素アミラーゼが豊富に含まれ、健康な脂肪細胞には影響を与えることなく、蓄積した脂肪細胞を強力に分解する働きがある。パパイアは、他の果物に比べても消化酵素の使われ方が非常に効率的で、消化酵素が節約できた分だけ代謝酵素の働きが高まり、体脂肪も燃焼されやすくなる。体内に蓄積された有害物質を分解し、細胞の新陳代謝を活性化させる。またカルパインという酵素も含み、心機能を高めたり、癌を予防する効果を持つ。抗酸化作用を持つビタミンA・C・Eにカルパインも加わり、パパイアは癌予防効果の高い果物と言える。生パパイアジュースは、結腸内での細菌の増殖を抑える効果があり、膿や粘液を排出する作用がある。

パパイン (英: papain)

プロテアーゼの中のシステインプロテアーゼに分類される酵素。植物由来のプロテアーゼとしてはもっとも研究が進んでいるもののひとつである。未熟パパイアから見つかったことからこの名前がつけられた。熟したパパイアにはパパインはほとんど含まれない。触媒残基はシステインとヒスチジンで、システイン残基のチオール基の硫黄原子がペプチド結合のカルボニル炭素に求核攻撃を行うことから、タンパク質やペプチドの加水分解が始まる。塩基性アミノ酸、グリシン及びロイシンと続くアミノ酸とのペプチド結合を切断する。

イソチオシアネート

パパイア含有のイソチオシアネートは、肝臓の解毒酵素の働きを良くして、有害物質を解毒化するのに役立つ。1日200g食べると効果が期待でき、一度食べると解毒作用は3日近く続く。



イソチオシアネートの基本骨格

フェニチルイソチオシアネートやスルホラファンなどのイソチオシアネートは発癌や腫瘍化を防ぎ、化学的な抗がん剤となる。これらは様々なレベルで働き、特にチトクロームP450の働きを阻害して発癌を防ぐ作用が知られている。またフェニチルイソチオシアネートはがん細胞にアポトーシスを起こさせることが示されている。例えば、アポトーシス阻害タンパク質BC1-2を生産する薬剤抵抗性の白血病細胞などにアポトーシスを起こさせることにも成功している。

カルパイン

カルパインは細胞内タンパク質の切断により細胞や生体を調節する酵素であるが、その複雑な生理機能は研究者を難渋させている。カルパイン機能不全により筋ジストロフィーや胃腸疾患などを発症する。東京都医学総合研究所生体分子先端研究分野は、現在マウスモデルを用いて、カルパインによる生体調節のメカニズムを分子レベルで解析することにより、カルパイン不全疾患の発症機序の解明と、疾患克服への方向性の提示を目指して研究中である。一方カルパインは病態生理学過程の引き金ともなりえる。東北大学大学院医学系研究科眼科学分野の中澤徹教授らの研究グループは、緑内障の病態モデル動物に対して、さまざまな生物種・組織で機能する、カルパインの活性を抑制するカルパイン阻害薬「SNJ-1945」を投与してその神経保護効果を確認したことを明らかにした。また独立行政法人放射線医学総合研究所と独立行政法人理化学研究所は、①カルパイン酵素が、アルツハイマー病のアミロイド蓄積に伴う神経傷害を促進するのみならず、アミロイド蓄積自体も加速、②カルパインがアルツハイマー病理に及ぼす影響を生体脳で可視化、③カルパイン阻害剤でアルツハイマー病の発症機構全体を抑制し、その効果を生体イメージングで評価する手段を提唱、している。

参考 旬の食材百科・Wikipedia・食べない生き方
カルパインの生理的機能 川島誠一・西道隆臣
東北大学大学院医学系研究科眼科学分野 中澤徹
独立行政法人放射線医学総合研究所と独立行政法人理化学研究所の研究論文



三郎🐶 & いさ吉🐱の弥次喜多道中！(医療機関・施設訪問)

おきなわクリニカルシミュレーションセンター (訪問記1)

広報委員会
伊差川 サヤカ



<プロフィール>

このコーナーを担当していた亀さん(亀谷浩昌委員)より引き継いで、本号より、広報委員会の三郎(砂川智子)といさ吉(伊差川サヤカ)が施設取材を担当することになりました。

初めての取材先は「おきなわクリニカルシミュレーションセンター(以下、センター)」です。噂では東洋一の施設とか。ふむ・・・、ここは一体何のための施設なのでしょう？施設の内部も含め、実際のセンター利用の様子を間近で見学させていただきました。

2012年の春に完成したセンターは、琉球大学医学部の敷地内に位置します。

設立の発端は、日本における医療崩壊や、医師不足の問題の解消です。厚生労働省から支援が得られることになりました(医療再生基金の設立)。これに関して、沖縄県、沖縄県医師会、琉球大学が立ち上げたプロジェクトの1つが、おきなわクリニカルシミュレーションセンターでした。

センターでは、沖縄県下のすべての医療系学生および医療者を対象としたシミュレーション教育のプログラム開発・実践・研究が行われ、シミュレーション教育の普及を目指しています。

施設の規模は約2250㎡、採光、風通しを考えた地上3階建ての施設であり、日本最大、最新鋭の設備を整えています。センターでは、沖縄県下のすべての医療系学生および医療者を利用対象者とし、以下の3つの教育コンセプトを実現するためのゾーンを有しています。

1. 基本的な診療技能を学ぶゾーン
2. 救急・集中治療医療を学ぶゾーン
3. 専門医療を学ぶゾーン

おきなわクリニカルシミュレーションセンターは、多彩なシミュレータや医療機器を保

有するとともに、救急室や手術・集中治療室から一般病棟・外来までを再現できます。全医療者の実践力の向上を目指して、基礎から生涯教育まで、利用者のレベルに応じたトレーニングが可能です。

沖縄だけではなく、県外の学生や医療者、また、アジア各国からの研修生などの受け入れ、海外施設との連携などを計画し、日本一、アジア一のレベルの高いセンターを目指しています。(センターホームページより)

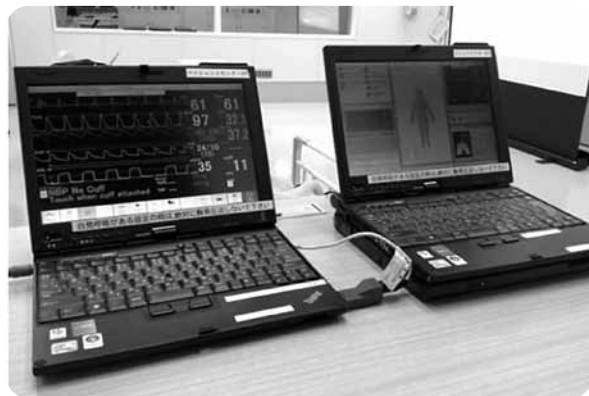
見学を行った8月30日は、「薬剤師のためのフィジカルアセスメント」というテーマの講習会が沖縄県病院薬剤師会により、開催されていたので、私たち広報委員も参加させて頂くことになりました。



実習生用の聴診器。おびただしい数です。



アーサー



アーサーをコントロールするパソコン

センターに到着し、改めてその大きさに目を見張りました。高台にある琉大医学部の駐車場のスペースだった敷地にセンターを建てているため、見晴らしが良く、大規模な施設になっています。本物の病院と見間違えるほどの大きさです。

期待のあまり、早く到着しすぎて、ドアが開かず苦戦しました。見た目は普通の自動ドアですが、特殊なキーロックがかかっている、開けるにはセキュリティをパスしないといけませんでした。実際、施設の中に入ると、LEDの照明に、ソーラー発電の状況が伝えられるモニターなど、最新鋭を感じさせるものが伝わってきました。医療だけではなく、環境にも配慮した施設であることが窺えました。

今回の講義内容は「血圧」についてでした。20分程度の講義後に、1時間半の実習を行いました。研修仲間同士で脈を取り、水銀血圧計で血圧を測りました。私（伊差川）は血

圧が低すぎて、なかなか音が聞こえづらいと皆さんからぶつぶつと言われておりました。私たちの正常血圧だけではなく、センターの凄みとも言うべき一体1千万円とも言われる人工心肺モデルの「アーサー君」を用いて、異常バイタルも経験することができます。「アーサー君」には、パソコンが接続されており、そこで入力したバイタルが機械に再現されます。高価なマシンを使った演習が、目の前で繰り広げられる様子に私たち広報委員は圧倒されておりました。大学の講義とは異なり、実践に基づいた講習会だったので、2時間はあっという間に過ぎました。

センターは薬剤師だけではなく、医師、看護師など様々な職種に利用されており、8月の一カ月の間に、実に40件弱もの研修等が行われていました。印象的だったのは、夏休み期間に小学生を対象として、小学校の授業を補完する目的で行われている体験型の学習が行われていたことです。将来、日本や世界の医療を担うであろう子どもたちにも還元できる施設がすぐそこにあります。これって、結構幸運なことではないでしょうか！？

センターの利用料は今後設定する予定ですが、現在は無料です。現在の使用回数に基づいて利用料の設定がなされる予定なので、多いほど、利用料が安く設定されるとのお話がインストラクターよりありました。

ぜひ、皆さんもセンターでの研修に行ってみてはどうでしょうか？



アーサーでバイタルをチェックする研修生

三郎🐼 & いさ吉🐼 の弥次喜多道中！(医療機関・施設訪問)

おきなわクリニカルシミュレーションセンター (訪問記2)



広報委員会
砂川 智子

沖縄県では厚生労働省からの医療再生基金に基づき、シミュレーション教育を導入するべく 沖縄県・県医師会・琉球大学が一丸となって おきなわクリニカルシミュレーションセンターの設立へと歩みを進めてきました。そして、去る平成24年3月25日、沖縄県西原町にある琉球大学医学部敷地内に日本最大、最新鋭の設備を整える「おきなわクリニカルシミュレーションセンター（愛称：ちゅらSim・ちゅらしむ）」が完成しました。

センターは、県内すべての医療従事者が利用できる教育・研修施設であり、医療現場を再現する多様なシミュレーションプログラムを提供し、県内医療従事者の実践力向上の支援をしています。館内各階のトレーニングルームでは、救急・集中治療室から一般病棟・外来まで再現可能な工夫を凝らし、各利用者のレベルに応じた研修が可能となっています。

また、センターでは「A11沖縄」での取り組みを何よりも大切にしており、県内の医療者が一丸となりハード面のみならず、「人を育むこと」を大切に「指導者の養成」といったソフト面の準備も進めているようです。

昨年5月、アジアにおける感染制御の取り組みの一環として、China-Japan Hospital Management

Summit Forum 2012が開催されました。この会議では、中国より38名の医師が来沖し、私もアテンドするスタッフとして参加しました。シミュレーションセンターでは、副センター長の阿部幸恵先生が主体となった感染制御に関する実習が行われました。実習はすべて英語で行われ、感染様式と対応策をクイズ形式で確認していくという内容でした。はじめに 各人がそれぞれさまざまな感染対策グッズがおかれている個室に入り（外からは中の様子が見えますが、中からは外の様子は見えなくなっています）、そこに置いてあるカードに書かれている病名に対する感染対策を行うというものでした。たとえば、HIV、MRSA、インフルエンザ、結核などが書かれており、MRSAであれば、接触予防策に準じた対策（手指衛生からはじまり、手袋、エプロンの着用など）が必要になります。しかし、結核であれば、高性能のマスク（N95）が必要になり、手袋、ゴーグル、エプロンなどは不要です。中国からの先生方は、カードに書かれている病名に対する必要だと思われる装備を着用後に集合し、最終の答え合わせに挑みます。答えあわせでは、正解、不正解と一喜一憂し大盛り上がりとなりました。

また、今年8月には薬剤師を対象とした研修も開催されていました。伊差川さんの取材記事にもあるように、私たちも取材をかねて「薬剤師のためのフィジカルアセスメント」について学ぶ講義に参加させていただきました。今回のテーマは「血圧」であり、血圧を決定する因子と薬剤との関係を確認し、バイタルを評価する方法を学びました。その後、研修生同士お互いに脈をとることから始め、血圧を測りあう実習を行いました。しかし、血圧をはかるためには、血圧計の使い方や聴診器の使い方の習得が必要になります。それらをどうにか習得した後に私は、伊差川さんの血圧を測定しましたが、なんと血圧が測定不可でした！！実は、聴診器の使い方を間違えていたのです。聴診器は自分に向けてハの字にして耳に入れるのですが、逆にして使用していたのです。このように短時間の講習で得られることも十分にありますが、バイタルなどは実践可能な技能を習得することに意味があるのだと痛感することができました。また、研修生同士お互いに測定しあえるような血圧正常範囲の圧だけではなく、極端な低血

圧や高血圧などの異常バイタルについても経験することが可能です。科学技術の進歩により実物と形態や機能が近い高度な人体模型（シミュレーター）を使用することが可能になりました。それがイケメンの「アーサー君」です。アーサー君は接続するPCによりコントロールされており、今回のような血圧測定だけではなく、採血やそれに伴う「内出血」にも対応しています。私は昨年度の中国の医師団のアテンドと、薬剤師のフィジカルアセスメントの両方をこのセンターで経験したことで、それぞれの職種やレベル、研修目的に合わせた様々な実習への対応が可能になっていることを体験することができました。

今後のセンターの展望は、私たち沖縄県の医療者のみならず海外の大学との連携です。すめられる医学教育でのグローバルな視野をさらに広げ、県外やアジアからの研修生の受け入れを行い、日本一からアジアのシュミレーションセンターを目指していくということです。私は、このような施設が沖縄県にあることを誇りに感じました！！

＜薬剤師フィジカルアセスメント講習会スナップ＞





第36回沖縄県小児糖尿病サマーキャンプに参加して



豊見城中央病院
喜久山 有沙

平成25年7月31日（水）～8月3日（土）の3泊4日の日程で、第36回沖縄県小児糖尿病サマーキャンプが沖縄県玉城青少年の家にて行われました。

小児糖尿病サマーキャンプは、キャンパー（主として、1型糖尿病患者児）とその家族、ボランティアとして医師、薬剤師、看護師、栄養士、看護学生、糖尿病関連企業の社員（以下、メーカー）が参加しています。

このサマーキャンプでは、糖尿病の自己管理に必要な知識・技術の習得をはじめ、同年代の仲間達との共同生活やレクリエーションを通し、悩みやコンプレックスなどを共有して交流を深めるとともに、社会性を身に付けてもらうことを目的としています。

今回のキャンパーは、小学1年生～高校3年生と幅広い年齢の参加で、低血糖や体調変化に気を配るため大変なこともありますが、一緒にレクリエーションで交流して共に楽しみ、笑いあい、とても充実していました。

まず、事前に月1回集まり、看護学生を中心にレクリエーションの企画、栄養士からのカーボカウント計算方法、薬剤師からのインスリン注射や、看護師からの熱中症対策や低血糖症状と対処方法についての勉強会が行われ、サマーキャンプに向けて着々と準備が進められていきます。多職種からの講義で、私自身とても勉強になりました。

さて、今回私は2日目から最終日の4日目まで2泊3日参加しました。2日目（8/1）は、海水浴で、キャンパー1人に対して約6名の学生ボランティアが付き、一緒に遊びつつも低血糖や体調不良になってないか確認しています。同時に、私たち医療従事者もキャン

パーの様子を伺います。キャンパーは、普段低血糖を気にするためになかなか思い切り遊べないことも…。しかし、このキャンプではたくさんの味方がいるので、とっても楽しそうに大はしゃぎ！だからこそ、低血糖になる危険性があり、私達医療従事者の気配りが重要となります。

私が特に印象に残っている出来事がこの海水浴で起こりました。それは、インスリンポンプをつけたまま海に入ってしまったキャンパーが！しかし、薬剤師みんなで協力して使用できるように直しました。（心配のため、後で新しい機器に交換しています）今回の件で、インスリンポンプや自己血糖測定器など、機器のメンテナンスも、キャンプにおいて薬剤師の役割の一つとなることがわかりました。原理や使用方法を理解し、今後のキャンプでこの役割を定着する必要があると思います。さてはともあれ、キャンパーがはしゃぎすぎて、インスリンポンプを外すのを忘れないようにしておくのが大事ですが。

他には、キャンプファイヤー、カレー作りなど様々なレクリエーションとともに、医師、薬剤師、看護師、栄養士による勉強会もあり、知識も深めてもらいました。特に、薬剤師によるインスリンポンプ療法の意義や利点、自己管理の重要性を述べた発表は人気抜群でした。

小児糖尿病サマーキャンプは今回第36回目となり、医師、看護師、栄養士、看護学生、メーカーの役割は確立されていますが、薬剤師の役割や立場はいまだ確立されていないという問題点がありました。そこで、今回は、キャンプに参加しているキャンパー、医師、



看護師、栄養士、看護学生、メーカーを対象に、「キャンプにおける薬剤師の役割」に関してアンケートを実施しました。アンケート結果は、初日に持参薬の確認すること、キャンパーのインスリン手技の確認や低血糖時の対応など、より積極的に介入してほしいということでした。徐々に薬剤師の参加人数は増加しているようですが、目標である「1班に1人薬剤師配置」には、まだまだ人数が不足しています。薬剤師の役割を確立していくためには、より多くの薬剤師の協力が必要です。

キャンプ終了1か月後に、医師、看護師、栄養士、薬剤師で反省会をしました。薬剤師の反省点は、ベテラン薬剤師・複数回参加薬剤師と、初回・2回参加薬剤師間の連携がうまくいかずまとまりがなかったという点があげられました。次回は、途中参加の薬剤師でも、スムーズにキャンプの状況を把握して参加できるような連携方法を、事前のミーティングで話し合っていくことになりました。

キャンパーが楽しく、より安全にキャンプに参加するには、多くの薬剤師の参加が必要不可欠です。来年度は、今回よりさらに多くの薬剤師の参加を期待しています！



海でのスイカ割り！！



薬剤師による講義風景



感想文・感想画作成



最後に記念撮影

次号には、方 智子 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！

燃える！青年団

もっと若い薬剤師の声を・交流の場をもっと増やそう！と「燃える青年団」のページが復活、第2回目の連載です！今回の団員は、今年から広報委員に加わった伊敷松太郎さんを紹介します♪



団員紹介 22



いしき しょうたろう
伊敷 松太郎 プロフィール

誕生日：昭和56年11月

出身地：浦添市

勤務先：なごみ薬局

最近の趣味：自転車やマラソン

これまでの経歴

大学を卒業後、徳島、大阪と他府県にて勤務後、沖縄へ戻りました。道中、最も長居をしたのが徳島県ですが、妻がまだ学生だったため、そちらに居候をしながら主に在宅業務を学びました。この時のことが今の自分の薬剤師としての在り方に大きく影響していると思います。

(現在、なごみ薬局では在宅業務も行っているそうです。奥様との出会いも今のお仕事に活かしているのですね♪ by 伊差川)

目標とする先生は？

今、現在では出会う薬剤師諸先生方すべてが目標でしょうか。初めてお会いする先生方とは、話をするたびに新しい知識、情報を教えてもらい、その都度「こうなりたい！」と思ってしまう(笑)。

(初対面でも、素敵な笑顔で緊張をといてくださる伊敷さんからこそ、みなさん自然体なベストの姿をお見せできるのではないですか☆ by 伊差川)

伊敷さんへの一問一答

- ・好きな飲み物・食べ物は何ですか？→妻の手作り(笑)
- ・あなたのヒーローはだれですか？→現在探しています。
- ・起きて最初に思うことは？→二度寝したい…。

(夫婦円満がお仕事でも輝ける秘訣なのではないですか？ムフ

by 伊差川)

紹介したいお店とお勧めメニュー

糸満漁民食堂の担担麺風沖縄そば(という名前だったとおもう…)。安くてボリュームがあり尚且つうまい！色々メニューがあったので、いずれ自分も全メニュー制覇をしたいものです。

仕事の流儀

～迅速且つ丁寧に～

個々の患者さんとより多く接するには、やはり他の業務を迅速に丁寧に行うことで、より多くの患者さんと接する時間を持つことができる、と考えています。接する時間が増えるということは、それだけ相手の情報を得ることにつながり、ひいてはそれがより適切な服薬指導へとつながります。

みんなへのメッセージ

薬剤師になり、やりたいことが色々ある中で、気が焦ってしまうことがあります。やはりそんな時に相談できる仲間が必要です。職場のベテラン先輩では話し辛いことでも、青年部会なら、若手同士なら、さらに踏み込んだ話ができます！

いつもロードバイクで颯爽と姿を現す伊敷さん。多忙を極める中、マラソンの練習も行っているようです。オンオフ共に充実されている様子が印象的でした。共に広報委員会で県の薬剤師を盛り上げていきましょう！

(文：広報委員会 伊差川サヤカ)

卒煙物語 その42

愛煙家の方々へ

文：卒煙へようこそ担当
えんこ

時代はどんどん進んでいます。
どうしてこんな時代になったのか、
それなりの理由があります。
「卒煙」を知らないではすみません。
さあ、一緒に取り組みましょう！



ある施設のトイレの中で「愛煙家の方々へ」と声掛けが貼られていた。優しい声掛けでしようか。「当館では健康促進及び受動喫煙防止の観点から・・・」と続いていた。

私は、子供の防煙教室で話す機会の下のスライドをよく使う。「枠内の最後の言葉、QUITと書いて電話番号が書かれている。たばこをやめたい人でも依存症のために、やめたくてもこんな写真付きのタバコを買ってしまう。タバコをやめたい人に直接訴えられるのはタバコしかないという考え。「やめたい人は、ここに電話してください」という意味で、あべこべな感じがしますが、海外では依存症を救うためにこんなタバコが売られている」と解説している。



未成年者喫煙禁止法があるのに、私は喫煙の経験者のある子供たちには、「タバコをやめられないで困っていますか」と聞くようにしている。子供にしても、大人にしても依存症になれば、タバコの虜。それ以外のものには、心ここにあらずの状況を作ってしまう。そんな人に振り向いてもらおうというのだから至難の業だ。それでも心に響いたら禁煙できるということがある。実際、禁煙するのに大変な苦勞をしてきた人でもガンの告知を受けると、自らタバコが原因と理解して自ら簡単に禁煙をする。それでは遅い。

健康長寿県沖縄が、過去のものになってしまった。男性の1位脱落からさらに女性の脱落。予想されていたことだが、ついにその時が来た。働き盛りの生活習慣病が主な原因として新聞で大きく取り出されている。生活習慣病をタバコの害からみると、わかりやすい例として味覚異常がある。塩味の感覚が鈍くなる、塩分過剰が生活習慣病を近づける。その後の経過を予測するのはたやすい。

早いうちに振り向いてもらわなければいけない。早いうちに目覚めてもらわなければいけない。きっかけが必要になる。振り向いてくれることを願いつつ、卒煙物語は続く。手遅れになる前にと願う。

卒煙者の経験談を募集しています。皆様の声が大きな励みとなることでしょう。
下記までお寄せ下さい。

e-mail kouhou@okiyaku.or.jp

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10

TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932

薬事情報センター内 卒煙へようこそ担当 えんこ 行き

薬連だより

国会レポート

～平成26年度政府予算の概算要求～



参議院議員・薬学博士 藤井 もとゆき

昨年に続き、記録的な猛暑、豪雨に襲われた夏が過ぎ、秋風の季節を迎えました。地球温暖化が叫ばれており、農作物等への影響が心配されています。

さて、来年度の政府予算案を編成するための概算要求が、各省庁から出そろいました。厚生労働省の医薬関係予算の概算要求額は、約107億円となり、平成25年度予算額約90億円から18%増の要求となっています。

薬局・薬剤師関係についてみると、二つの新規項目が掲げられています。「薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業」と「一般用医薬品新販売制度の適正な運用の確保事業」です。ともに、6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」を受けての予算要求となっています。

「薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業」の要求額は、約2.9億円となっており、セルフメディケーション推進のために、薬局・薬剤師を活用した健康情報の拠点の推進や在宅医療に関するモデル事業を実施すると説明されています。厚生労働省の説明資料によると、薬局を「地域に密着した総合的な健康情報拠点」と位置付け、市民がここに来れば関連知識をもった薬剤師から次のような情報を入手し、相談できるようにするというものです。

- ① 地域住民の健康支援・相談対応として、食生活、禁煙、心の健康、介護ケア、サプリメント、健康食品についての情報
 - ② 一般用医薬品の適正使用に関する情報
 - ③ 在宅医療に関する情報
- そのため、各都道府県に協議会を設置し、

医師・薬剤師・看護師・介護士等と連携を図り、地域の実情に沿ったセルフメディケーション推進事業や在宅医療の方策を検討するとしています。

「一般用医薬品新販売制度の適正な運用の確保事業」の要求額は、厚生労働科学研究費の5千万円を含め約2億円となっており、次の4事業が掲げられています。

- ① 一般用医薬品を対象とした新たな販売制度の普及と適正な運用を図るため、優良サイトの認定・認証の規格・基準を作成し、認証等を行うためのシステムを構築し、運用する。(約1千万円)
 - ② 乱用等の恐れのある品目がネットで購入しやすくなる懸念があることから、多量・頻回購入等を防止する取り組みを検討し、データベースの構築と運用を図る。(約6千6百万円)
 - ③ 偽造医薬品等を含む違法な広告・販売を行う国内外のインターネットサイトを発見・警告する取り組みを強化するとともに、インターネット接続事業者等に対する情報の削除要請の取り組みを強化する。(約7千7百万円)
 - ④ 一般医薬品の販売における効率的で効果的な情報提供の在り方に関する調査研究等を行う。(厚生労働科学研究費：約5千万円)
- 厚生労働省は今後、年末の政府予算案の編成に向けて、財務省と折衝に入ることになります。政府予算によるこのような事業を活用し、全国展開を図り、全国の市民に対して、かかりつけ薬局としての機能を発揮していただきたいと思います。

社保だより

社会保険診療報酬支払基金沖縄支部

資格関係誤りレセプトの未然防止について（お願い）

平素は、支払基金の業務運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

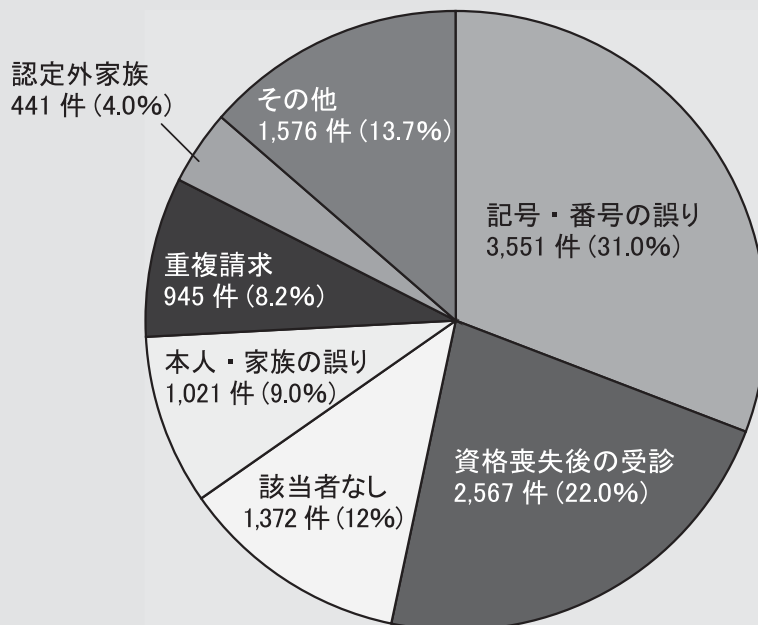
さて、資格関係誤りレセプトの未然防止につきましては、保険医療機関等並びに保険者等関係方面のご理解とご協力をいただき資格関係誤りレセプト件数の減少にご尽力をいただいているところであります。今般、平成25年1月～6月取扱分を取りまとめましたところ、下表のとおり「記号・番号の誤り」と「資格喪失後の受診」の合計で資格関係誤り全体の53%を占めている状況であります。

つきましては、次の事項にご留意いただき、引き続き資格関係誤りレセプトの未然防止にご協力をお願い申し上げます。

保険医療機関（薬局）の皆様へ

- 資格関係の有無は必ず被保険者証での確認をお願いします。
- 被保険者証からの入力誤りがないよう配意願います。

沖縄支部における資格関係誤り理由別発生状況 （平成25年1月～平成25年6月取扱分）



* その他とは、患者名誤り、保険者番号と記号の不一致、旧証によるもの、給付対象外疾病（業務上、適用外）、国保該当などである。

告知用チラシ

< 表面 >

8月18日
(日)

2013

県民健康 フェア

第3回

■時間／午後12時～4時
■会場／コンベンションセンター展示場

※駐車スペースに限りがございますので、バス・タクシー等をご利用下さい。

いつまでも、
体いきいき健康づくり

■主催／沖縄県医療保健連合(なごみ会)
■共催／(公財)沖縄県保健医療福祉事業団

入場無料

各種イベント

ステージイベントには、お馴染みのお笑いコンビ「ゆうりきや〜」による大爆笑!?コント、屋外ではドクターヘリの展示(予定)、そして会場内では各ブースにおいて、医療相談、禁煙指導、骨密度測定検診、フードモデルによる食事チェック、妊婦体験、体力測定など、ご家族揃って楽しめる企画をご用意していますので、皆さんでご参加下さい。



なごみ会

●沖縄県医師会 ●沖縄県歯科医師会 ●沖縄県薬剤師会 ●沖縄県看護協会 ●沖縄県栄養士会 ●沖縄県臨床検査技師会 ●沖縄県歯科衛生士会
●沖縄県歯科技工士会 ●沖縄県放射線技師会 ●沖縄県理学療法士協会 ●沖縄県柔道整復師会 ●沖縄県鍼灸師会 ●沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
●沖縄県精神保健福祉士協会 ●沖縄県作業療法士会 ●沖縄県言語聴覚士会 ●日本健康運動指導士会沖縄県支部(順不同)

■お問い合わせ／TEL (098) 888-0087 (沖縄県医師会)

< 裏面 >

第3回 県民健康フェア2013イベント

ステージイベント

時 間	内 容
12:00～	開会セレモニー こどもエイサー(社会福祉法人 琉和の里福祉会 うらら保育園) 主 催 者 挨拶:宮城 信雄(沖縄県医療保健連合会長) 共催団体挨拶:新垣 郁男(沖縄県保健医療福祉事業団 専務理事) 来 賓 祝 辞:崎山 八郎(沖縄県福祉保健部長)
12:30～12:50	大爆笑!?コント お笑いコンビ ゆうりきや〜



ゆうりきや〜も健康チェック!?
ブースに行くよ〜!!



ブースイベント

●医師会

生活習慣病相談コーナー、禁煙指導
心肺蘇生体験コーナー、パネル展示、頸動脈流工コー検査

●歯科医師会、歯科衛生士会、歯科技工士会

相談:口腔ケア、在宅歯科、予防歯科、障害者歯科
体験:咬合力測定、フッ素洗口、簡易歯周病検査、歯磨剤作り
展示:パネル、歯科用グッズ

●薬剤師会

相談:健康チェックとお薬相談会
展示:薬剤師の仕事について

●看護協会

妊婦体験、沐浴指導、ベビーマッサージ、正しい手洗いとチェック
健康相談、訪問看護の紹介

●栄養士会

展示:パネル、食品の展示 相談:栄養相談、他
フードモデルによる食事チェック
パソコンを使った食事チェック

●臨床検査技師会

展示:各種臨床検査のパネル展示、顕微鏡観察、DVD上映
相談:臨床検査

●放射線技師会

放射線被ばくに関して、医療における各種検査についての相談
骨密度測定検診(無料)

●理学療法士協会

パネル展示、生活習慣病予防体操、介護予防体操、ストレッチ等
相談:痛みを予防する生活について、学生の進路相談

●作業療法士会

何でも相談コーナー、自助具の展示および体験コーナー、パネル展示

●言語聴覚士会

相談:飲み込み、ことば、子どもの発達等に関して
展示:言語聴覚士の仕事内容のパネル

●鍼灸師会

展示:鍼灸に関する情報 体験:鍼灸施術

●精神保健福祉士協会、医療ソーシャルワーカー協会

精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカーの職能紹介
精神保健及び医療に関する相談、医療福祉相談、がん相談、患者会等紹介
幻覚のバーチャル体験

●柔道整復師会

展示:パネル(ボランティア活動)
体験:テーピング実技(メディカルテーピング、スポーツテーピング)
相談:整(接)骨のかかり方

●健康運動指導士会

体力測定→結果に基づいた運動相談
体験:運動体験(チェアーエクササイズ、タオル体操、ストレッチ体操、
ボール体操、沖縄Let'sブチ体操)

●ドクターヘリ展示ブース

写真展、DVD視聴、資料配布

屋外イベント

●ドクターヘリ・ドクターカー展示

※ドクターヘリの展示時間/12:30～15:30(但し緊急出動要請の場合、離陸あり)

●マンモグラフィー検診車

●屋台コーナー ●ふわあふわあ遊具



転載記事

公益財団法人 沖縄県保健医療福祉事業団発行の

「いきいき健康あいらんど Vol. 29」で紹介されました。

今秋から沖縄県薬剤師会会員の勤務する薬局窓口で臓器移植の資料提供コーナーを設置していただくことになりました。会長 村武之さんに取り組みをうかがいました。

沖縄県薬剤師会とは？
県内の薬剤師約千二百人が加入、その六割が薬局開局者です。そのほかにも病院・製薬会社・研究所・行政・警察の科研など薬剤師の職場は、多岐にわたります。

医療の進歩・新しい制度に対応するため、我々の会は講習会・勉強会がとて多いのです。臓器移植啓発の取り組みについても研修会の中で紹介し、賛同を得られました。

協力のきっかけは？
日本薬剤師会から各県薬剤師会に協力依頼の通知があり、沖縄県でも取り組むことになりました。我々は医療の担い手ですが、臓器移植医療や意思表示方法について知識を持つ人が多いとはいえません。運転免許証や健康保険証の裏面に意思表示欄があるということも研修会で話を聞いて初めて知った人もいました。身近な人に起こらないと、なかなか真剣には考えられないものですね。今回はいきつかけになったと思います。



一般社団法人 沖縄県薬剤師会会長
村武之さん

「夢がもてる健康に感謝」
健康でないとならない事がありますからね。

これからの薬剤師は？
薬剤師の資格を取るためには臨床薬学を学ぶ必要があるということ、二年延長・大学で六年間学ぶことになりました。高齢社会になり、在宅医療・終末医療の現場で、ますます薬剤師が積極的に活躍するようになっていくという事です。そんな意味でも臓器移植は重要ですし、このグリーンリボンに取り組むことは、今後の薬剤師の在り方とも関連すると思います。



グリーンリボン
コーナー

～臓器移植を考える～

vol.2



10月16日は
グリーンリボンデー

10月4日(金)～6日(日)

沖縄県広告美術協同組合
コンクール展示

[場所]那覇サンエーメインプレイス2階
シネマQ前広場

4日10時～テープカット、18時30分～表彰式
沖縄県広告美術協同組合の看板コンクール、今年度は臓器移植の意思表示・グリーンリボンがテーマに選ばれました。出品作品約70点がサンエーメインプレイス2階シネマQ前広場にて三日間展示されます。ぜひご覧ください。

10月6日(日)

街頭キャンペーン

臓器提供意思表示カードや資料を県内5か所(那覇・北谷・名護・宮古・石垣)で配布します。配布ボランティア募集中。

時間や場所についてはお問い合わせください。

10月7日(月)～11日(金)

第3回「私の窓から」作品展

[場所]沖縄県庁1階ロビー
写真とメッセージで移植医療への思いをつづった作品展。応募のあった全作品を展示し、作品展をご覧になった方の投票で沖縄御万人(うまんちゅ)賞を決定します。ぜひご来場ください。

10月は
臓器移植普及推進月間です
～イベント日程～

10月20日(日)14時～

臓器移植を
知るシンポジウム

[場所]浦添市でこ小ホール
腎臓移植についての講演や献腎移植体験者の講演など。沖縄の現役高校生シンガーnatchyのミニコンサートもあります。入場無料。ご来場お待ちしています。



詳しくは、こちらを
ご覧ください。

モバイル
サイトは
こちら



グリーンリボン

検索

グリーンリボンキャンペーン沖縄

沖縄県臓器バンクでは、沖縄の移植医療を地域社会が応援する、沖縄グリーンリボンサポーターズクラブ(仮称)の発足を目指しています。社会貢献として移植医療の啓発活動にご協力いただける企業・団体を募集しています。

沖縄県薬剤師会は、グリーンリボンに関するポスターやパンフレットなどを各薬局店内に設置し、PRしています。

お気軽にご連絡ください

098-879-6311

(沖縄県臓器バンク)

健康TRY IT!



肉も野菜もバランスよく食べる!

いきいき健康あいらんど 16

※発行元(編集出版社)のご許可を得て転載しています。

転載記事

平成25年 8月19日(月) 沖縄タイムス



「レッツ・フチ体操」で、楽しそうに体を動かす参加者。18日午後、宜野湾市・沖縄コンベンションセンター

医師ら 運動や食生活指導

県内の医師会や歯科医師会、薬剤師会、栄養士会など17団体でつくる県医療保健連合(通称・なごみ会、宮城信雄会長)が主催し3回目。生活習慣病の相談や禁煙指導など13のブースがあり、お笑いコンビゆうりきや〜のコントなどもあった。

那覇市の比嘉秋子さん(63)は、体力測定でおおむね年齢相応と診断されたが柔軟性が、もうひとつと指摘された。「自分の弱いところが分かったので、家で柔軟体操を始めた。運動するきっかけになってよかった」と笑顔で話した。

那覇市の会社員仲間正樹さん(39)は体力測定の「座

自分流の健康法発見 県民フェアに1000人

長寿県復活に向け、健康づくりを意識してもらおうと「県民健康フェア」が18日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開かれた。親子連れなど約千人(主催者発表)が参加。体力や骨密度の測定のほか、食事の栄養チェックなどゲームを楽しみながら、自分に合った健康法を探した。

健康 楽しみながら意識

18日に県民フェア

県内17の保健・医療関係団体で構成する県医療保健連合(なごみ会、会長・宮城信雄県医師会会長)は18日正午〜午後4時、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで第3回県民健康フェア2013を開く。各団体がブースを出展し、医療相談や健康指導のほか頸動脈エコー検査、ベビーマッサージや赤ちゃんの沐浴指導などを行う。

今年発表された平均寿命で沖縄県は男性30位、女性3位に順位が転落し、「長寿県」の存在が危ぶまれている。1日に沖縄タイムス社を訪れた宮城会長は「健康長寿県の復活のためには県民一人一人の意識改革が必要だ。そのために楽しめるフェアを企画した」と話し、来場を呼び掛けた。

お笑いコンビ「ゆうりきや〜」のコントやドクターヘリ、ドクターカー、マンモグラフィー検診車の展示などもある。問い合わせは県医師会、電話098(8888)0087。

位脚開閉」にきつそうな表情を浮かべ「おしりの筋肉がかなり痛い。健康のため、ちゃんと運動したい」と反省。妻恵子さん(32)は「食事は油モノに偏っているの、これから食生活を見直したい」と話していた。

食品サンプルを選び栄養価を表示する「食育SATシステム」に挑戦した宜野湾市立嘉数小4年の國吉裕一郎君。大好きなハ

ンバーの量を減らすよう指導され「半分くらいにして食べるよう気をつけた」と真面目な表情で話した。

家族4人で訪れた沖縄市の仲田里佐さん(37)は県歯科医師会のブースでかむ力を測定。「夫婦とも平均の半分しかない」と分りびっくりした。かむことの大切さをすごく実感したので、家族で意識していきたい」と話した。

平成25年 8月2日(金)
沖縄タイムス

転載記事

平成25年 8月19日(月) 琉球新報

各ブースを紹介するお笑いコンビ「ゆうりきやー」＝18日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター



学んで長寿取り戻す

宜野湾市で
健康フェア

健康うちなー
未来プロジェクト



県民の健康増進と健康寿命の拡大を目指す、第3回県民健康フェア(県医療福祉連合主催、県保健医療福祉事業団共催)が18日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開かれた。会場には多くの家族連れが訪れ、健康への意識を高めた。医師会や歯科医師会、薬剤師会、看護協会など十数団体がブースを設けた。来場者は生活習慣病や栄養相談、骨密度、体力測定など多彩なコーナーを訪れ、専門家の説明を受けていた。県内のお笑いコンビ「ゆうりきやー」もイベントに参加した。2人は各ブースの内容について笑いを交えながら紹介した。

県医師会の真栄田篤彦常任理事は「沖縄の健康長寿を取り戻すことが目的。県内は生活習慣病の患者が多く、予防が大切だ。正しい知識を学び、適度な運動や適切な食生活を心掛けてほしい」と呼び掛けた。

気軽に健康診断を

18日に宜野湾でフェア

「いつまでも、体いきいき健康づくり」をテーマに第3回県民健康フェア2013が18日正午から午後4時まで、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター展示場で開かれる。入場無料。県内保健医療関係17団体が構成する県医療保健連合(なごみ会)が主催。各団体が特設コーナーを設け、医療相談や禁煙指導、骨密度測定や体力測定などを行う。屋外ではドクターヘリやマンモグラフィー検診車も展示。午後0時30分からお笑いコンビ「ゆうりきやー」のコントも披露される。

取り戻そう

健康長寿



県民健康フェアへの来場を呼び掛ける宮城信雄会長(前列中央)ら11日、那覇市天久の琉球新報社

平成25年 8月2日(金) 琉球新報

転載記事

「週刊レキオ」の“なんくるお悩み相談コーナー”に、
当会会員の備瀬紀子氏（おなほ薬局）が回答した記事が掲載されていました。

vol.1485 2013. 09. 19

Lequio 6

なんくる お悩み 相談

- 64 -



Q. 母親の怠け癖、直したい

私の母親（50代）は、家ではいつもゴロゴロしています。間食が多くて、しょっちゅう夜更かしをしていて、いつも睡眠不足。体重が増えてもサプリメントやダイエット器具に頼る始末です。何度も生活習慣をよくしてほしいと言いましたが、聞く耳を持ちません。どうしたら生活習慣を改めてくれるようになるのでしょうか？

（30代、くまごろうさん）

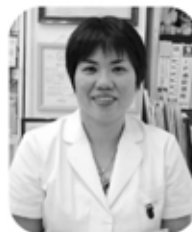


イラスト・玉寄育子

回答2

更年期の可能性も

備瀬 紀子さん
（薬剤師）



相談内容だけでは確かな判断ができませんが、40～50代に多い更年期障害であることも考えられるので、更年期について説明します。うちの薬局にも更年期障害の方が相談に来ます。更年期障害とは閉経前後に女性ホルモンが減少することによっておこる症状のことです。自律神経失調症のような症状、ホットフラッシュ（ほてり・のぼせ）、精神的に落ち込んだり、イライラしたりなど、心身に症状が出ることです。

誰でも起きるという訳ではありません。家族や子育て、仕事などでストレスが重なると、自律神経のバランスが崩れて症状が出やすくなります。他にも、生理不順や出血が止まらない方、病院に行っても原因が分からなかったという人も来ます。私は、ホルモンの変化が落ち着いてくると症状が落ち着くので、必ず終わりが来て、症状が無くなるということをお伝えしています。自分で更年期を認めて、家族も分かっ

てあげることが大切です。中国では、お母さんが更年期の時期になると家族中がそれを理解するそうです。

相談者のお母さまは夜眠れないのかもしれませんが。そして昼間だるい。その悪循環から抜け出すために、規則正しい生活と発散できるようなものを持つことを勧めます。自分の状態を認めたくないという人もいます。若い人はネットで調べるけど、そうでなければ「自分だけ苦しい」と思っているかもしれません。家族が言い過ぎると「分かってくれない」と思うこともあります。家族は見守り、少しずつ受け入れる手伝いをする。少し元気になると、家族が明るくなります。本人も良かったと思えば、良い方向へ向かいます。

漢方でお手伝いもできます。体調や出てくる症状、体質によっても使う漢方は変わります。相談者のお母さまに、思い当たることがあれば、病院や薬局に相談してください。

PROFILE

びせ・のりこ 1973年生まれ。那覇市出身。名城大学薬学部卒。病院勤務などを通して、漢方を専門とした「中医学」に関心を持つ。2002年、北京中医薬大学日本校を卒業。国際中医専門員に合格。06年から那覇市安里のおなほ薬局勤務。不妊症の悩みを中心にカウンセリングをしながら、個人に合った漢方を処方している。

※発行元（編集出版社）のご許可を得て転載しています。

転載記事

会員の大城朝徳氏（有限会社レ・ネット）が東京国体の剣道で活躍された記事を紹介します。

平成25年10月1日(火) 琉球新報

成年男子、初戦突破

大将大城が
気迫のドウ

○：剣道成年男子が、ベスト16に入った2009年の新潟国体以来、4年ぶりに1回戦を突破した。山形と対戦した沖繩は、

先鋒(せんぽう)の嘉陽宗隆がドウを決めて1本勝ちし、チームに勢いを呼んだ。続く次鋒(じほう)・上江洲貴大もメンで鮮やかに1本勝ちしたが、比嘉景安が延長で惜敗。石川清正もメンを決められて2-2となり、勝敗の行方は大将戦に委ねられた。その時、大城朝徳は「任しとけ」と声を出した。「とにかく1本を取るという気持ちだった」。狙っていたドウを見事に決めて2回戦進出を決めた。

「今年は沖縄県警の3人が充実した練習を重ねている」と嘉陽、上江洲、比嘉を評する石川。2回戦で鳥取に勝てば、強豪の東京と当たる可能性が高い。大城は「地元で、強い東京と対戦したい。全力を尽くすしかない」と、翌日の試合に気を引き締めた。



剣道成年男子1回戦 大将戦で積極的に攻める大城朝徳
(右) 10月30日、東京都足立区の東京武道館

平成25年 8月16日(金)
沖縄タイムス

薬ネット販売で 相談対応義務化 厚労省が素案 一般用医薬品(大衆薬)

のインターネット販売で厚生労働省は15日、消費者の安全確保に向けたルール策定の作業グループ初会合を開き、購入者が希望すれば、電話や店舗での相談対応をネット販売業者に義務付けるとの素案を提示した。委員からも、電子メールだけでなく電話などで相談に応じられるようにするべきだとの意見が出た。

平成25年度 第5回定例理事会 議事概要

日時：平成25年 7月13日(土) 19:00～22:00

場所：沖縄県薬剤師会館 研修室

＜出席者＞

会 長：神村武之

副会長：松山朝雄、吉田洋史

理 事：田場英治、江夏京子、山里 勇、亀谷浩昌、宮城敦子、前浜朋子、姫野耕一

下地 仁、幸地良信、川上善久、外間惟夫、我喜屋美香、笠原大吾

欠 席：玉城 純、石川恵市、新垣秀幸、幸地良信

事務局：稲福文隆

会長が途中で退席のため（木村隆次参議院議員候補者との懇談会に出席）、先に議題（3題）と会長からの報告事項を審議し、その後、会議次第に記述した事項について事業担当理事から順次説明がなされた。

報告（会）

- (1) 会営薬局の調剤保険料等（6月分）及び病院別院外処方せん発行状況 <資料配布>
- (2) 平成25年度第1回医薬分業対策委員会 6月13日（水）県薬 <資料配布>
前回理事会にて報告済み。
- (3) 認定実務実習指導薬剤師養成講習会 6月16日（日）県薬
我喜屋理事より、年間2回開催、平成25年6月16日に県薬に於いて開催した。修了者には認定証を発行したとの報告があった。
- (4) 南部地区薬剤師会総会 6月16日（日）(株)アトル沖縄営業所
川上理事より、6月16日に株式会社アトル沖縄営業部にて開催されたとの報告があった。
- (5) 北部地区薬剤師会総会 6月16日（日）ホテルゆがふいんおきなわ
- (6) 平成25年度第1回医薬品事故・過誤対策委員会 6月17日（月）県薬 <資料配布>
亀谷常務理事より、①平成25年度事業計画、②当委員会の組織・構成・任期について、③調剤事故対策要綱の内容を次回委員会にて検討すると報告された。
- (7) フィジカルアセスメントワーキングチーム会議 6月17日（月）県薬 <資料配布>
笠原理事より、琉球大学のおきなわクリニカルシュミレーションセンターで去年1年間、開局の先生5名が講習を受けたので、各地区での伝達講習会の開催について検討した。今年度も新たに各地区からの推薦で5名の受講生が講習を受けることになった。次年度は伝達講習会の講師をしていただくと報告された。
- (8) 会計監査（一般会計） 6月18日（火）県薬
- (9) 日本医薬品卸勤務薬剤師会 沖縄県支部総会 6月19日（水）琉薬
山里常務理事より、総会、研修会を開催し、卸6社が参加した旨の報告。
- (10) 平成25年度 財団法人沖縄県看護学術振興財団 第1回理事会 6月20日（木）県立看護大学 <資料配布>
神村会長より、一般財団法人への移行を考えているとの報告がされた。
- (11) 保険薬局部会研修会 6月20日（木）(株)アトル沖縄営業所
川上理事より、年6回、研修会を実施しているが、今回はその第1回の研修で、参加者は17名であった旨の報告。

(12) 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会

6月20・21・25日・7月2日 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部

(13) 実務実習（学薬について）補修

6月21日（金）県薬

我喜屋理事より、2名の学生が体調を崩してしまったので、学薬部会の協力で補修を実施したとの報告。

(14) 沖縄戦殉職医療人の碑へ慰霊

6月22日（土）ひめゆりの塔構内

神村会長より、今年は慰霊の日の前日に催した。

田場専務理事、笠原理事、大城係長、久場トヨ氏、長田紀昭氏とご家族が献花し参拝した。

(15) 第108回健康とおくすり相談会

6月23日（日）イオン那覇店

姫野理事より、相談者は35名訪れた。今回は相談員も多かったので、相談者も多かったという報告。

亀谷常務理事より、この相談会に対して地区薬や県薬から補助が出ていますかとの質問に、姫野理事より、交通費を支給しているとの報告がなされた。

(16) 沖縄県口腔保健医療センター起工式

6月24日（月）建設予定地 <資料配布>

神村会長より、建設予定地にて開催されたと報告があった。

(17) 三師会会長意見交換会

6月24日（月）リーガロイヤルグラン沖縄

神村会長より、宮城医師会長・比嘉歯科医師会長と意見交換をした。今後の更なる連携等について懇談、今後も期をみて催したいと報告された。

(18) 豊平峰雲「沖縄タイムス賞受賞・個展開催祝賀会」

6月25日（火）ザ・ナハテラス

神村会長より、県薬会報の表紙題字を書いていたいただいた書家豊平峰雲氏の同祝賀会に出席したとの報告。

(19) 保険薬局部会役員会

6月25日（火）県薬

(20) 青年部会役員会

6月25日（火）県薬 <資料配布>

吉田副会長より、以下の内容について話し合われた旨の報告があった。①委員会への参加、②新任・新人薬剤師研修会後の交流について、③第3回県民健康フェア2013について、④高校生向けの職業説明会「しごとミュージアム」への参加について、⑤「グッジョブ・サマースクール」への参加について、⑥軍病院見学についてなど。

沖縄コンベンションセンター展示棟で7月11日（木）に開催された「しごとミュージアム」には石川恵市部会長が参加、7月28日に予定されている「グッジョブ・サマースクール」には鈴木一徳副部会長と佐川和徳氏が参加することになっている。

(21) 薬業連合会 理事会・総会・懇親会

6月26日（水）沖縄都ホテル <資料配布>

(22) 第2回薬剤師のための在宅支援プログラム（フィジカルアセスメント講習会）

6月26日（水）沖縄クリニカルシミュレーションセンター

笠原理事が、次回は7月31日（水）に開催予定であると述べた。

(23) 薬学生実務実習（D I）

6月27・7月4日（木）県薬

我喜屋理事より、薬学生実習も後2週間を残すのみとなったが、現在までに在宅、薬局製剤、水質検査、那覇地区薬剤師会の第108回健康とおくすり相談会への参加、卸問屋の見学等を実施したとの報告があった。

(24) 無菌調剤室検討会議

6月27日（木）県薬 <資料配布>

(25) 琉球放送テレビCM撮影

<資料配布>

6月27日（木）会営薬局医療センター前・キセ薬局・琉球放送
宮城常務理事より、次のとおり報告があった。

6月27日に会営薬局医療センター前とキセ薬局にて会員とその関係者に主な登場人物として協力いただき、放映映像を作成した。琉球放送にて7月15日より放映開始。放映予定時間表はファックスで会員に連絡した。著作権はRBCであるが、放映期間中は県薬ホームページで閲覧可能。従来の新聞を使った広告より効果的であったとの評価が得られた。製作に要した費用は128万円であり、このうち52万5千円は日薬から補助を得た。

反省点として、亀谷常務理事より、薬剤師のネームプレートがはっきりと見えたほうがよかったとの意見があった。

神村会長より、今後は薬剤師会で独自でビデオ制作し、ホームページに掲載してもいいのではないかと意見があり、広報委員会で検討することになった。

(26) **健康づくり推進協議会** 6月28日（金）全国健康保険協会沖縄支部 <資料配布>

吉田副会長より、全国健康保険協会沖縄支部での会合に出席し、議題が特定健診受診率の向上、特定保険指導実施率の向上、重症化予防事業、福寿うちな一運動、妊婦への栄養指導、ジェネリック医薬品であり、ほとんどが、特定健診についての内容であった旨の報告がなされた。

(27) **くすりと健康フェア調整会議** 6月28日（金）県庁 <資料配布>

稲福係長より、10月17日から始まる「薬と健康の週間」についての打ち合わせに出席し、特別講演の演者が「後藤直良」に決定したこと、次年度からの支払い関係（案）として会場使用料・街頭キャンペーン横断幕は那覇市が、講師謝金及び旅費・正面横幕・懸垂膜・演題横の花については県が、新聞広告については薬剤師会が負担することなどが話された。薬祖祭は10月18日（金）午前10時に開催することが決まった。

(28) **平成25年度日本薬剤師会定時総会** <資料配布>

6月29・30日（土・日）ホテルイースト21東京

出席した神村会長からの報告。ブロックからの質問が主だが、インターネット問題での児玉日薬会長の進退問題について質問があった。進退問題とはならないこととなった。薬剤師年金の加入者が減少しているなかで、将来的にはどうなるのか懸念されるとの意見が出た。

(29) **「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン**

6月29日（土）パレットくもじ前イベント広場・他

田場専務理事より、県薬からは私と理事、および薬局関係者が例年どおりパレット久茂地前広場にて行われた普及活動に参加し、式典の後は参加者によるビラ配りが行われた旨の報告がなされた。

(30) **保険薬局部会総会・講演会** 6月30日（日）県薬 <資料配布>

川上理事が以下のとおり述べられた。

○九州・山口学術大会に多くの先生方に参加してもらいたいために、予算を20万円計上していますので、管理薬剤師で参加希望の方は申し出て下さい。

○役員改選の年ですが、今の役員が留任することとなりました。

○各地区からの委員が決まっていないので、推薦をお願いします。

(31) **なごみ会県民健康フェア 実行委員会** 7月3日（水）沖縄県医師会館 <資料配布>

(32) **平成25年度 第1回地域医療支援病院運営委員会** 7月4日（木）豊見城中央病院

出席した神村会長より、地域支援の運営状況について話し合われたことの報告がなされた。

(33) **フィジカルアセスメントについての打合せ会** 7月4日（木）県薬

- (34) 九州山口薬剤師会研修会 7月6日(土) 福岡国際ホール
 ○小田利郎日薬副会長の講演会
 ○参議院議員比例代表候補 衛藤晟一氏、参議院議員選挙区 松山政司氏の演説会
- (35) 平成25年度女性薬剤師部会総会・第13回漢方講座 7月7日(日) 県薬
 村田美智子理事より、以下の報告がなされた。
 ○当部会は規約等作成されてないままである。きちんとした取り決めがなく今後整備したい。
 ○妊婦・授乳婦の検診に女子薬剤師会として介入できないのか(くすりのチェックを行う)
 ○総会終了後、漢方講座が開催された。
- (36) 平成25年度 医薬分業対策担当者全国会議 <資料配布>
 7月7日(日) TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
 出席した川上理事より、医薬分業に対する患者団体等や医師からの苦言について、資料に基づいて報告があった。
- (37) グラクソ・スミスクラインより来訪 7月9日(火) 県薬 <資料配布>
 田場専務理事より、呼吸器科の医師、薬剤師の協力を得て、吸入指導書、吸入チェック表を作成したいとの申し入れがグラクソ・スミスクラインからあり、現在、呼吸器科の医師、薬剤師を選定中であることが述べられた。
- (38) 平成25年度沖縄県警察官友の会役員会(総会)・情報交換会
 7月9日(火) サザンプラザ海邦
- (39) なごみ会主催県民健康フェア第1回県薬実行委員会 7月9日(火) 県薬 <資料配布>
 笠原理事が出席、議題は下記のとおり。
 ○なごみ会主催県民健康フェア実行委員会経過報告
 ○役割分担 薬剤師会はステージイベントを担当する。細かい分担については、司会是我喜屋理事、運営委員・総合責任者は田場専務理事、受付は照屋秀子氏と前濱理事、相談員は上原幸代氏、パネル展示担当は村田理事、機器担当は吉田副会長と決まった。相談員については、さらに県薬Weeklyニュースで募集をする。(7月12日締切)
 ○沖縄県薬剤師会担当ブース機器等内容について
 ○お笑い芸人ゆうりきやーの役割(10分間程度)について、在宅訪問薬剤師に関してのコントを行う。コントの内容については田場専務理事、笠原理事、上原氏、伊敷氏で検討する。
- (40) 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部幹事会
 7月10日(水) 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部
- (41) テレビ会議・研修会 7月10日(水) 県薬
 吉田副会長より、インターネットテレビ会議システムで県薬、北部、宮古、八重山の4拠点を結ぶパナソニックのシステムで、今回は福岡と当会を結び、幹事会のまえに試験的に実施した。画質がよく、音声がすぐれていて、ハウリングなく、周りのノイズを軽減し、こちらの操作で相手の側の操作もできる等の特徴が報告された。
- (42) 個別指導(2薬局) 7月11日(木) 県庁
- (43) 沖縄県新型インフルエンザ等対策有識者会議(第1回)
 7月11日(木) 自治会館 <資料配布>
 田場専務理事が出席した。
 委員名簿が資料に添付されていませんでした。次回にお知らせします。
 今回は第1回なので、メンバー紹介をしてから議題に入った。議事は、1会議の運営方法、2新型インフルエンザ等対策の背景について、3新型インフルエンザ等対策特別措置法の概

要について、4 沖縄県新型インフルエンザ等対策行動計画（案）の概要について説明のみで、次回7月25日、詳しく検討する予定である。

(44) 2013 沖縄各適正・適職・職業体験フェスタ しごとミュージアム

7月11日（木）沖縄コンベンションセンター

参加した宮城常務理事より次のとおり報告がなされた。実務実習期間中ということで薬学生が10名参加し、ブースに訪れた高校生に対しレクチャーをしてくれた。前濱理事、我喜屋理事、笠原理事、石川理事、大城係長（事務局）が参加。ブースには高校生170名が来訪、そのうち143名がアンケートに協力してくれた。

(45) 全国調剤担当審査委員会議

7月11日（木）東京

(46) 薬学生実務実習（災害での薬剤師活動）

7月13日（土）県薬

我喜屋理事より、災害に対して薬剤師はどういう活動をするのか、しなければならないのか、今、災害が起きたら薬剤師は何をするのかをテーマにディスカッションを行った。その中で薬剤師だけではできないので、日頃から他の職種と連携をとることが必要だという意見も出たことが報告された。

(47) 沖縄県薬剤師会会長表彰への推薦について（各地区、部会への推薦依頼） <資料配布>

各地区薬・部会・委員会等に対し、表彰適任者がいたら9月20日までに県薬まで推薦するようお願いした。

(48) 九州地方社会保険医療協議会臨時委員の推薦について <資料配布>

神村会長が継続して委員をしていたが、9月で任期が切れる。規則で10年以上は委員になれないので、変わりに松山副会長を推薦したい。協議会は月に1回、金曜日に1時間程度の会議である。

(49) 電子薬歴システムの買い替えについて <資料配布>

吉田副会長より、以下の報告があった。

平成17年5月に導入した電子薬歴システムは、データ量が増え処理能力が大幅に遅くなり、頻繁に電子薬歴システムが一時停止する為、業務の遅滞化を招いている。また、導入から8年経った現在、より充実した内容のシステムが各メーカーより発売されている。今回、電子薬歴システムを新しくすることで、業務の効率化と、より良い服薬指導・管理が行えるものと考えている。

会営薬局うえはら・とよみから稟議書が提出されている。2台購入すると安くなるということ、またシステムを統一したいということで会営薬局とよみもリレーションズのH I - S t o r y を購入することになった。

(50) 都道府県薬アンケート「日薬への期待、県薬の役割・方向性」 <資料配布>

日本薬剤師会創立120周年を記念して、都道府県薬アンケート「日薬への期待、県薬の役割・方向性」に対して都道府県の会長が回答しています。是非、目を通してほしい。

(51) フジテレビ6月17日放送の番組「とくダネ！」に対する本会の対応について（日薬文書）

<資料配布>

保険薬局が取り上げられたが、一方的な取材により薬剤師職能が十分に理解されないまま、視聴者に誤解を与えかねない内容の放送が行われた。これについて日本薬剤師会が抗議文をフジテレビに送付したと報告された。後日、フジテレビより謝罪があった。

報告（薬連）

(1) 平成25年度第3回全国会長・幹事長拡大会議

6月19日（水）スクワール麹町

(2) 沖縄明るい未来を創る県民の会役員会議 6月24日（月）沖縄明るい未来を創る県民の会

(3) 参議院議員通常選挙比例代表公認候補 沖縄県担当事務局会議

6月26日（水）自由民主党沖縄県支部連合会

(4) 安里政晃後援会実務者会議

6月28日（金）・7月4・11日（木）安里政晃選対本部

(5) 仲井眞知事を囲む朝食会 7月2日（火）ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

(6) 衆議院議員 國場幸之助「国会活動激励の集い」

7月2日（火）ホテル日航グランドキャッスル

(7) 安里政晃氏出陣式

7月4日（木）あさと政晃選対本部前広場

(8) 衆議院議員 鴨下一郎氏来訪

7月8日（月）県薬

(9) あさと政晃氏 総決起大会

7月10日（水）那覇市民会館

(10) えとうせいいち九州・山口薬剤師後援会 名簿集計表

<資料配布>

(11) その他

議題

(1) 各種委員会委嘱について

<資料配布>

神村会長より、北部地区、南部地区は委員が決まり次第、事務局へ報告するようお願いした。地区枠以外でも適任者がいれば推薦してほしい。現在、推薦されている委員については承認された。

(2) パート賞与について

<資料配布>

山里常務理事より、パート職員賞与支給基準に基づいて支給案を作成したとの報告があった。

常に支給するというわけではない。経営が苦しい時は我慢してもらう時もあるが、今は経営状態も良いので例年通り支給した方が職員も向上心をもって働けると神村会長が述べた。

川上理事より、会営薬局と保険薬局の医療事務の給与について比較検討して決定してもらいたいとの意見があった。

神村会長より、会営薬局は給料開示できるが、果たして保険薬局が開示してくれるのか疑問である。資料が得られれば検討すると述べた。

川上理事より、保険薬局部会でアンケート等の調査を行い検討すると述べた。

松山副会長より、パート職員賞与支給基準とは経営状態がよい場合の基準で、今後悪い場合は支給しないこともあると、確認があった。

パート職員の賞与支給については承認された。

(3) 無菌調剤室の業者選定について

<資料配布>

吉田副会長より、最初はクリーンベンチのみを設置する予定だったが、共同指導等も鑑みて、安全キャビネットも設置して、それぞれ部屋も別にするということで、TOSHIO, YUYAMA, 高園の3社から見積もりをとり、ランニングコスト、メンテナンス、細かい提案等を検討した結果、1160万円で高園に決定したいとの報告がされ、審議に入った。

神村会長より、現段階では稼働率は少ないが無菌室は必要である。これからは在宅医療を積極的に取り組まなければならない。薬剤師会としては無菌室の施設を整備して会員薬局に利用していただくのが会の役目である。

下地理事より、会営薬局うえはらに設置するということが、将来、移転する可能もあるわけで、移転の心配のない県薬の1階の薬局ではできないかとの質問があった。

吉田副会長より、研修・指導ということもあるので、常時、稼働している薬局でないと都合が悪い。県薬の1階の薬局は、昼間閉局しているので適当ではない。将来的には会営薬局とよみにも設置する必要があるだろう。今は予算の関連で無理である。

審議の結果、高園産業へお願いすることで承認された。

平成25年8月

- 1 木○個別指導 県庁 社会保険医療担当：仲真良重氏
 - 健康づくり支援事業推進委員会 沖縄県総合福祉センター 吉田久子氏
 - なごみ会主催県民健康フェア（地元新聞社へPR訪問） 琉球新報社・沖縄タイムス 神村会長、田場専務理事、笠原理事、稲福係長
 - 平成25年度第1回南部地区健康おきなわ21推進連絡協議会 南部保健所 新垣理事
 - 開局委員会主催第7回スキルアップ研修会 県薬研修室 講師：石川元信氏
- 2 金○平成25年度第2回沖縄県がん診療連携協議会 琉球大学医学部管理棟 田場専務理事
 - 平成25年度第2回青年部会研修会 おもろ殿内（那覇市） 講師：大森眞樹氏
- 4 日○一般用医薬品の薬局等における対面販売・相談対応等に関する講習会（開局委員会主催研修会） 県薬研修室 講師：渡辺謹三氏
- 5 月○第13回九州地区健康教育研究大会（6日迄） 浦添市てだこホール
 - 沖縄県公害審査会辞令交付式 県庁知事応接室 我喜屋理事
 - 第1回公害審査会 県庁 我喜屋理事
- 6 火○第13回九州地区健康教育研究大会 浦添市てだこホール
 - 九州厚生局沖縄事務所所長表敬訪問 県薬会長室 神村会長、田場専務理事
 - 沖縄臓器栄養治療フォーラム ホテル日航那覇グランドキャッスル 共催：大塚製薬(株)
 - 平成25年度第2回広報委員会 県薬研修室
- 7 水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 神村会長
 - 平成25年度第6回定例幹事会 県薬会議室
 - なごみ会主催県民健康フェア実行委員会 沖縄県医師会館 稲福係長
- 8 木○個別指導（2薬局） 県庁 社会保険医療担当：仲真良重氏
 - 地元漫才コンビゆーりきやーとの打合せ（なごみ会主催県民健康フェア） 県薬研修室 江夏常務理事、笠原理事、我喜屋理事、伊敷松太郎氏・上原幸代氏（保健福祉委員会）、稲福・大城両係長
 - 沖縄県新型インフルエンザ等対策有識者会議（第3回） 自治会館 田場専務理事
 - なごみ会主催県民健康フェア実行委員会 県薬研修室 保健福祉委員会、開局委員会、青年部会、女性薬剤師部会
 - 平成25年度沖縄県禁煙協議会総会 沖縄都ホテル 笠原理事、山里美恵子氏（保健福祉委員会）
- 9 金○平成25年度沖縄県公務員薬剤師会退職者激励会・懇親会 洋食屋リリア（那覇市） 神村会長、田場専務理事、大城係長
- 10 土○平成25年 第6回定例理事会 県薬研修室
- 11 日○調剤報酬請求業務講習会 てだこホール（浦添市）
- 12 月○健康おきなわ21分野別検討委員会（タバコ） 県庁 笠原理事
 - 抗凝固療法病診連携カンファレンス ザ・ナハテラス 共催：バイエル薬品(株)
- 13 火○フィジカルアセスメント講習会打合せ 県薬会議室
- 14 水○平成25年度第1回沖縄県自殺対策連絡協議会 県庁 村田理事
 - 平成25年度第2回医薬分業対策委員会 県薬研修室
- 15 木○南部地区危機管理協議会 南部保健所 新垣理事
- 16 金○会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士
 - 沖縄精神科治療学術講演会 ホテル日航那覇グランドキャッスル 共催：日本イーライリリー(株)

- 16金○調剤報酬請求業務講習会（八重山地区） 大濱信泉記念館（石垣市） 講師：仲真委員長（医療保険委員会）
- 17土○Symposium on Strategy for Sports-related Disorders（講演会） 沖縄県医師会館 共催：大塚製薬(株)
○調剤報酬請求業務講習会（宮古地区） 宮古地区医師会館 講師：仲真委員長（医療保険委員会）
- 18日○なごみ会主催県民健康フェア 沖縄コンベンションセンター
- 19月○日本薬剤師会国際委員会 日本薬剤師会館 宮城常務理事
- 22木○保険薬局部会研修会 県薬研修室
- 23金○第9回沖縄頸動脈病変診断・治療研究会 ホテルロイヤルオリオン 共催：大塚製薬(株)
○薬学生実務実習オリエンテーション 県薬研修室
- 25日○第109回健康とおくすり相談会 サンエーメインプレイス 担当：那覇地区薬剤師会
○平成25年度医薬分業対策会議 県薬ホール
- 26月○会報取材（アナザーフェイス：成川賢一先生） イエローストーン（那覇市首里） 宮城常務理事、大城係長
- 27火○グッジョブおきなわ推進事業局来訪 県薬会議室 笠原・前濱両理事、大城係長
- 28水○テレビ会議デモンストレーション 県薬 吉田副会長、山城課長
○会報取材（病院・施設） クリニカルシミュレーションセンター 亀谷常務理事・伊差川サヤカ氏・砂川智子氏（広報委員会）、大城係長
○沖縄県精神疾患学術講演会 ラグナガーデンホテル 共催：持田製薬(株)
- 29木○臓器委嘱バンクより取材来訪 県薬会長室 神村会長
- 30金○沖縄県歯科医師会来訪（会館建設下水道の件） 県薬会議室 田場専務理事、山城課長
○第一薬科大学広報課来訪 県薬会議室 田場専務理事、大城係長
○沖縄県医師会（災害医療委員会）来訪 県薬研修室 吉田副会長、田場専務理事、姫野・我喜屋各理事、仲真良重氏

平成25年9月

- 1日○第6回熟年の集い（広報委員会主催） 県薬ホール
- 2月○うるま市児童家庭課より来訪 県薬会議室 田場専務理事、山城課長
○薬学生実務実習オリエンテーション 県薬研修室 仲真良重薬学生実務実習受入委員会委員長、我喜屋理事
- 3火○フィジカルアセスメント講習会に関する打合せ 県薬会議室 笠原・川上各理事、上原幸代（保健福祉委員会）、稲福係長
○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会室 社会保険医療担当：仲真良重氏
- 4水○臓器委嘱バンクによる薬局撮影 万年堂薬局平良店
○くすりと健康フェアPR活動（那覇市自治会長会訪問） 真和志支所 前濱常務理事
○くすりと健康フェアPR活動（那覇市自治会長会訪問） 那覇市協働大使活動支援センター 大城係長
○平成25年度第6回定例幹事会 県薬会議室
○日本薬剤師会災害対策委員会 日本薬剤師会館 吉田副会長
- 5木○個別指導（2薬局） 県庁 社会保険医療担当：仲真良重氏

- 6 金○くすりと健康フェアPR活動（那覇市自治会長会訪問） 首里支所 亀谷常務理事
○くすりと健康フェアPR活動（那覇市自治会長会訪問） 小禄支所 宮城常務理事
○那覇・中部地区 抗凝固療法 Network Meeting ザ・ナハテラス 共催：
日本ベーリンガーインゲルハイム(株)
○沖縄心不全チーム医療セミナー 沖縄県医師会館 共催：大塚製薬(株)
- 7 土○第7回定例理事会 県薬研修室
- 8 日○開局委員会主催第8回スキルアップ研修会 県薬ホール 講師：三浦雅一氏（北陸大学薬学部長）
- 10 火○平成25年度第3回スポーツファーマシスト委員会 県薬会議室
○在宅小委員会 県薬研修室
- 11 水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 神村会長
○沖縄県福祉保健部健康増進課来訪 県薬会議室 田場専務理事、山城課長
○くすりと健康フェアPR活動（那覇市自治会長会訪問） なは商人塾 大城係長
○学術講演会うつ病治療に新たな治療選択肢の提案 ザ・ナハテラス 共催：大塚製薬(株)
- 12 木○個別指導（2薬局） 県庁 社会保険医療担当：仲真良重氏
○第11回沖縄県胸部疾患研究会 ザ・ナハテラス 共催：大塚製薬(株)
- 13 金○沖縄県福祉保健部健康増進課来訪 県薬会議室 神村会長、吉田副会長、田場専務理事、山城課長
○沖縄県薬剤師学術講演会 県薬ホール 共催：中外製薬(株)
- 14 土○第75回九州山口薬学大会前日協議会 ホテルニューオータニ佐賀
病院・薬局実務実習調整機構協議会 我喜屋理事
在宅医療推進協議会 吉田副会長、江夏常務理事、笠原理事
学校薬剤師協議会運営委員会 前濱常務理事
医療安全対策連絡協議会 亀谷常務理事
禁煙対策協議会 大城恭子氏（保健福祉委員会）
薬局実務実習受入調整機関運営委員会 我喜屋理事
薬剤師会事務局長連絡協議会 田場専務理事
薬剤師生涯学習担当者協議会 外間理事
薬情報センター連絡協議会 吉田典子（薬情報センター）
試験検査センター運営連絡協議会 小泉宝之（試験検査センター主任検査技師）
大会運営委員会 神村会長、吉田副会長、田場専務理事
レセプション
- 新規経口抗凝固薬学学術講演会 自治会館 共催：ブリストル・マイヤーズ(株)
○第1回沖縄肺高血圧症研究会 沖縄県医師会館 共催：アクテリオンファーマシューティカルズジャパン(株)
- 15 日○第75回九州山口薬学大会（第1日目） 佐賀市文化会館 他
薬学大会本会議 山城志津（被表彰者）
- 16 月○第75回九州山口薬学大会（第2日目） 佐賀市文化会館 他
女性薬剤師部分科会 村田理事
シンポジウム5（CDMA） 座長：吉田副会長
シンポジウム7（医療連携） 座長：池間記世氏
口頭発表4 座長：我喜屋理事

- 17火○薬学生実務実習（学校薬剤師について） 県薬研修室
 ○沖縄県福祉保健部薬務疾病対策課訪問 県庁 吉田副会長、田場専務理事、山城課長
 ○青年部会役員会 県薬会議室
- 18水○テネリア発売1周年講演会 ザ・ナハテラス 共催：田辺三菱製薬(株)
 ○なごみ会主催県民健康フェア実行委員会 沖縄県医師会館 笠原理事、稲福係長
- 19木○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会室 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
- 20金○下水道接続工事についての話し合い 沖縄県医師会館 神村会長、田場専務理事、山城課長
 ○平成25年度第5回「薬と健康の週間」調整会議 県庁 稲福・大城両係長
 ○中部地区脳卒中医療連携カンファレンス 中部地区医師会館 共催：バイエル薬品(株)
 ○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会室 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
 ○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会室 社会保険医療担当：宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
- 21土○平成25年度第3回都道府県会長協議会 大阪国際会議場グランキューブ大阪 神村会長
 ○レベチラセタム学術講演会～これからのてんかん診療を考える～ ANAハーバービュークラウンプラザホテル 共催：大塚製薬(株)
 ○第46回日本薬剤師会学術大会歓迎レセプション リーガロイヤルホテル タワーウイング3階 ロイヤルホール（大阪） 神村会長
- 22日○第46回日本薬剤師会学術大会（23日迄） 大阪市・大阪国際会議場グランキューブ大阪
 ○平成25年度全国薬剤師研修協議会実務担当者会議 大阪大学中之島センター 外間理事
- 24火○NPO法人ゆいめどより来訪 県薬会議室 田場専務理事、山城課長
 ○管理者会議 県薬研修室
 ○平成25年度第3回広報委員会 SORA（宜野湾市）
- 25水○呼吸器プライマリーケア講演会 ザ・ナハテラス 共催：ノバルティスファーマ(株)
- 26木○沖縄県薬業連合会代表者会議 沖縄都ホテル 稲福係長
 ○会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局宮城・前原
 ○集团的個別指導（32薬局） 沖縄産業支援センター 社会保険医療担当：宮城幸枝氏
 ○第四回沖縄：代謝病と血管病診療フォーラム ANAハーバービュークラウンプラザホテル 共催：バイエル薬品(株)
 ○認知症画像診断講演会 ホテルロイヤルオリオン 共催：エーザイ(株)
 ○在宅医療に関する地区・支部単位での伝達講習会（うるま支部・嘉手納支部） うるま市健康福祉センターうるみん 講師：笠原理事
- 27金○保険薬局部会研修会 県薬研修室
 ○パーキンソン病学術講演会 ザ・ナハテラス 共催：大塚製薬(株))
- 28土○第2回沖縄リウマチ・膠原病診療フォーラム 沖縄県医師会館 共催：田辺三菱製薬(株)
- 28土○平成25年度第1回地区薬剤師会長会議 県薬ホール
- 29日○学校薬剤師部会役員会 県薬部会室
- 30月○沖縄県医療審議会部会 県庁 神村会長
 ○薬物乱用防止協会より来訪 県薬会議室 田場専務理事、山城課長

猫と台風

横殴りの雨、ビュンビュン建物を振るわす風が吹き荒れた台風23号は、瞬間最大風速42mを記録して遠ざかっていく。まだ余波が続いているというのに、また更に、強い24号が沖縄を直撃しそうである。台風は大きければ大きいほど爪跡も大きく甚大なる被害をもたらす。しかし反面、こんなこともあるという。淀んで珊瑚の白化現象にもなる海底の汚れ、老化をカチムゲーラスことにより新鮮に活を入れるという。大自然の営みであろう。この強大なる台風のエネルギーにねじ伏せられるのではなく、活用することはできないだろうか？大発電など真剣に考えてみたらどうだろうか？10月5日は午前中出勤したものの、午後1時に公共交通機関のバス、モノレールがストップしたので、クリニックも休診となり、小生たちの薬局も閉店となる。強まる風雨について帰るスタッフの安全無事を願うのである。

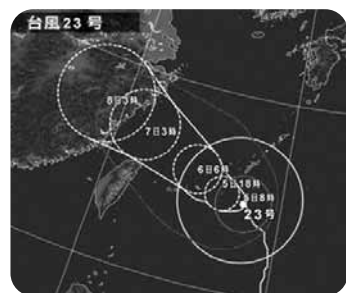
帰宅してから雨風が少し弱くなったときを見計らって屋上に上ってみる。屋上の植木群は右を向いたり、左を向いたり勝手にゴロゴロと転がっている。雨水も溜まり、物が散らかって足の踏み場もない。すると、ミャオミャオと子猫の声が聞こえてきた。怯えたような不安で悲しげな声である。そういえば3～4週間くらい前に屋上の水タンクの下の物陰に野良猫が3匹の子猫を産んだのである。この野良猫は春にも3匹の子を産んで2ヶ月くらい経って、しっかり歩けるようになってから子猫を啗えてフェンスの狭い隙間から隣の3階の底に飛び移り、何処かへ連れて去ったのである。これは小生の作戦がうまく行ったように思う。あまり猫にエサを与えない事である。エサを与えなければ空腹に耐えられ



ず、必ずエサのある所へ引っ越すだろう。しかし、外から帰ってきた母猫が、「ミャ～オ、ミャ

～オ、お腹空いたでしょう。ハイ、おっぱいだよ！」と声をかけると、まだヨチヨチ歩きの子猫が、「ミィー、

ミィー、お腹空いたよ。早く頂戴」と鳴く。母猫は優しく慈しむような、つまり猫なで声である。猫親子の会話を聞いていると、心が負けそうになるが我慢した。実は十数年前に屋上で野良猫が数匹産んだ事がある。子供たちの可愛さに引かれて、母親にエサを与えたお陰で以来エサを買い、トイレ用の固まる砂を買い運ぶことになった。子供たちもだんだん成長し、ついには屋上に数匹が住みついて、エサ買い、砂買いもエスカレートした。屋上といえども出入り自由なので一匹減り、一匹去りと数年がかりで終わった。チョピリ苦い思い出であり、大いに反省でもある。屋上は日頃は怜好の住家だが、台風の時とは別で、そこら中が水びたしになる。今回、ミィーミャオと鳴く声を辿ってみると、プレハブの横に2匹、サンニンの茂みの中に1匹ずぶ濡れで震えている。ともかく、このままでは一晩で冷たくなってしまいうだろう。雨風の来ない所へ移そうと捕えることにした。ファイティングポーズをとる子猫にうっかり手を出した妻は噛み付かれてしまった。小生がサンニンの茂みで捕まえた奴は、水の中から掬い上げたように水が垂れるのである。タオルケットを入れたダンボール箱に入れ、1階の階段の下、雨のかからぬ所へ置いた。後は母親の帰りを待つのである。しかし、この台風の中、どこかに無事でいるだろうか。野良猫の生活はある面、死との隣り合せかも知れないのだ。我家から数軒先の所に道端で高さと言ひ、広さが猫が集まりやすく、エサも与えやすい所がある。いつも数匹がたむろしている。屋上の猫もその常連のようだ。エサをやる人達は、後ろを通る人の冷たい視線を背に感じながら



も黙々とエサをやる。専属の家があり食べるのにも恵まれた家猫、ここにいるのも同じ猫じゃないか。この状況を作ったのは人間だ。私達が与えなければ、この子達は飢え死にする。少しばかりの罪滅ぼしさと言っているようだ。

こんな所もある。ヤチムンの町、壺屋の古い石垣の路地を我が物顔で歩き回ったり、寝そべったりする猫のいる風景が面白いと写真を撮る人、エッセーを物にしようと観察する人などに人気だと言う。猫カフェが評判というから世の中に猫好きは多いから猫を風景の一員として取り込んだ癒しの場所を演出する自治体はないだろうか。

さて、猫の話の元祖もいべきものに夏目漱石の「吾輩は猫である。」がある。「吾輩は猫である。名前はまだない」で始まる。この名作は誰でもよく知っているが、この吾輩の結末はどうなっただろうと聞くと、エッどうだったかなー。読んだのが随分昔なので覚えてないなあ！」との答えが多い。振り返ってみよう。吾輩は生まれてすぐ書生という性の悪い人間に親兄弟と引き離された。ミャーミャーと鳴いても誰も来てくれないのでヨチヨチ歩き回って、ある屋敷にもぐり込んだ。ここの主人、くしゃみ先生の家置いてやれの一言で住みかが決まった。そして猫の目線で、くしゃみ先生の人物像、頻繁に出入りする門下生や先生、学者仲間の観察をする。主人は胃弱のくせに大飯喰いで、いつもタカジアスターゼを愛用している。

門下生の水島寒月は毎回の常連だ。地球物理学者で、エッセイストで、「天災は忘れた

頃にくる」の名言を残した寺田寅彦がモデルだという。恋愛のこと、文学の話、大いに酒を飲み、そして疲れる。こんなことを見聞きする。呑気そうにしている人間の心の底をたたくと悲しげな音がする。くしゃみ先生もいずれ胃病で死ぬ。〇〇さんも死んだ。夏に青々と茂った木の葉も秋にはすっかり散ってしまった。生きているものは皆死ぬ。猫だって、と考えると気が重くなる。宴の後の座敷に上がり気分転換に残ったビールを飲む。一杯目は舌にピリッときたが、二杯も飲むと気分が高揚する。ご機嫌だ。風に吹かれたくなり外に出る。お月様に挨拶したい気分である。歩いていると眠くなってきた。突然ボチャンと水の中に落ちたようだ。大きな水ガメだ。慌てたが足が着かない。上にも手が届かない。カメの壁をガリガリと引っ掻く。少し体は浮くがすぐに沈む。何度も繰り返すが徒労に終わる。頭も背中も尻尾も水の中だ。疲れた。無駄なことはもう止めよう。自然に任そう。だんだんと水の中にいるのか、座敷にいるのか分からなくなってきた。不可思議な太平の境地か、死ななければ太平は得られない。吾輩は死んで太平を得るか、吾輩は死ぬ。何無阿弥陀仏。これが結末である。周りの野良猫もこのようなことで世を繰り返しているのだろう。

世界一幸福度の高いブータンで、日本人旅行者が町を歩いている犬を見て野良犬だと言ったら、その人が「野良ではありません。皆の犬です」と答えたという。何だか嬉しいね！

橋の下



誌上ギャラリー(裏表紙)について

左上:「オダマキ」 photo by 上原 正徳
撮影地: 自宅の庭にて(中城村)

右上:「秋の忘れ草」 photo by 玉山 善正(東山調剤薬局)
撮影地: 石川渡戸目原薬草園にて

中央:「運河が走る港町」 photo by 山里 美恵子
撮影地: コペンハーゲン

薬草として沖縄各地で栽培されている多年草
不眠症に根を煎じて服用する。

下:「翔南高校サッカー部、ただ今休憩中」 photo by 吉田 洋史(吉田薬局) 撮影地: パイナガマビーチ(宮古島)

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

宮城 光吉 先生（享年84歳） 平成25年8月24日ご逝去



＜故 宮城光吉先生の葬儀における弔辞を依頼された神村会長が、下記内容を述べられました＞

弔 辞

来る日曜日に、沖縄県薬剤師会「熟年の集い」にてお会いしてお話を聞けることを楽しみにしておりましたところ、突然の訃報に接し、驚きと残念で茫然と致しております。

宮城さん、光吉さんと、私より十八も年上の先輩に声をかけたり話したりして呼んでいましたね。私が大学を卒業して薬剤師として働き始めた頃、日本では医薬分業の始まりで分業元年と称された時期でした。先の見えない、読めない、医薬分業システムには賛否両論でした。むしろ、冷ややかに思われていた時期でした。光吉さんともずいぶん分業論を語り合いましたね。

宮城さんが、「神村君、私はやるぞ」と言いましたね。「処方せんが本当に来るのか、調剤出来るかわからないけど、これからの薬剤師の仕事、薬剤師像を作ろうよ」と語っていた姿を今でも思い出します。

久茂地に調剤専門薬局「那覇調剤センター」を開設し、沖縄県での処方せん調剤薬局の足掛けと成りました。近隣薬局の分業の支援センターの役割を担い、薬局の部門で初の沖縄県薬剤師会長表彰を受けました。まさしく宮城光吉さんの信念・理念があったからであり、今でもその当時を思い出します。

そして、その信念を那覇センター薬局の薬剤師とスタッフが引き継ぎ頑張っております。

その後、大変な苦難を乗り越えた人生の先輩である高齢者の安らげる医療・介護の方面で頑張りたいとの思いで介護リハビリ施設の少ない時期に老人保健施設池田苑を大変なご苦勞の中建設し、更に幾多の難題・課題を乗り越えて、今では十五施設の医療・介護に関する事業を展開するまでになりました。宮城さんが語っていた「お年寄りを敬う気持ち、家族を大切に思う気持ち、そして、地域を守る気持ち」という理念と行動が創立二十年を迎え、更なる発展を続けております。

光吉さんのその思い、信念が礎となり、私達医療を担う薬剤師、医療、介護、福祉に携わる者への糧となり、より良い社会医療介護福祉を築いて行きたいと思っております。どうぞお見守り下さい。

これまでのご高情に感謝申し上げます。安らかに永久の眠りにつかれる事をお祈り致しまして弔辞と致します。さようなら

沖縄県薬剤師会
代表 神村武之

会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。
(香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしく申し上げます。

【連絡先】県薬事務局：098-963-8930

平成25年10月15日

会 員 各 位

第27回沖縄県薬剤師会学術大会会長 神 村 武 之
第27回沖縄県薬剤師会学術大会実行委員長 外 間 惟 夫
(公印省略)

第27回沖縄県薬剤師会学術大会の開催について(ご案内)

日本薬剤師研修センター認定研修・日本病院薬剤師会生涯教育認定講座・JPALS 47-2013-0138-101

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会事業の運営に対し、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第27回沖縄県薬剤師会学術大会を下記のとおり開催いたしますので、多くの会員の皆様にご参加いただき、研鑽を積まれますようご案内申し上げます。

なお、学会終了後には懇親会を開催致します。懇親会の席で、演題発表認定証ならびに奨励賞の授与および薬剤師功労沖縄県薬剤師会長賞表彰式を執り行ないますので是非ご参加下さい。

*下記の参加申込票にご記入の上、県薬事務局まで FAX又は、郵送にてお申し込み下さい。

記

日 時：平成25年 11月24日(日)

受 付：午前9時30分～ 開 会：午前10時(予定)

(時間については正式に決まりしだい後日お知らせ致します。)

会 場：沖縄県薬剤師会館(但し、特別講演会は沖縄県医師会館ホール)

大会参加費：県薬会員 1,000円 非 会 員 2,000円(懇親会費を含む)

当日受付にてお支払い下さい。

参 加 資 格：沖縄県薬剤師会会員・沖縄県病院薬剤師会会員

○ 会員発表 18題予定 プログラム・演題等については後日お知らせ致します。

○ ランチョンセミナー 12:00～13:00 【お弁当を準備しております(無料)。但し予約者のみ】
協賛：田辺三菱製薬(株)

○ 特別講演 『薬剤師のための薬物動態学10の鉄則』 16:00～17:00
～処方せんを見て、どう薬物動態を判断するか～
菅野 彊 先生(どんぐり工房)

○ 懇 親 会 17:30～(会場：沖縄県薬剤師会館 ホール)

第27回沖縄県薬剤師会学術大会 参加申込票

・氏名： _____ ・勤務先： _____

※(1.ランチョンセミナー 2.学会 3.懇親会) 参加する項目に○印をして下さい。

※ランチョンセミナーのお弁当は本参加申込票にて参加予約した方のみとなります。

※途中参加者も参加費は同額となります。

※遅れての参加は、単位取得ができないことがあります。

返送先：沖縄県薬剤師会 〒901-1105 南風原町字新川218-10

FAX番号 098-963-8932 (平成25年11月11日(月)必着)

お知らせ

第2回日本くすりと糖尿病学会学術集会 「糖尿病薬物療法のさらなる進歩へ －ALL(オール) 薬剤師からの発信」

日 時：平成25年11月23日(土・祝)・24日(日)

場 所：星薬科大学(東京都品川区)

会 長：佐竹 正子(恵比寿ファーマシー)

参加費：事前登録 会員 8000円・非会員 10000円・学生 3000円

当日参加 会員 10000円・非会員 12000円・学生 4000円

演題登録期間：2013年5月20日(月)～ 7月25日(木)

参加登録期間：2013年5月20日(月)～10月15日(火) 正午

詳細及び登録はホームページをご覧ください

<http://conet-cap.jp/jpds2013/>

特別講演1 「糖尿病療養指導と薬剤師(仮)」

南條 輝志男(日本糖尿病療養指導士認定機構/和歌山労災病院)

特別講演2 「アッシュビルプロジェクト」

Anthony Pudlo (Vice-President of

Professional Affairs Iowa Pharmacy Association)

シンポジウム1 「個人差について(基礎薬学系)」

シンポジウム2 「ALL薬剤師からの発信

－エビデンスによる妊娠期から合併症までの糖尿病予防への介入(臨床系)」

シンポジウム3 「残薬管理における介入研究(学会研究班)」

教育講演6題

「糖尿病の診断」「糖尿病網膜症」「運動療法」「薬物治療」「食事療法」「患者心理」

口頭発表・ポスター発表

ミニレクチャー1「学会で発表しよう」・ミニレクチャー2「論文の書き方」

3☆(スリースター)ファーマシスト研修「体験版」

参加型セミナー1 「インスリンデバイス・SMBG」

参加型セミナー2 症例検討「導入編」検査値の読み方・処方設計の理解

参加型セミナー3 症例検討「応用編」療養指導・心理アプローチ

*参加型セミナーは事前申込制、定員になり次第受付終了となります。

ランチョンセミナー両日各5題

研修単位：日本薬剤師研修センター・CDEJ(1群・2群)申請中

問合せ先：運営事務局 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-8-29 8F(株)コネット内

TEL：06-6398-5745 Fax：06-6398-5746 Email：jpds2013@conet-cap.jp

編集後記

取材を受けた。薬剤師としてではなく、沖縄の女子ゴルファーとしてのインタビューを受けたのだ。ゴルフを沖縄観光の目玉にしたいというコンセプトのもと、話を進めた。1週間後、校正ゲラが届いた。さすがに編集者T氏は私の断片的なコメントをうまくまとめている。文章やレイアウトはもちろんだが、構成がうまいのだ。いつか編集者T氏を広報委員会に招いてレクチャーしてもらおうか。さて、取材翌日。私はゴルフを楽しむため台湾に飛んだのだった。(笑) (クララ)

校正作業中に藤井基之の国会レポートに目がとまった。政府は「薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業」を推進するとある。厚生労働省によると、薬局を「地域に密着した総合的な健康情報拠点」と位置付け、市民がここに来れば関連知識を持った薬剤師から必要な健康に関する情報を得られるようにしようとのことだ。真に結構なことだが、その一方で規制緩和の名の下、地域の薬局を壊滅させるような政策を推し進めている。何とかならないものだろうか。(亀)

広報委員会にフレッシュな人材が3人も入ってきた。委員会の平均年齢がかなり若返って、これで広報委員会も若手中心の委員会の仲間入りであろう。広報委員の面々は皆、好奇心旺盛で、何でも見てやろう、何でも挑戦してみよう、という意欲に満ち溢れている。勿論、私を除く他の委員達は、アカデミックな分野にも、意欲的に取り組んでいるので、今後の活躍に大いに期待したい。私はといえば「非アカデミック」な分野に走りがちであるが・・・。「好奇心旺盛」といえば、子供や若者の代名詞のような言葉であるが、若くない人達にとっても、「好奇心」は「心の糧」であり、生きていくエネルギーに繋がる力だと信じているので、今後も、「上手くできなくても良い!」という気持ちで面白そうな事にはチャレンジしていきたい。(ピアナ)

九州山口薬学会大会が終わった。九山大会の開催された佐賀の街は秋の気配。半世紀生きてきて、いまさら新しい発見もあった。銀杏の実を初めて見たのだ。おそらく、今までは見えていても見てなかった(認識してなかった?)のか・・・黄色い異臭を放つ銀杏は我が家で銀杏ご飯となった。さて、佐賀が「田代売薬」として、配置売薬では富山、近江(滋賀)、大和(奈良)とならび、『日本の四大売薬』に数えられているのをご存じでしょうか。富山の売薬なら知っていたけれど・・・です。佐賀県鳥栖市の中富記念くすり博物館でその歴史を知ることが出来ます。某有名な売薬の会社が創立記念事業で設立したというこの博物館には、イギリスから移築された19世紀末の薬局(薬品も当時のまま)、併設の植物園など一見の価値あり。来年の長崎の九山大会の際にはぜひお立ち寄り下さい。(TOMO)

最近、2歳になった息子のワガママぶりに翻弄されっぱなし。だが、不思議と妻に対しては多少おとなしめである。常になついてもらいたいの一心なのか、私は強く叱ることができずに何でも言うとおりにしてしまう始末。ふと気付いた!もしかして、自分には何を言っても大丈夫なんだと認識しているのではないかとそう思った時には、時すでに遅し・・・。周りから見れば夫が大黒柱だが、実質、家の中では妻が親分、5歳の娘は右腕の若頭的存在、せめてNo.3でもと安易に考えていた自分が愚かだった。このままではNo.3の座も危うい。そろそろ威厳を見せなければと気合を入れるが、もう格付けは決まっているような・・・。でも、これで結局バランスが取れているのだと思わされる今日この頃です。(ごり)

原稿やレポート作成といえば今はパソコンで、20年位前はワープロで、もっと前は原稿用紙に手書きで書いていたであろうと思う。言うまでもなくパソコンでの原稿作成は文章を間違えても簡単に修正できるし、文字変換もしてくれるので非常に効率的だ。そんな便利な時代の中で今でも原稿を手書きで提出してくれる方もいる。はじめは大変だろうにくらいにしか思っていなかったが、いざ自分が手書きで原稿が書けるのかと想像したら恐らく無理であろうと思った。私はもうパソコンありきで文章の作り方に慣れてしまい、思いつづがままに文字をとりあえず打ってそれを文章にしていく感じで作っていく。文章の組み立て方が全く異なるため、手書きでの難しさが改めて分かって凄く能力だと感じた。そう思っている編集後記も今回手書きでやろうとチャレンジしたがうまくいかず、結局パソコンでカットやペースト、ディレートを駆使して書いてしまった・・・。(クロップ)

この1年間、本当にあつと言う間にすぎにきました。昨年9月に長女を出産して、産後1ヶ月目には、福岡で開催された学会へ娘を連れて行き、ベビーシッターに預けて、口頭発表をしました。家族や周りからは、すぐ反対されましたが、今、振り返ってみると、発表している間は一人の薬剤師・大学院生に返ることができ、また飛行機に乗ったことで気分転換にもなり、参加してよかったな～、と思っています。娘を出産する前は、一人の自由さがなくなる(時間をきせず飲み歩く・・・など[笑])、生活の制限に関するデメリットが気になりましたが、それをデメリットとして感じたことはありませんでした。出産や育児などの素晴らしい体験もさることながら、育児休暇中に仕事が好きだと気付いたことや、食生活の見直し、ワークライフバランスを考える、およびQOLを考える契機になった、などなど、メリットが大きかったと感じています。久しぶりに広報委員会会議へ参加したところ、新メンバーが加入していました。これからは、若い薬剤師の先生方に会報誌への参加を働きかけることで、様々な世代が紙面作りに関わることができるよう、委員として頑張りたいと思います。改めて、これからもよろしくお願いします。(三郎)

ついこの間、甲子園があったはずなのに外の気候は涼しさを増しつつある昨今みなさん如何お過ごしでしょうか?先日こども医療費助成制度の自動償還払い方式の講習会がありました。こども医療費助成制度とは窓口で支払った一部負担金を市町村が負担する制度ですが、自動償還方式は払い戻しの手続きが簡略化するための方式だそうです。てっきり窓口負担が0になると思い込んでいた自分は少しがっかり、としてしまいました。ただし沖縄県でも負担金上限を一月1000円と定めている市町村も多く(所得などにより変更有)何かあって安心して病院を受診できる体制は整っているようです。さて、他府県ではこの制度の中で一部負担金が0になっている市町村もあるようです。市町村の人口減少に歯止めをかけたとした制度ですが、ある県のT市では人口が増える以上に小児の病院への受診が激増!軽い擦り傷で病院を受診する子どもも増えたようです。一部ではコンビニ受診とも揶揄されているこの現象、わずかでも負担があれば受診を控えた人も多く存在するはず・・・。無料化の意外な影響のお話でした。(松)

9月から第2期の実習生がうちの病院にやってきました。今回は5名の実習生を受け入れることに。毎度ながら、限られた時間の中で実習生に教えるのは難しいことだと痛感しております。しかし、6年生の彼らはOSCEをクリアしていることもあって、調剤に関してはむしろ私より丁寧なことも。軟膏の調剤も美しい!実習生に「将来はどんな道に進みたい?」と尋ねると、病院、薬局、考え中など様々な意見がでてきます。思えば私も5年前に悩んだなあ。私が今の職場を決めたきっかけは実習中にかつこいい薬剤師の先輩方と出会ったからというのがあります。今の私は、彼らの目にどう映っているんだろう。(いさ吉)

沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp
■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 **■薬事情報センター** TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937
■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 **■試験検査センター** TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932
■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567
■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

おきなわ薬剤師会報 第266号 平成25年10月15日発行

◇次号は、平成25年12月中旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 神村武之

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／亀谷浩昌・池間記世・前濱朋子・砂川智子・鈴木一徳
 石川恵市・伊敷松太郎・伊差川サヤカ 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子
 八重山地区通信員／宮良善朗 事務局／大城喜仁

印刷：有限会社 金城印刷

誌上ギャラリー（会員作品）お気軽にご投稿下さい。

